

令和4年度公立高等学校 みやぎ学力状況調査 分析結果報告書

Pick Up! 国語・数学・英語	P. 1
I 調査の概要	P. 4
II 学力状況に関する調査結果の概要と分析	P. 5
1 国語	
(1) 調査結果の概要	P. 5
(2) 分析結果から見える授業づくりのポイント	P. 7
(3) 設問ごとの分析結果	P. 8
2 数学	
(1) 調査結果の概要	P. 13
(2) 分析結果から見える授業づくりのポイント	P. 15
(3) 設問ごとの分析結果	P. 16
3 英語	
(1) 調査結果の概要	P. 26
(2) 分析結果から見える授業づくりのポイント	P. 28
(3) 設問ごとの分析結果	P. 29
III 学習状況等に関する調査結果の概要と分析	P. 35
1 学習状況	P. 35
2 心身の健康，志教育等	P. 48
IV 学力向上に向けた今後の取組	P. 51
V 学習状況に関する調査 設問ごとの結果	P. 52
VI 学習状況に関する調査の回答と 学力状況に関する調査の共通問題正答率の関係	P. 66

文章の構成から本文全体の内容を正確に捉える

令和4年度調査問題

第2問 問4

本文の構成・内容の説明として最も適切なものを、次の①～④から一つ選びなさい。

- ① まず、生物としての人間の特徴について他の霊長類と比較したうえで、「人間らしい」社会が成立する要因について具体例を挙げながら説明し、異なる視点を持つ先人たちの言葉に反論することで、自説の正当性を強調している。
- ② まず、生物学的な視点から人間の進化について述べたうえで、人間の成熟を「子ども化」という観点から説明し、「子ども性」が「愛」を核とした「人間らしさ」の形成につながることを、先人たちの言葉を引用しながら論じている。
- ③ まず、生物学的な見地から「ヒト」の成熟について確認したうえで、未成熟のまま産まれた人間が持つ「強さ」と「弱さ」を説明し、「生きること」と「愛すること」の関係性を心理学の観点から考察している。
- ④ まず「生理的早産」で生まれる人間の特徴について解説したうえで、時間をかけて成熟することによる功罪を説明し、「愛」が人間の「弱さ」を補完するものであることを、先人達の言葉を援用しながら論じている。

設問の
ねらい

本文全体の構成・内容を正しく捉えられるかをみる問題

正答率

54.0%

【表1】誤答の種類と選択率

誤答率 (%)	無答率 (%)	誤答の選択肢の選択率(%)			
		①	②	③	④
45.7	0.3	10.1	○	29.0	6.5

【表2】過去問題との比較

H30～R3に出題した、「本文全体の構成・内容把握を捉える問題」の正答率(%)

H30	R1	R3
46.5	39.6	52.5

分析と考察

問4は、文章の構成と論理の展開、本文全体を通じての正確な内容把握ができていないかを問う問題である。部分の理解に加え、全体の中で部分が持つ意味合いを読み取る必要がある。

生徒はどこでつまづいたのか？

選択肢①・④を選んだ生徒は、それぞれ引用部分やキーワードの関係性の把握に誤認があったか。

選択肢③を選んだ生徒は、「生きること」と「愛すること」の関係性を「心理学の観点からの考察」と誤読し、③がモンターギュの言葉を引用した部分的な考察でしかないことを見逃している。本文全体から筆者の主たる主張を捉えることに課題が見られる。

構成内容の理解

過去3回の結果と比較すると「文章の構成」を確かめる指導事項に基づく設問の正答率は高かった【表2】。「構成」を意識した読み方は「表現の仕方の評価」や「書き手の意図を評価」することの基礎となる。文章の組立てや骨組みを捉える「構成」を確かめることに加え、文章の筋道を捉える「展開」を確かめることにより、形式・内容の両面から段落相互の関係を捉え、書き手のものの見方や考えの進め方といった内容の深い理解につなげたい。

高校入試の結果分析から

文章の構成と論理の展開から文章全体の内容を構造的に捉え、筆者のものの見方・考え方を適切に表現する問題は、例年正答率の低い問題である。現2年生が受験した令和3年度高校入試※の結果分析でも報告されており、継続的な課題といえる。

※令和3年度宮城県公立高等学校入学者選抜学力検査「国語」第三問 問四（論理の展開を捉え、適切に表現する力をみる問題）

課題への対応

構成・展開の指導事項の確かな定着のためにも、筆者の主張の読み取りにICTや思考ツールを活用して情報を整理し、その上に生徒自身のものの見方・考え方を表現させることが効果的である。例えば感想を述べたり批評する文章を書かせたりする言語活動を行う際、段落ごとの要約に協働学習を取り入れることで、文章の構成と内容を的確に把握し、解釈を深めるための足掛かりができる。

「授業づくりのポイント」

p. 7

Pick Up!
数学

課題のある内容

既習事項と関連付けながら、数学的に表現・処理すること

令和4年度調査問題

A-12/B-4

2次関数 $y = -x^2 - 2x + 3$ のグラフの頂点の座標は (,) である。

シ/エ : ① 1 ② 2 ③ 3 ④ 4

 ⑤ -1 ⑥ -2 ⑦ -3 ⑧ -4

ス/オ : ① 1 ② 2 ③ 3 ④ 4

 ⑤ -1 ⑥ -2 ⑦ -3 ⑧ -4

正答率
26.7%

設問の
ねらい

式を適切に表現・処理し、必要な情報を読み取る力をみる問題

【表1】誤答の種類と選択率

誤答率 (%)	無答率 (%)	誤答の選択率 (%)				正答
		(-2, 3)	(2, 3)	(-1, 2)	(-1, 3)	
72.3	1.0	12.6	4.8	4.2	4.2	(-1, 4)

【表2】過去問題との比較

H28~R3に出題した「二次関数のグラフの頂点を求める問題」の正答率

出題年度	H28	H29	H30	R1	R3
正答率 (%)	31.5	27.7	27.2	35.0	36.0
x^2 の係数	2	-1	-1	1	1

分析と考察

x^2 の係数が -1 である二次関数について、グラフに表したときの頂点の座標を求める問題である。二次関数の式を平方完成し、頂点の座標を正しく読み取ることが必要となる。

生徒はどこでつまづいたのか？

(-2, 3)や(2, 3)と解答した生徒は、平方完成を考えず、与えられた二次関数の係数から頂点の座標を判断したものと推察される。また、(-1, 2)や(-1, 3)と解答した生徒は、平方完成の途中で、計算を誤ったものと推察される。

x^2 の係数によって正答率が変化

令和4年度の正答率は、 x^2 の係数が 1 である令和元年度・令和3年度と比較すると、10ポイントほど下回っている【表2】。 x^2 の係数が -1 の場合は、符号に注意が必要である。 -1 でくる、分配法則を使って -1 を掛ける場面での計算ミスが正答率低下の主な要因になっていると思われる。

高校入試の結果分析から

今年度2年生が受験した令和3年度高校入試第二問問題3において、2次関数の問題が出題されている。(1)の正答率は5割未満であり、直線の傾きを二次関数のグラフと関連付けながら表現・処理することができていないことを示す結果となっている。

課題への対応

- ① 平方完成の計算の手法だけでなく、目的と原理について考えさせる時間を設ける。
- ② 二次関数のグラフを頭にイメージさせるタイミングを設けるなど、二次関数の式とグラフを関連付けて指導することを意識する。

「授業づくりのポイント」
p. 15

Pick Up!
英語

課題のある内容

数量表現の語彙とモノローグにおける情報量への対応力

令和4年度調査問題

4 (リスニング問題)

若者のゲーム利用時間の調査結果について、表をまとめます。説明を聞き、下の表の4つの空欄に入れる最も適切なものを、1~4の中から1つずつ選びなさい。英語は1回だけ放送されます。

1 9.3% 2 20.6% 3 30.4% 4 57.1%

Hour of use	Male respondents	Female respondents
Less than 1 hour		ケ
(省略)		
2 hours or more		コ
3 hours or more	ク	

(放送文省略)

正答率
ク 32.0%
ケ 33.5%
コ 34.6%

設問のねらい

説明から複数の情報を聞きとり、素早く処理する力をみる問題

【表1】誤答の種類と選択率

解答記号	誤答率 (%)	無答率 (%)	誤答の選択肢の選択率 (%)			
			1	2	3	4
ク	67.5	0.5	20.6	○	19.1	27.8
ケ	65.9	0.6	32.4	19.7	13.8	○
コ	64.9	0.5	○	26.4	14.0	24.4

【表2】過去問題との比較

H29~R1に出題した、「1文で読まれる4つの英文を聞き、表について正しい描写をしている英文を選択する問題」の正答率 (%)

H29	H30	R1
66.9	72.2	89.1

分析と考察

4は、若者のゲーム利用時間の調査結果について話しているモノローグでの説明(75語)を聞き、表の空欄に入る割合を選ぶ問題である。

生徒はどこでつまづいたのか？

クで、誤答の選択肢4を選んだ生徒は、“nearly one in five”の発話を正しく理解できておらず、聞き取れた“five”を断片的に捉えて判断したものと推察される。選択肢1と3を選んだ生徒はいずれも、選択肢4と同様に、聞こえた“three”を断片的に捉えたと考えられる。ケとコの情報は、英文一文で述べられており、more than half, less than, under の表現への素早い理解が求められた。ク, ケ, コの正答率は30%前後であり、これらの表現への理解が不十分であることが推測される。

1文で読まれた説明では正答率が高い

過去の問題形式の「1文で読まれる英文を聞き、正しい描写を選択する問題」の正答率【表2】と4の「まとまった量のモノローグを聞いて情報を捉える問題」の正答率を比較すると、大きな差が見られる。このことから、まとまった量の英文を聞き、必要

な情報を捉えるためには、「情報量への対応力」も必要となる。

高校入試の結果分析から

今年度2年生が受験した令和3年度高校入試※においては、文脈に関係なく、聞き取れた断片的な情報から応答を判断しようとする傾向が考察されている。このため、「語彙の定着」と「情報量への対応力」は、リスニング指導での課題と言える。

※令和3年度宮城県公立高等学校入学者選抜学力検査「英語」第一問 問題2 2番 (会話の流れに沿って適切に応答する問題)

課題のあるポイント

数量表現は、様々な言い方で述べられるため、まとまった量のモノローグから、話者が伝える数量情報を適切に捉えることがより困難になったと考えられる。

「授業づくりのポイント」
p. 28

I 調査の概要

1 学力状況に関する調査

- (1) 目的 生徒の学力状況を把握し、各学校における学習指導及び進路指導の改善に役立てる。
- (2) 調査対象 公立（県立・仙台市立・石巻市立）高等学校 74校
2年生 12,494人
- (3) 実施期間 令和4年7月1日（金）から7月8日（金）までの間、各学校で実施
- (4) 実施内容
- ① 実施教科
- 国語，数学，英語の3教科
 - 高等学校第1学年修了までに学習した基礎的・基本的な内容を中心に出題し，平均正答率を50%と設定
 - 各教科，共通問題に加え学校選択問題を設定
 - ※ 学校選択型A問題は基礎的・基本的な内容の問題を設定（数学及び英語の学校選択型A問題は義務教育段階の内容を含む）
 - ※ 学校選択型B問題は基礎的・基本的な内容の問題及び応用力をみる問題を設定
- ② 実施人数
- 国語 11,653人（A問題選択56校4,712人，B問題選択32校6,941人）
数学 11,638人（A問題選択59校5,394人，B問題選択29校6,244人）
英語 11,661人（A問題選択58校5,193人，B問題選択30校6,468人）
※ 複数課程を併置又は分校を置く学校については，各課程・分校をそれぞれ1校として学校数を算出（全日制69校，定時制16校，分校3校，計88校）

2 学習状況等に関する調査

- (1) 目的 生徒の学習状況等を把握し，各学校における学習指導及び進路指導の改善に役立てる。
- (2) 調査対象 公立（県立・仙台市立・石巻市立）高等学校 74校
1年生 12,626人， 2年生 12,494人
- (3) 実施期間 令和4年7月1日（金）から7月8日（金）までの間，各学校で実施
- (4) 実施内容
- ① 調査内容
生徒の学習状況，心の有り様及び志教育に係る意識等に関する質問紙調査
- ② 実施人数
- 1年生 12,088人（回収率 95.7%）
2年生 11,779人（回収率 94.3%）

II 学力状況に関する調査結果の概要と分析

1 国語

(1) 調査結果の概要

考察と課題

◇…相当数の生徒ができています ◆…課題がある

<言語事項>

- ◇ 基礎的・基本的な漢字の読み書きについては、おおむね定着している。
- ◇ ことわざ・慣用句、日本語の適切な表現、口語文法についての理解は、ある程度できている。
- ◆ 同音異義語や日常生活で触れる機会が少ない漢字については、知識の定着に課題がある。

⇒ **課題1：語彙に関する基礎的・基本的知識が不足している。**

<現代文>

- ◇ 文学的な文章では、人物の心情や情景を読み取ることがある程度できている。
- ◆ 論理的な文章・文学的な文章ともに、文章の構成や論理の展開を把握し、表現の特色を踏まえながら本文全体の内容を的確に捉えられていない。

⇒ **課題2：文章の組立て方や筋の流れを把握し、文章全体を注意深く読むことが不十分である。**

<古典>

- ◇ 漢文の返り点の用法は比較的身に付いている。
- ◆ 古文・漢文ともに語句及び文法・句法の理解が不足しており、登場人物相互の関係や場面の推移を的確に捉えられていない。

⇒ **課題3：古典を読むために必要な基礎的・基本的知識についての理解が不十分である。**

① 共通問題の正答率（調査対象全体）

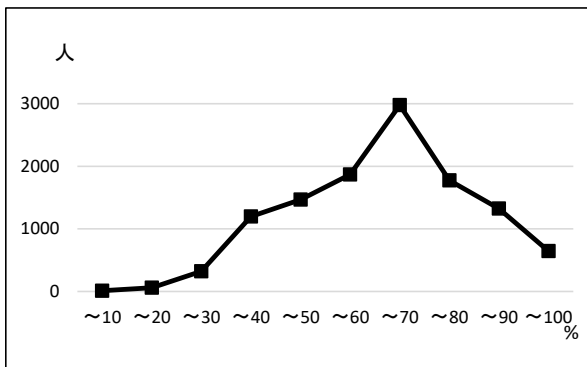


図1 【共通問題・国語】正答率の度数分布

共通問題正答率 62.0%（令和3年度56.8%）

<概況>

正答率は、令和3年度より5.2ポイント上昇した。基礎的・基本的な知識の確実な定着がみられる。第1問の漢字・語句・文法の問題で前年比13.5ポイントの上昇。小問全てで前年度を上回った。また、第4問の古文の問題で前年比9.1ポイントの上昇。小問3以降の正答率が大幅に上昇しており、基礎的・基本的知識の定着が進むことで文脈の把握や内容の理解に好影響を与えたものと考えられる。

② 共通問題の小問ごと正答率（調査対象全体）

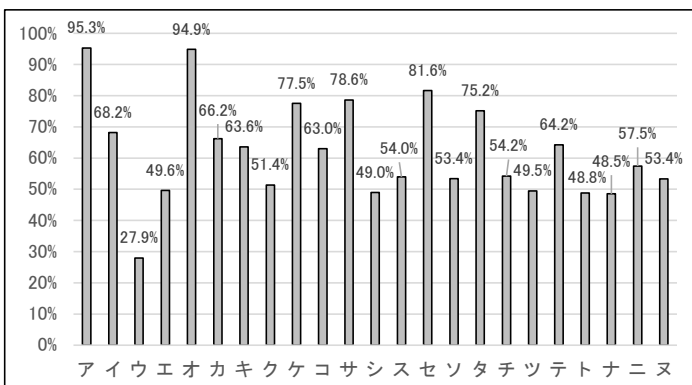


図2 【共通問題・国語】調査対象全体の小問ごと正答率

解答記号	分類	内容
ア～オ	漢字・語句・文法	漢字の読み書き
カ	漢字・語句・文法	慣用句
キ	漢字・語句・文法	日本語表現
ク	漢字・語句・文法	敬語
ケ	漢字・語句・文法	文法
コ～シ	現代文（評論）	内容理解
ス	現代文（評論）	内容・構成把握
セ～タ	現代文（小説）	心情の読み取り
チ	現代文（小説）	内容理解
ツ	古文	文法の知識
テ・ト	古文	古語の知識
ナ・ニ	古文	文脈把握・解釈
ヌ	古文	内容把握

③ 学校選択型 A (A 問題選択者) の小問ごと正答率

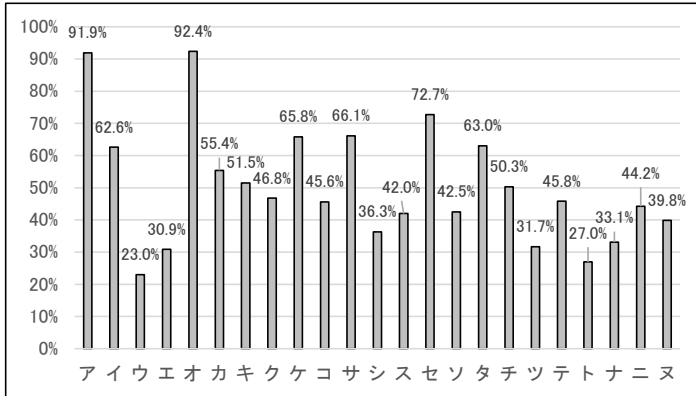


図3 【共通問題・国語】A 選択者の小問ごと正答率

解答記号	分類	内容
ア～オ	漢字・語句・文法	漢字の読み書き
カ	漢字・語句・文法	慣用句
キ	漢字・語句・文法	日本語表現
ク	漢字・語句・文法	敬語
ケ	漢字・語句・文法	文法
コ～シ	現代文(評論)	内容理解
ス	現代文(評論)	内容・構成把握
セ～タ	現代文(小説)	心情の読み取り
チ	現代文(小説)	内容理解
ツ	古文	文法の知識
テ・ト	古文	古語の知識
ナ・ニ	古文	文脈把握・解釈
ヌ	古文	内容把握

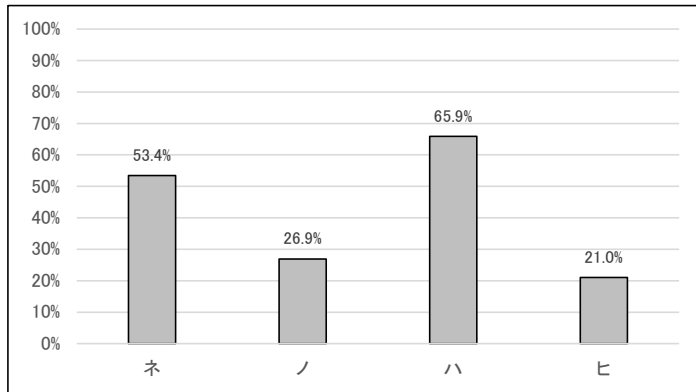


図4 【選択型 A 問題・国語】小問ごと正答率

学校選択型 A 問題

解答記号	分類	内容
ネ	漢文	返り点の理解
ノ	漢文	基本語句の読み
ハ	漢文	句法・語句の理解
ヒ	漢文	句法・語句の理解

④ 学校選択型 B 問題 (B 問題選択者) の小問ごと正答率

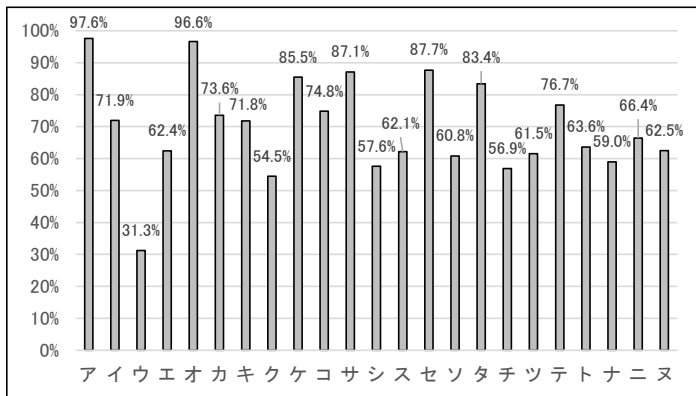


図5 【共通問題・国語】B 選択者の小問ごと正答率

解答記号	分類	内容
ア～オ	漢字・語句・文法	漢字の読み書き
カ	漢字・語句・文法	慣用句
キ	漢字・語句・文法	日本語表現
ク	漢字・語句・文法	敬語
ケ	漢字・語句・文法	文法
コ～シ	現代文(評論)	内容理解
ス	現代文(評論)	内容・構成把握
セ～タ	現代文(小説)	心情の読み取り
チ	現代文(小説)	内容理解
ツ	古文	文法の知識
テ・ト	古文	古語の知識
ナ・ニ	古文	文脈把握・解釈
ヌ	古文	内容把握

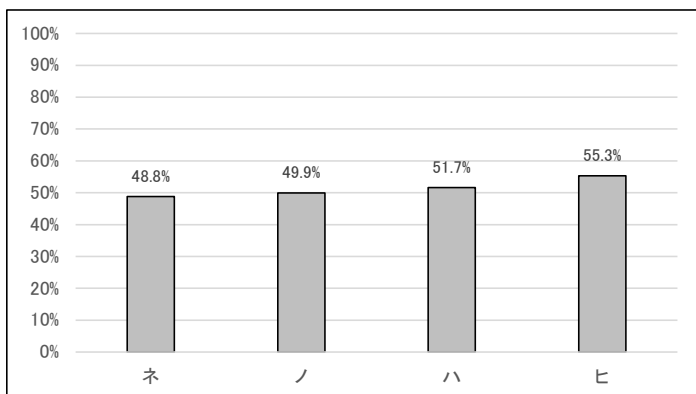


図6 【選択型 B 問題・国語】小問ごと正答率

学校選択型 B 問題

解答記号	分類	内容
ネ	漢文	基本語句の読み
ノ	漢文	句法の理解・解釈
ハ	漢文	文脈理解
ヒ	漢文	内容把握

(2) **国語** 分析結果から見える授業づくりのポイント

POINT 1 – 言語事項

語彙を豊かにするために様々な言語表現に触れる機会を増やし、得られた知識を用いて実際に表現する活動を充実させることで、言葉を適切に用いる力の向上を図る。

- 学校図書館の司書や司書教諭と連携し、読書の幅を広げ、読書の習慣を養わせる。また、身近な文章を補助教材として用いて、実社会において必要とされる語句の量を増やさせる。
- 漢字の成り立ちや部首の意味などに触れながら、語句の構造の理解によって漢字が本来持つ意味の理解につなげる。例えば、「収」を用いた熟語を「収■」「■収」の形で列挙させ、それぞれの熟語における「収」の意味を考えさせる。
- ことわざ・慣用句・敬語などを用いる具体的な場面を想定し、誤用を取り上げながら例文を作らせるなどして、語彙の構造についての理解を深め語感を磨かせる。

POINT 2 – 現代文

論理的な文章では、語句の意味を踏まえ、文脈に即しながら構成や段落相互の関係、論理の展開を捉え、要旨・要点を把握させる。

- 論理的な文章では、ベン図やピラミッドチャートなどの思考ツールを活用して視覚的に構成などを捉える活動を取り入れたり、必要に応じて自分の考えを論述したりする活動によって、文章の構成や論理の展開に気づき、主張と論拠など情報と情報の関係を理解させる。

文学的な文章では、登場人物の行動の描写や会話文に着目して読み進め、心情の変化を的確に把握させる。

- 文学的な文章では、文章を読み深め、文章の理解を見取るための活動として音読を指導に取り入れるなどして、文脈を踏まえながら叙述を丁寧に読み、「どのように書かれているか」という描かれ方に着目し、出来事や場面の推移、登場人物の関係やその変化を捉えさせる。

POINT 3 – 古典

古典の世界に親しむために必要な知識を精選し、古典の価値や楽しさを言語活動の工夫を通して実感させ、古典に表れているものの見方、感じ方、考え方への気づきを促す。

- 古文では、異なる時代に成立した物語や説話、日記などを読み比べたり、漫画や小説を補助教材に用いて、描かれ方の違いを読み比べたりする。また、グループごとに古代版・現代版歌枕地図を作成させ比較させるなどにより、現代との共通点や相違点に着目して、歴史的・文化的背景の理解や時間の経過や地域による文字や言葉の変化について理解させる。
- 漢文では、漢語の構造を日本文との比較により整理する。例えば「登山」と「山に登る」のように、日本文と異なる語順の構造については返り点が付くことを実践的に理解させる。また、現代文の資料から反語表現や抑揚表現を探させ、例えば副詞「いわんや」などの用法を探す活動により、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解させる。

(3) 設問ごとの分析結果

① 出題のねらいと内容

「A話すこと・聞くこと」、「B書くこと」、「C読むこと」及び〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕の3領域・1事項のうち、「C読むこと」及び〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕について、中学校までの学習内容を基礎として、高等学校第1学年修了までに学習した内容を選択問題形式で出題した。

② 設問ごとのねらい、結果の分析と考察

第1問 漢字・語句・文法

問1は漢字の読み書き、問2はことわざ・慣用句、問3は日本語の適切な表現、問4は敬語、問5は文法についての理解をみる問題。

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答の選択肢の選択率(%)				
						①	②	③	④	
問1	(1)	ア	③	95.3	4.7	0.0	3.2	1.3	○	0.2
	(2)	イ	①	68.2	31.7	0.1	○	18.3	7.9	5.6
	(3)	ウ	②	27.9	72.0	0.1	21.4	○	5.5	45.1
	(4)	エ	③	49.6	50.3	0.1	22.6	15.2	○	12.5
	(5)	オ	④	94.9	5.0	0.1	3.9	0.5	0.7	○
問2	カ	②	66.2	33.7	0.1	9.7	○	18.2	5.8	
問3	キ	①	63.6	36.3	0.1	○	14.3	16.3	5.8	
問4	ク	②	51.4	48.4	0.2	6.7	○	32.3	9.5	
問5	ケ	①	77.5	22.4	0.1	○	7.5	1.4	13.5	

【考察】

問1では、(3)の正答率が最も低く、成功を「収める」を④「修める」と誤って選択した者が多かった。「収める」が持つ「良い結果を得る」という意味の理解が不足していたものと思われる。同訓異字については、それぞれの漢字が持つ本来の意味を押さえさせたり、「税金を納める(納税)」「国を治める(政治)」「学問を修める(修学)」など、熟語との関連を意識させたりすることで理解につなげたい。読みの(4)では、①「ぶんぷ」の選択率が高かった。そもそも「頒布」という熟語を知らず、読みを推測する際に、「頒」の「分」の部分に引きずられたものと思われる。漢字の読み書きについては、漢字の成り立ちや部首の意味等にも触れながら、語彙を増やしていきたい。

問2の「役不足」の誤用は令和元年度にも出題されており、正答率は前回に比べて約49ポイント増加している。間違われやすい一方で、慣用句の誤用例として用いられることも多いため、正答率が上がったものと思われる。ことわざや慣用句については、その言葉を用いた例文を作らせる活動などを通して理解を促したい。

問3は、③の選択率がやや高く、「～たり」の使い方を正しく理解していないことがうかがえる。呼応の副詞や主述の対応と合わせて日本語の適切な表現を確認させ、知識の定着を目指したい。

問4は、③の選択率が高く、二重敬語の適否について認識が不十分であることがうかがえる。二重敬語は一般に適切ではないとされているが、一部習慣として定着しているものもあるため注意させたい。敬語は、実生活において必要な事項であり、確実な定着を図る必要がある。

問5は、「そうだ」の用法を識別する問題であり、平成30年度とほぼ同一である。正答率は約6ポイント低下している。日本語を正しく理解するために、文法について折に触れて確認させたい。

第2問 現代文 評論

問1・問2・問3は本文の内容、問4は本文全体の構成・内容についての理解をみる問題。

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答の選択肢の選択率 (%)			
						①	②	③	④
問 1	コ	③	63.0	36.8	0.2	8.7	19.4	○	8.7
問 2	サ	④	78.6	21.2	0.2	3.4	6.2	11.6	○
問 3	シ	①	49.0	50.7	0.3	○	13.7	6.6	30.5
問 4	ス	②	54.0	45.7	0.3	10.1	○	29.0	6.5

【考察】

問1は「人間の進化」の特徴を文脈を踏まえて的確に捉えているかを問う問題である。傍線部直後の「幼形成熟」の説明を根拠にすれば答えを導くことができるため、解釈の根拠が傍線部周辺にある際の読み取りはおおむねできていると考えられる。

問2は、第2問で最も正答率が高かった。傍線部直後に続く次段落冒頭に「その『強さ』」とあることが、正解に導く手掛かりになったためと考えられる。

問3は、キーワードである「人間らしさ」と「愛」の関係性について文脈や語句の意味を踏まえて的確に捉えているかを問う問題であったが、正答率が第2問の中で最も低く、5割に達しなかった。「人間らしさ」と「愛」との関係を「『生理的早産』ゆえに『愛』に満ちた世話を必要とし、その結果、コミュニケーションや社会性などの『人間らしさ』が育まれた」という過程として、自分の中で整理して捉える力が不足していたことが原因だと考えられる。

問4は、本文全体の構成・内容を正しく捉えられるかをみる問題である。誤答がおおよそ5割を占めたが、これは筆者の論の展開の特徴を巨視的に捉えることができていなかったためだと考えられる。

全体として文章の構成や流れ、文脈や語句の意味を踏まえずに傍線部の前後の表現のみで判断してしまう傾向がうかがえる。指示語や接続詞に注意を払いながら、書き手の思考の流れを読み取ることで、文章全体の構成や論理展開を捉えさせ、抽象的な内容であっても自分の頭の中で論を再構成し、的確に理解する力を養う必要がある。

第3問 現代文 小説

問1・問2・問3は人物の心情把握、問4は文脈を踏まえた内容の理解をみる問題。

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答の選択肢の選択率 (%)			
						①	②	③	④
問 1	セ	①	81.6	18.1	0.3	○	5.2	8.5	4.3
問 2	ソ	③	53.4	46.2	0.4	10.8	24.9	○	10.5
問 3	タ	④	75.2	24.4	0.4	7.0	8.5	8.9	○
問 4	チ	③	54.2	45.3	0.5	25.7	11.9	○	7.8

【考察】

問1は、本文の文脈に即して「独特の怖さ」を感じている「わたし」の心情を読み取る問題である。傍線部直後の描写を根拠とするものであり、文脈に沿った読み取りはおおむねできていると言える。

問2は、文脈を踏まえて「わたし」の心情を読み取る問題である。②の誤答が若干多いが、「わたし」の心情を文脈を踏まえて読み取ることができず、「前を向いた」という表現を、父の病気に対する前向きな思いという方向性で解釈してしまったためだと思われる。

問3も、文脈を踏まえて「わたし」の心情を読み取る問題であるが、正答率は75%を超えた。違和感を覚えつつも、なんとか自分なりに消化しようとしている「わたし」の心情について、叙述に根拠を求めながら的確に読み取ることができたと言える。

問4は、文章全体の内容や表現の特徴を捉えているかをみる問題である。①の誤答が若干多いが、本文での『わたし』の視点で描くことと「心労が絶えない『わたし』の様子を読者に印象付ける」とが因果関係にないことに気づくことができなかつたためと考えられる。

全体として、人物の心情や物語の展開についておおむね読み取ることができている。心情を表す語句や表現を文脈に即して丁寧に読み取ることで、登場人物の心情や文章の内容を正しく把握する力を養わせたい。

第4問 古文

問1は文法の知識、問2は古語の知識、問3・問4は文脈の把握と解釈、問5は本文全体についての内容の理解をみる問題。

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答の選択肢の選択率 (%)				
						①	②	③	④	
問 1	ツ	②	49.5	49.7	0.8	7.3	○	18.5	24.0	
問 2	a	テ	①	64.2	35.1	0.7	○	5.6	24.7	4.7
	b	ト	②	48.8	50.5	0.7	24.4	○	10.4	15.8
問 3	ナ	③	48.5	50.7	0.8	11.3	31.7	○	7.6	
問 4	ニ	④	57.5	41.5	1.0	12.8	18.2	10.5	○	
問 5	ヌ	①	53.4	45.5	1.1	○	13.7	14.0	17.8	

【考察】

問1は、基本的な動詞の活用を問う問題である。正答率は令和3年度を下回り、5割ほどであった。誤答④の選択率が高いことから、係り結びの文末の活用と、接続助詞「ば」につながる活用の知識に不確かさが見られる。用言の活用は、正確な古文読解上必要な知識であり、確実な定着を図りたい。

問2は、古語の意味を問う問題である。出題されたのはいずれも基本的な古語だが、aは③、bは①といった、単に文脈に合うという理由で解答し誤答を選ぶ率が高く、正確な古語の意味の定着に課題がみられる。

問3は、文脈の解釈の問題である。誤答②の選択率が全体の3割弱あったことから、「本意なし」(残念だ)という古語の理解が十分でないことが原因だと考えられる。

問4は文脈の把握と解釈の問題で、第4問では最も高い正答率であった。誤答の①、②、③の選択率はいずれも10%台であったが、正しい解釈のためには、「欲しくは」(欲しいのならば)、「いかが～べきか」(どうして～できるか、いやできない)といった、条件節や反語表現の知識と理解が必要であったと思われる。

問5は内容把握の問題であり、正答率が5割を超えたが、さらなる正確な読みのために、例えば「形の如く本尊を造り奉りて」は僧が本尊を自分で作ったわけではないこと、また「ありのままに委しく語れば」とあり、女人を問いただしたわけではないことなど、一語一語の正確な解釈が必要だと思われる。

解答状況から、内容を文脈に即して読み取り、主題を味わうところまでたどり着けた生徒は、半数ほどである。古典の世界に親しむためには、古語の意味や文法等の、基礎的・基本的知識の定着が大切なことは言うまでもない。指導においては、原文とともに、現代語訳を取り上げたり、原文の前後を現代語訳で補ったり、難しい部分に読み仮名を付け、注や解説を用いたりするなど教材に工夫を凝らしながら、古典そのものに対する興味・関心を広げていき、意欲を高めながら知識・技能を身に付けさせていくことが大切である。

第5問 漢文（学校選択型A用問題）

問1は返り点の理解，問2は基本語句の読み，問3・問4は句法・語句の理解をみる問題。

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答の選択肢の選択率（％）			
						①	②	③	④
問1	ネ	③	53.4	45.3	1.3	12.5	17.9	○	14.9
問2	ノ	①	26.9	71.5	1.6	○	15.1	42.9	13.5
問3	ハ	②	65.9	32.0	2.1	13.5	○	9.5	9.1
問4	ヒ	②	21.0	76.7	2.3	23.9	○	34.7	18.0

【考察】

問1は，基本的な返り点の理解を問う問題である。漢文を日本語として読むために返り点は必須の基礎事項であるが，一昨年度から正答率が減少している傾向があり，定着が課題である。

問2は，漢文における頻出語の読み（「将」，「之」）を問う問題である。正答率が低く，再読文字である「将」の読み（「まさニ～ントス」）が定着していなかったことが原因だと考えられる。

問3は，昨年度と同様に使役の知識を問う問題であるが，返り点をヒントにして正解を選ぶことができたため，正答率は著しく向上したものの，使役の句法（～ヲシテ～（セ）シム）が十分身に付いているとは言い切れず，一層の知識の定着が望まれる。

問4は，「豈～哉」を反語として捉える選択肢②・③を選んだ者が5割強で，誤って疑問と捉えた者よりは多かったものの，否定「不」に注意を払わず，「～ではないだろうか，いや～だ。」という正解が選ばなかったものと思われる。いずれにしても基本的な語句・句法の定着に課題がみられる。

全体として，漢文特有の表現や句法に慣れていない傾向がある。声に出して何度も読ませたり，基本的な句法を用いた文章を繰り返して学習させたりすることで，言葉のリズムや修辞，語句の意味や用法などを確実に身に付けさせたい。

第5問 漢文（学校選択型B用問題）

問1は基本語句の読み，問2は語句の理解・句法の理解・解釈，問3は文脈理解，問4は内容の理解をみる問題。

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答の選択肢の選択率（％）			
						①	②	③	④
問1	ネ	④	48.8	50.5	0.7	14.4	10.4	25.6	○
問2	ノ	③	49.9	49.3	0.8	7.9	34.9	○	6.4
問3	ハ	①	51.7	47.2	1.1	○	14.9	16.3	16.1
問4	ヒ	②	55.3	43.6	1.1	12.3	○	10.6	20.7

【考察】

問1は，「不如」の読みを問う問題である。「如」は読みがいくつかある語であり，文章中での用いられ方から意味を推測する能力を身に付けさせるとともに，漢字・熟語の知識を広げさせたい。

問2は，「使」を「～ヲシテ～（セ）シム」という使役形として捉えることができるかを問う問題だったが，正答率は5割を切った。②の選択肢を選んだ者も多く，正しい使役形が認識されていない。漢文を読むために必要な，基本的な語句・句法を確実に定着させることが求められる。

問3は，文脈に沿って傍線部の前後を理解し，行動の理由を把握する問題である。門人の問い掛けに孔子は「悪くんぞ～有らんや」と祭るべきことを強く主張した。反語はわざと逆の意味の問い掛けをすることで判断や意思を強調するため注意が必要で，丁寧に読み取らせたい。正答率は5割程度であり，文脈を正確に捉えることに課題がみられる。

問4は，本文の部分把握を元に正誤の判定をして，本文全体の内容が捉えられたかを確認した問

題である。本文全体の内容をより丁寧に読み取ることを意識させる必要がある。2割の者が誤って④を選んでいるが、本文の展開とは全く異なる選択肢であり、粗筋が捉えられていないことが分かる。全体として、本文の文脈や構成を捉えることが十分ではないことがうかがえる。漢文に頻出する語句・句法を定着させるとともに、その知識を本文読解に活かすことで大意が把握できるようになることを実感させ、漢文を主体的に学ぶ姿勢を身に付けさせたい。

2 数学

(1) 調査結果の概要

考察と課題

◇…相当数の生徒ができています ◆…課題がある

<学習内容>

- ◇ 整式の計算，分母の有理化，二次方程式，三角比の求値については共通問題の中で比較的正答率が高く，学習した内容について，一定の定着がみられる。
- ◆ 絶対値，二次関数のグラフ，二次不等式，正弦定理，余弦定理，箱ひげ図については共通問題の中で比較的正答率が低く，学習した内容について，定着があまり見られない。

⇒ **課題 1：数と式，二次関数，図形と計量，データの分析それぞれの分野において，学習内容の定着があまり見られない項目がある。**

<数学的な見方・考え方>

- ◇ 見慣れた形式で，適用する公式や定理がはっきりしている問題の正答率は比較的高い。
- ◆ 与えられた条件から必要となる公式や定理を見つけ出し，解答するような問題の正答率が低い。

⇒ **課題 2：与えられた条件を正しく読み取り，公式・定理を活用する力が不十分である。**

- ◆ 複数の知識を必要とし，それらを結びつけて考察することが必要となる問題の正答率が低い。

⇒ **課題 3：既習事項を相互に関連付けながら数学的に表現・処理する力が不十分である。**

- ◇ 与えられた条件をそのまま公式や定理に適用して解くような問題の正答率は比較的高い。
- ◆ 与えられた条件を目的に応じて適切に変形して解答するような問題の正答率は低い。
- ◆ 二次関数の問題などにおいて，グラフ等を活用しながら考察することができていない。

⇒ **課題 4：与えられた条件をグラフや図に表現する，適切に変形するなどして，数学的に考察する力が不十分である。**

① 共通問題の正答率（調査対象全体）

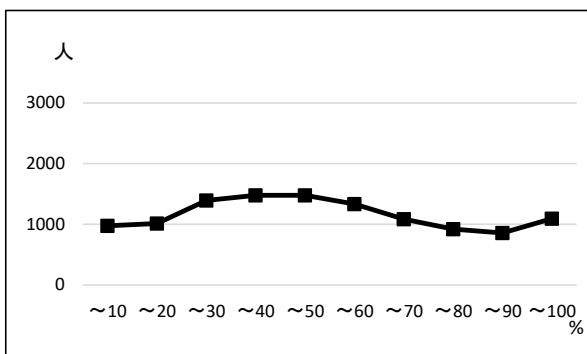


図1 【共通問題・数学】正答率の度数分布

共通問題正答率 48.9% (令和3年度47.5%)

<概況>

令和3年度と同様，どのレベルの正答率もほぼ均一に存在する分布となっている。小問ごとの正答率も令和3年度とほぼ同程度であったが，二次関数とデータの分析において，10ポイント前後の増減があった。また，A問題選択者とB問題選択者に分けて比較すると，正答率で50ポイント以上差がついている問題も見られた。

② 共通問題の小問ごと正答率（調査対象全体）

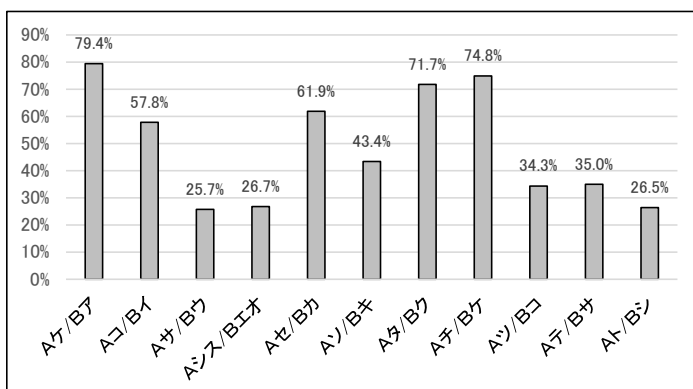


図2 【共通問題・数学】調査対象全体の小問ごと正答率

解答記号	分類	内容
Aケ/Bア	数と式	整式の計算
Aコ/Bイ	数と式	分母の有理化
Aサ/Bウ	数と式	絶対値
Aシス/Bエオ	二次関数	二次関数のグラフ
Aセ/Bカ	二次関数	二次方程式の解法
Aソ/Bキ	二次関数	二次不等式の解法
Aタ/Bク	図形と計量	三角比の値
Aチ/Bケ	図形と計量	三角比の値
Aツ/Bコ	図形と計量	正弦定理
Aテ/Bサ	図形と計量	余弦定理
Aト/Bシ	データの分析	箱ひげ図

③ 学校選択型 A 問題（A 問題選択者）の小問ごと正答率

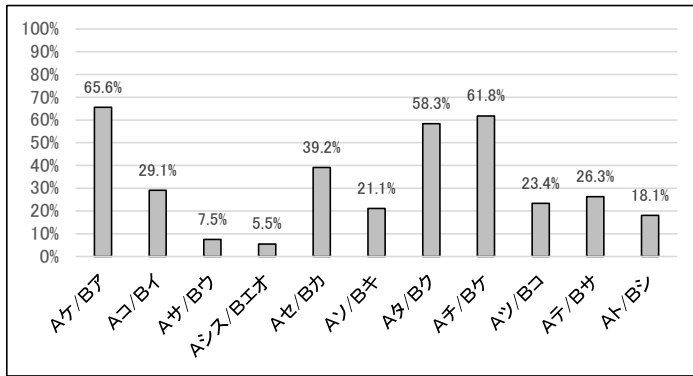


図3 【共通問題・数学】A 選択者の小問ごと正答率

解答記号	分類	内容
Aケ/Bア	数と式	整式の計算
Aコ/Bイ	数と式	分母の有利化
Aサ/Bウ	数と式	絶対値
Aシス/Bエオ	二次関数	二次関数のグラフ
Aセ/Bカ	二次関数	二次方程式の解法
Aソ/Bキ	二次関数	二次不等式の解法
Aタ/Bク	図形と計量	三角比の値
Aチ/Bケ	図形と計量	三角比の値
Aツ/Bコ	図形と計量	正弦定理
Aテ/Bサ	図形と計量	余弦定理
Aト/Bシ	データの分析	箱ひげ図

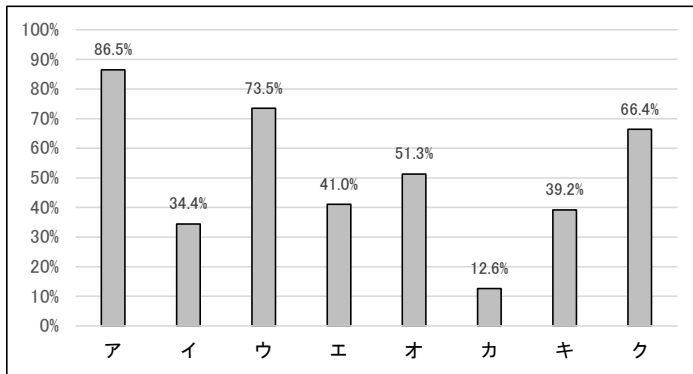


図4 【選択型 A 問題・数学】小問ごと正答率

学校選択型 A 問題

解答記号	分類	内容
ア	数と計算 (小)	分数の計算
イ	数と式 (中)	整数の計算
ウ	数と式 (中)	整式の展開
エ	数と式 (中)	平方根の計算
オ	数と式 (中)	一次方程式の解法
カ	関数 (中)	関数の値域
キ	図形 (中)	三平方の定理
ク	資料の活用 (中)	代表値

④ 学校選択型 B 問題（B 問題選択者）の小問ごと正答率

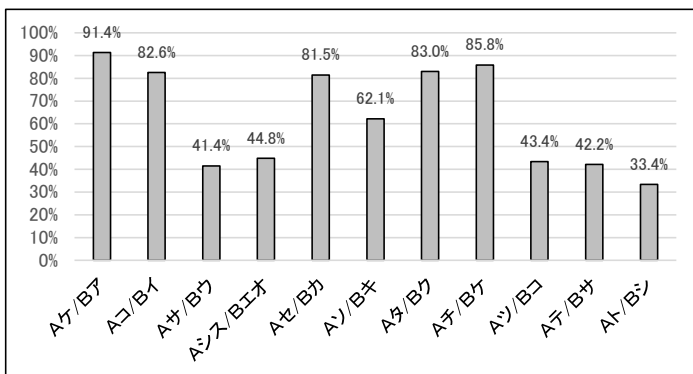


図5 【共通問題・数学】B 選択者の小問ごと正答率

解答記号	分類	内容
Aケ/Bア	数と式	整式の計算
Aコ/Bイ	数と式	分母の有利化
Aサ/Bウ	数と式	絶対値
Aシス/Bエオ	二次関数	二次関数のグラフ
Aセ/Bカ	二次関数	二次方程式の解法
Aソ/Bキ	二次関数	二次不等式の解法
Aタ/Bク	図形と計量	三角比の値
Aチ/Bケ	図形と計量	三角比の値
Aツ/Bコ	図形と計量	正弦定理
Aテ/Bサ	図形と計量	余弦定理
Aト/Bシ	データの分析	箱ひげ図

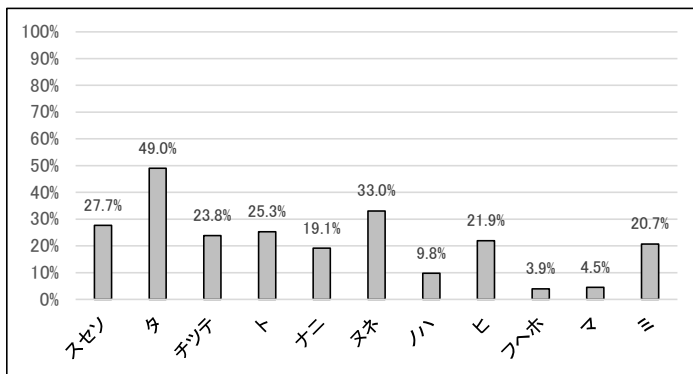


図6 【選択型 B 問題・数学】小問ごと正答率

学校選択型 B 問題

解答記号	分類	内容
スセソ	数と式	一次不等式の応用
タ	数と式	命題の真偽, 必要条件・十分条件
チツテ	二次関数	二次関数の決定
ト	二次関数	二次関数の最大最小
ナニ	二次関数	二次不等式
ナネ	図形と計量	三角比の相互関係
ノハ	図形と計量	三角比の相互関係
ヒ	図形と計量	空間図形と三角比
フヘホ	図形と計量	空間図形と三角比
マ	データの分析	データの相関
ミ	データの分析	データの相関

(2) **数学** 分析結果から見える授業づくりのポイント

POINT 1

基 礎的な用語の意味や公式・定理の確実な定着を図るとともに、与えられた条件を正しく読み取り、公式・定理を活用する力を育成する。

- 用語の意味や公式・定理の確認は、生徒に説明させるなど、生徒を主体にすることを意識する。
- 公式・定理の確認はどこで学習したかも確認するなど、生徒が必要なときに自分で振り返ることができるようにしておくという点に留意する。
- 公式・定理の活用場面では、与えられた条件からなぜその公式・定理の利用を考えたのか、といった過程を大事にするようにする。

POINT 2

既 習事項を相互に関連付けながら数学的に表現・処理する力を育成する。

- 学習した内容について単元内での関連性や他分野との関連性について確認する機会を設けるなど、身に付けた知識・技能を整理させるような機会を作る。
- 例えば、単元内の複数事項を組み合わせて考える必要が生ずる問題を準備し、解けていない生徒に対して、問題を解く上で必要となる事項の基本問題をヒントとして提示する。解答そのものを提示するのではなく、部分的にヒントを出し、既習事項を相互に関連付ける部分は生徒自身が行うようにさせる。

POINT 3

与 えられた条件をグラフや図に表現する、適切に変形するなど、数学的に考察する力を育成する。

- グラフや図での表現が有効となるような問題を準備し、表現できない生徒に対して、グラフや図の一部をヒントとして提示する。ヒントをもとに生徒が自分でグラフや図を表現して問題を解決していくという点を大事にする。
- 例えば、条件を適切に変形して考察するような問題を、グループで考えるという場面を設定する。与えられた条件とその条件に関連する公式・定理をまとめ、それをもとに、解答までの流れを協力して考えるという作業を行う中で、多様な見方・考え方に触れ、視野を広げるきっかけとする。今までになかった重要と感じた見方・考え方に気付かせ、身に付けさせるという点を意識する。

(3) 設問ごとの分析結果

① 出題のねらいと内容

高等学校第1学年修了までに学習した内容の定着状況をみる問題とした。具体的には、共通問題として、高等学校必修科目「数学I」の基礎的・基本的事項に係る問題を、学校選択型A問題として、中学校において学習した基礎的・基本的事項に係る問題を、学校選択型B問題として、複数項目を組み合わせた問題や数学的な読解力をみる問題を出題した。

各問題で扱っている内容は下表のとおりである。

	数と式	関数	図形	資料の活用
学校選択型A問題	A-1～A-5	A-6	A-7	A-8

	数と式	二次関数	図形と計量	データの分析
共通問題	A-9～A-11	A-12～A-14	A-15～A-17	A-18
	B-1～B-3	B-4～B-6	B-7～B-9	B-10
学校選択型B問題	B-11, B-12	B-13～B-15	B-16, B-17	B-18

② 設問ごとのねらい、結果の分析と考察

【共通問題】

A-9/B-1 整式を整理して計算することができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答例
A-9 B-1	ケ ア	②	79.4	20.4	0.2	⑦(5.0%), ⑤(3.4%), ④(3.0%) など

【考察】

昨年度と同様に、分配法則を正しく理解しているか、同類項の整理を正しく行えるかを問う問題であった。正答率は、昨年度に比べ7.9ポイント上昇しており、基礎的な計算規則については一定の定着が見られる。誤答例として挙げている⑦, ⑤, ④は、すべて、 $-2B$ の計算における符号の誤りである。簡単と思われる計算においても符号に注意しながら丁寧に計算することや、計算後に必ず確認をすることの重要性を生徒に意識させたい。

A-10/B-2 無理数を含む式において分母の有理化ができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答例
A-10 B-2	コ イ	⑧	57.8	41.8	0.4	③(17.8%), ①(6.5%), ⑤(5.4%) など

【考察】

今年度は分母を $3-\sqrt{2}$ 、分子を $3+\sqrt{2}$ とし、分母の有理化をした後に分子において展開計算をする必要のある問題であった。正答率は、昨年度に比べ2.9ポイント低下した。誤答としては、分母と分子の $\sqrt{2}$ のみに $\sqrt{2}$ を掛けて計算したと思われる③が昨年同様、最も多く、有理化の手法を正確に理解できていないと推測される誤答の選択率は①, ②, ③, ⑤, ⑥と合わせて34.5%であった。解答を誤った生徒に対しては、手法だけ理解させるのではなく、なぜその方法では有理化できないのかを実際に

確かめさせるなど、有理化のしくみを理解させることを意識して指導していきたい。

A-11/B-3 絶対値の意味及び無理数と整数の大小関係を理解しているかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答例
A-11 B-3	サ ウ	②	25.7	73.8	0.5	⑥(18.5%), ①(15.1%), ⑧(12.2%) など

【考察】

昨年度と同様、絶対値の組み合わせが正しいものを選択する問題であり、昨年度よりも3.5ポイント上昇した。誤答は、単にマイナスとなっている部分をプラスに変えただけの⑥など、無理数と整数の大小関係以前に絶対値の意味が理解できていないと思われるものが多かった。まずは、絶対値の定義について正確に理解させることが重要である。考え方の過程を生徒自身に説明させるなどの活動を取り入れることで、無理数を含む場合や文字を含む場合の絶対値についても、定義に従って同様に処理できるような力の育成を図りたい。

A-12/B-4 二次関数の式を平方完成して、グラフの頂点の座標を求めることができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答例
A-12 B-4	シ エ ス オ	⑤ ④	26.7	72.3	1.0	(⑥-2, ③3) (12.6%), (②2, ③3) (4.8%), (⑤-1, ②2) (4.2%), (⑤-1, ③3) (4.2%) など

【考察】

x^2 の係数が -1 である二次関数のグラフの頂点を求める問題であった。 x^2 の係数が 1 であった昨年度と比較して正答率は9.3ポイントほど減少している。誤答としては、 $(-2, 3)$ のように、与えられた二次関数の式の x の項の係数と定数項をそのまま頂点の座標としたものなど、平方完成を考えずに解答しているものが目立った。二次式を平方完成することや頂点の座標を求めることは、二次関数の中でも特に重要な知識・技能である。二次関数の式とグラフの関係や平方完成の必要性、平方完成の原理について理解を深まるような場面を設定するなど、平方完成の手法だけの理解にとどまらないように指導していきたい。

A-13/B-5 二次方程式を解くことができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答例
A-13 B-5	セ カ	①	61.9	37.4	0.7	②(9.1%), ⑤(7.8%), ③(5.8%), ④(5.8%) など

【考察】

昨年度と同様、たすきがけによる因数分解を利用した二次方程式の問題であった。正答率は、昨年度とほぼ同程度である。誤答については、たすきがけによる因数分解を行った後に解を求める場面で、符号を誤った、もしくは、分数の分母と分子を誤った、と考えられるものが多かった。2つの一次方程式を作るなど過程を丁寧に示す、また、因数分解後にどんな計算ミスが見られるかを具体的に示すなど、生徒が自分のミスに気づき、その場で改善できるような指導をしていきたい。また、解の公式を用いても解くことは可能であるが、因数分解を利用した方が簡単に処理できる場合もある。効率性の判断ができるようにすることも大事であることを意識しながら指導にあたりたい。

A-14/B-6 二次不等式を解くことができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答例
A-14 B-6	ソ キ	⑦	43.4	55.9	0.7	③(9.9%), ①(9.7%), ②(9.0%) など

【考察】

昨年度の $x^2 - a^2 \leq 0$ という形の不等式に対し、今年度は、 $x^2 - ax \leq 0$ という形の不等式の問題であった。正答率は、昨年度と同程度であった。誤答としては、 $x^2 - 4x$ を $x^2 - 4$ と混同していると思われる②、③や、 $4x$ を右辺に移項した $x^2 \leq 4x$ の両辺を x で割ったと思われる①が多かった。二次不等式を扱う際は、二次不等式の解法だけでなく、その土台となる因数分解や二次方程式の解法、二次関数のグラフの定着度も確認しつつ、必要に応じて振り返りながら進めるなど、丁寧な指導を心掛けたい。

A-15/B-7 三角比の値を求めることができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答例
A-15 B-7	タ ク チ ケ	⑤ ③	71.7 74.8	27.8 24.7	0.5 0.5	③(8.8%), ⑥(7.4%), ④(5.2%) など ⑤(6.7%), ④(6.5%), ①(4.5%) など

【考察】

共通問題の中では正答率が高く、定着が見られる。誤答については、 $\sin A$ と $\cos A$ を取り違えたものや、分数の分母と分子が逆であるなど、定義を誤った形で覚えていると思われるものがほとんどであった。三角比と直角三角形の2辺の対応や、直角三角形を回転移動したり対称移動した場合の三角比の値など、生徒がイメージしにくい部分をICT機器でフォローするなどしながら、直角三角形の3辺の長さが与えられた場合に生徒が三角比の値を確実に解答できるよう指導していきたい。

A-16/B-8 正弦定理を用いて三角形の辺の長さを求めることができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答例
A-16 B-8	ツ コ	④	34.3	63.6	2.1	⑦(11.6%), ⑧(11.5%), ⑥(9.9%) など

【考察】

外接円の半径が与えられた上で正弦定理を用いて三角形の辺の長さを求める問題であった。正答率が昨年度の29.6%より上昇しているが、共通問題の中では低い正答率となっている。誤答については、正弦定理の利用を考えたが立式で誤った、または、正弦定理を利用し立式した後に計算を誤った、と思われるものが目立った。立式後の計算を誤っている生徒への指導としては、例えば、ICT機器を使って複数の生徒の解答を同時に黒板に映し、誤りやすいポイントを具体的に示して、自分の誤りに気付かせるなどの方法も考えられる。辺の長さ、外接円の半径、 $\sin A$ のどれを問われても正弦定理を適切に活用できるよう指導していきたい。

A-17/B-9 余弦定理を用いて2点間の距離を求めることができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答例
A-17 B-9	テ サ	②	35.0	62.5	2.5	③(15.0%), ⑦(12.7%), ⑥(11.4%) など

【考察】

昨年度と同様に、余弦定理を用いて2点間の距離を求める問題であった。余弦定理の利用を考えず、図から目分量で解答したと思われる③80や、余弦定理を利用したが、 $\cos 120^\circ$ の値を誤った、もしくは、途中で計算を誤ったと思われる⑦ $10\sqrt{19}$ 、⑥ $7\sqrt{10}$ などの誤答が見られた。A-17/B-9は余弦定理に関する典型的な問題である。余弦定理の活用場面や余弦定理で求められる値について考えさせる場面を設定するなど、余弦定理の式の暗記だけにとどまらないように指導していきたい。

A-18/B-10 箱ひげ図から情報を正しく読み取ることができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答例
A-18 B-10	ト シ	②	26.5	72.8	0.7	④(42.1%), ③(26.7%), ①(4.1%)

【考察】

昨年度と同様、2つの箱ひげ図を比較して、読み取ることができる情報を選択する問題であった。正答率は昨年度の12.7%から上昇したが、誤答の中では、④の選択率が正答率を上回った。実際は関連のない箱ひげ図の範囲の大きさと分散の大きさを関連付けて考えてしまったためと推測される。箱ひげ図の範囲の大きさと分散の大きさに関連がないことについては、実際に成り立たない例を挙げさせるなどの方法も考えられる。様々なデータを扱う中で必要な情報を読み取る力の育成を図っていきたい。また、箱ひげ図が複数のデータを比較する際に有効であるなど、その有用性についても理解させるようにしていきたい。

【学校選択型A問題】

A-1 分数の加法ができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答例
A-1	ア	⑦	86.5	13.3	0.2	⑤(8.4%), ②(1.8%), ③(1.0%) など

【考察】

分数の加法において通分を正しく行えるかを問う問題であった。正答率は86.5%であった。誤答の中では、分母同士、分子同士をそのまま足した⑤の選択率が8.4%と高かった。早い段階で基本的な計算技能の習得に課題が見られる生徒を発見し、適切な支援が行えるよう留意して指導にあたりたい。

A-2 累乗の計算及び乗法と除法が混じった式の計算ができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答例
A-2	イ	⑧	34.4	65.4	0.2	⑤(26.0%), ④(16.9%), ①(12.1%) など

【考察】

正答率は 34.4%であり、昨年度に比べて 20.0 ポイントと低下した。誤答については、例年と同様「÷」より後ろを先に計算した⑤の選択率が 26.0%と最も高かったが、正答率低下の大きな要因としては、 $-3^2 = 9$ とした誤答④の選択率が 16.9%となっていることにあると考えられる。四則計算の順序や -3^2 と $(-3)^2$ の違いも含め、累乗の計算などの基本的な計算の技能が定着するように指導していきたい。

A-3 整式の展開ができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答例
A-3	ウ	①	73.5	26.2	0.3	③(12.6%), ②(4.2%), ⑧(2.8%) など

【考察】

昨年度と同様に、分配法則を正しく理解しているか、同類項の整理を正しく行えるかを問う問題であった。誤答としては、 $-3y \times 2y = 6y^2$ のように、係数の積と文字の積を同時に計算する過程で、符号を間違えて展開したものが最も多く、次いで、同類項を整理する際の加法の誤りが多かった。計算を誤った生徒に対しては、なぜ誤ったのかをその場で確認させるなど、同じような誤りを繰り返さないようにさせることを意識して指導していきたい。

A-4 平方根を含む式の計算ができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答例
A-4	エ	④	41.0	58.5	0.5	⑤(22.6%), ③(13.0%), ②(8.8%) など

【考察】

最も多い誤答は、展開の公式を $(\sqrt{5} - \sqrt{3})^2 = (\sqrt{5})^2 - (\sqrt{3})^2 = 2$ と誤った、あるいは $(\sqrt{5} - \sqrt{3})^2 = (\sqrt{2})^2 = 2$ のように平方根の計算を誤ったと思われる⑤であった。次いで、 $(a - b)^2 = a^2 - 2ab - b^2$ と、展開時に符号を誤って計算したと思われる③が多かった。具体的にいくつかの誤答例を提示して同じような誤りをしていないか確認させるなど、生徒が自分の誤りやすい箇所に気づき、自分で修正していきけるような工夫を講じていきたい。

A-5 一次方程式を解くことができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答例
A-5	オ	④	51.3	48.1	0.6	①(11.6%), ③(9.5%), ②(8.1%) など

【考察】

分数を含む一次方程式を解く問題であったが、昨年度に比べて 8.4 ポイント正答率が低下した。正答率低下の要因としては、 $\frac{1}{12}x = 2$ の計算を誤ったと考えられる誤答①の選択率が高かったことが挙げられる。また、昨年度と同様に、両辺に分母の最小公倍数をかける際に計算を誤ったと考えられる誤答②、③の選択率も高かった。いずれも分数の処理に関する計算ミスである。生徒は分数の計算が苦手であることを意識し、計算を誤った生徒に対しては、解答までの流れを丁寧に示し、何故誤ったかを考えさせるなど、生徒が計算ミスを修正し、問題を解決できるよう指導していきたい。

A-6 関数 $y = x^2$ で、 x の変域に対応する y の変域を求めることができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答例
A-6	カ	③	12.6	86.9	0.5	⑤(33.3%), ⑥(21.3%), ⑧(13.4%) など

【考察】

昨年度に引き続き、二次関数の値域に関して、最小値がグラフの頂点の y 座標となる問題であった。誤答としては、定義域の両端における y の値から値域を求めようとしたものが多く見られた (⑤, ⑥, ⑧)。原因としては、二次関数のグラフがイメージできていない、または、二次関数の特徴について正確に理解できていないことが考えられる。二次関数の最大値・最小値では、二次関数のグラフをイメージできるかどうか重要である。二次関数のグラフをイメージさせる機会を作ることを念頭に置いて指導していきたい。また、視覚的に考察することの重要性も生徒に理解させるようにしていきたい。

A-7 三平方の定理を用いて直角三角形の1辺の長さを求めることができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答例
A-7	キ	⑦	39.2	60.3	0.5	②(23.0%), ⑤(12.2%), ④(7.6%) など

【考察】

昨年度と同様、三平方の定理を用いて直角三角形の辺の長さを求める問題であった。正答率は 28.8% から約 10 ポイント上昇しているが、三平方の定理を用いず、目分量で判断したと思われる ② や、三平方の定理を用いたが、途中で計算を誤ったと考えられる ④, ⑤ といった誤答の割合も多く見られた。三平方の定理は重要な定理である。ただ式を覚えるのではなく、三平方の定理はどんな定理なのか、そのしくみを理解させることを意識した学習を取り入れ、生徒が三平方の定理を正しく理解して活用することができるよう工夫して指導していきたい。

A-8 ヒストグラムから最頻値を読み取ることができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答例
A-8	ク	④	66.4	33.3	0.3	③(9.3%), ⑥(6.4%), ⑤(5.2%) など

【考察】

昨年度と同様、最頻値を読み取る問題であった。正答率は約 13 ポイント上昇したが、度数分布がヒストグラムで表され視覚的に捉えやすかったためと思われる。誤答としては、最頻値を階級値にしているものや、中央値と最頻値を混同しているものが見られた。最頻値だけではなく、中央値や平均値についてもあわせて定義を理解させ、正しく使い分けられるよう丁寧に指導していきたい。

【学校選択型B問題】

B-11 問題文の内容を読み取って、数量関係を不等式で立式し解くことができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答例
B-11	ス	1	27.7	55.6	16.7	126(3.2%), 105(2.1%) など
	セ	0				
	ソ	2				

【考察】

昨年度と同様、問題文を読んで不等式を立式し、答えを導く問題であった。「さらに2枚ずつ配ったが、～できなかつた」という条件を不等式として立式することが難しかったと思われる。正答率は昨年度と比べて16.2ポイントと大きく上昇しているが、これは昨年度に比べ条件が複雑でなかったことが要因であると思われる。例えば、問題文に含まれる条件をまとめ、式としてどう表現できるかをグループで考えさせ、解答までの過程を説明させるなどの活動を取り入れるなど、条件から正しく情報を読み取り整理する力、数式として表現する力の育成を図っていきたい。

B-12 命題の真偽を正しく判断することができるか、必要条件・十分条件の意味を理解しているかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答例
B-12	タ	④	49.0	50.2	0.8	③(26.5%), ⑤(8.7%), ①(7.0%) など

【考察】

今年度は不等式の性質に関する出題であった。誤答は、昨年と同様、命題の真偽は理解できているが、必要条件や十分条件の意味を理解できていないと思われる③の選択率が26.5%と高かった。必要条件と十分条件は混同しやすい。日常生活の中にある簡単な事例を取り上げてイメージをつかませるなど、引き続き丁寧に指導していきたい。

B-13 グラフや文章から必要な情報を読み取り、二次関数の係数を求めることができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答例
B-13	チ	2	23.8	69.3	6.9	$y = -1x^2 + 4x - 1(9.5\%)$ $y = -3x^2 + 2x - 5(5.9\%)$ $y = -2x^2 + 3x - 5(5.9\%)$ など
	ツ	8				
	テ	5				

【考察】

与えられた放物線と条件から放物線の式を決定する問題であった。誤答例としては、放物線の頂点には着目したが、 x^2 の係数には着目せず1として計算したために誤ったものや、単純に与えられている数値を当てはめただけと思われるものが見られた。B-13は二次関数のグラフや対称移動について正確に理解できていなければ解けない問題である。ICT機器などを活用して式とグラフの対応を確認させたり、様々なパターンの問題を考えさせたりして、二次関数の平行移動や対称移動についてさらに理解が深められるように工夫して指導していきたい。

B-14 二次関数の最小値から未知数を求めることができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答例
B-14	ト	②	25.3	70.4	4.3	①(15.6%), ③(14.6%), ⑥(14.6%) など

【考察】

a の値により場合分けを行い、与えられた最小値をとるときの a の値を求める問題であった。誤答としては、場合分けせず、頂点で最小値をとると考えて a の値を求めた ① や、場合分けを行ったが、前提条件を満たしているかを吟味できていない ③、定義域の端点で最小値をとると考えて a の値を求めた ⑥ などが挙げられる。場合分けや得られた結論についての吟味は、数学において重要な見方・考え方である。なぜ場合分けや得られた結論についての吟味が必要となるのかについて、じっくり考える場面を作るなどして、生徒が場合分けや結論の吟味の必要性を理解しながら解答に取り組めるよう指導していきたい。

B-15 二次不等式の解の条件から未知数の値の範囲を求めることができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答例
B-15	ナ	③	19.1	78.4	2.5	① $<$ ⑥4 (18.3%), ② \leq ⑥4 (12.4%) ④ \geq ⑥4 (5.9%) など
	ニ	⑥				

【考察】

二次不等式が常に成り立つ条件を、二次関数のグラフと x 軸の位置関係から、二次方程式の判別式 D などを用いて求める問題であった。誤答については、判別式を立式し、**ニ** は 4 と求められたが、二次関数のグラフと判別式 D の値の関係について正確に理解できておらず、**ナ** の不等号を誤ったと思われるものが目立った。最も多かった誤答は、与えられた条件式の不等号の向きから、判別式を $D > 0$ として計算したものである。二次不等式と判別式 D から得られた不等式の不等号の向きは混同しやすい。問題に扱う際は、実際にグラフを図示して、 x 軸との位置関係や判別式 D の不等号の向きについて確認させながら進めるなど、丁寧な指導が必要である。また、判別式 D の不等号の向きが逆になるとなぜ誤りなのかなど、具体的に考えさせる場面を設けるなどして、二次不等式と判別式 D から得られた不等式の関係についてさらに理解が深められるよう工夫して指導していきたい。

B-16 三角比の相互関係を用いて正接を求めることができるか、三角形の相互関係を用いて正弦と余弦の差を求めることができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答例
B-16	ヌ	4	33.0	57.5	9.5	$\tan \theta = \frac{3}{4}$ (37.1%), $\tan \theta = \frac{1}{2}$ (2.4%) $\tan \theta = \frac{2}{3}$ (2.1%) など
	ネ	3				
	ノ	1	9.8	72.1	18.1	$\sin \theta - \cos \theta = \frac{3}{4}$ (11.9%), $\sin \theta - \cos \theta = \frac{4}{3}$ (9.4%), $\sin \theta - \cos \theta = \frac{1}{2}$ (8.3%) など
	ハ	5				

【考察】

与えられた条件式から三角比の相互関係を用いて、 $\tan \theta$ の値と $\sin \theta - \cos \theta$ の値を求める問題であっ

た。☐ヌネについては、三角比の相互関係の公式を $\tan \theta = \frac{\cos \theta}{\sin \theta}$ と誤った、などの理由から導かれたと思われる誤答 $\tan \theta = \frac{3}{4}$ が 37.1%と、正答率を上回った。また、☐ヌネの正答率 33.0%に対し、☐ノハの正答率は 9.8%、無答率は 18.1%という結果であった。 $\sin \theta - \cos \theta$ の値を直接求めるのではなく、 $\sin \theta$ と $\cos \theta$ の値をそれぞれ具体的に求めるという方法に気付くことができなかつたためと考えられる。三角比の相互関係は三角比分野の中でも重要な公式である。式を暗記するだけでなく、様々な活用場面を示し考えさせることで、適切に三角比の相互関係を活用し、必要な値を求められるような力を生徒に身につけさせていきたい。また、1つの三角比の値から残りの2つの三角比の値を求めることができるという三角比の相互関係の基本も、時々触れるなどして活用場面で活かせるようにしていきたい。

B-17 五面体の断面に現れる三角形の余弦を求めることができるか、球に内接する四面体の体積が最大となるときの体積を求めることができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答例
B-17	ヒ	3	21.9	60.0	18.1	$\sqrt{2}$ (25.4%), $\sqrt{5}$ (11.4%), $\sqrt{6}$ (7.4%) など
	フ	2	3.9	68.0	28.1	$\frac{2\sqrt{5}}{3}$ (2.9%), $\frac{2\sqrt{2}}{2}$ (2.8%), $\frac{3\sqrt{5}}{2}$ (2.4%) など
	ヘ	6				
	ホ	3				

【考察】

正四角錐と正四面体を重ね合わせてできる五面体に関する問題である。断面に現れる三角形の外接円の半径を求める問題では、与えられた条件から $\triangle ACF$ の3辺の長さを求め、 $\triangle ACF$ が直角三角形となることに気づくことが必要であった。☐フヘホの無答率が他の問題と比較して高くなっているが、3点A, F, Cを含む半径Rの球面をイメージすることが難しかったためと考えられる。空間図形は平面図形に比べてイメージすることが難しい。複雑な空間図形を扱う際はICT機器等で映し出して、視覚的に捉えさせ、解答の過程をじっくり考えさせるなどして、空間図形のイメージを膨らませる機会としたい。また、基本的なものについてはICT機器等を利用せず解かせるようにするなど、最終的には自分で必要な図形をイメージしながら空間図形を考察できるような力を身に付けさせるようにしていきたい。

B-18 データの修正に伴う標準偏差、共分散、相関係数の値の変化を考察することができるか、3つの相関係数の大小関係を考察することができるかをみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答例
B-18	マ	⑨	4.5	90.1	5.4	②(23.3%), ③(21.7%), ④(17.5%) など
	ミ	③	20.7	72.8	6.5	⑤(19.5%), ②(19.2%), ①(12.6%) など

【考察】

☐マ, ☐ミともに、データの修正による相関係数への影響について考察する問題であった。☐マについては、仮定I, IIの文章にある「長い」「短い」の条件から答えを判断したと思われる誤答が目立った。☐マは、データに定数を足す、データから定数を引くという変換を行っても相関係数は結果的に変化

しないことを意味している。標準偏差，共分散，相関係数については，その計算方法を理解させるだけでなく，それぞれのもつ特徴をつかませることも重要である。例えば，身近にある具体的なデータを利用して，データの変換に伴って標準偏差，共分散，相関係数はどのように変化するかを実際に計算してみる，散布図で映し出してみる，何故そうなるのかを定性的に考察するなど，標準偏差，共分散，相関係数についての理解をさらに深めさせられるよう指導していきたい。

3 英語

(1) 調査結果の概要

考察と課題

◇…相当数の生徒ができています ◆…課題がある

<リスニング>

- ◇ 基本的な語彙や文法事項を用いた英語を聞き取り、場面や状況を把握することはできています。
- ◆ まとまった量の説明や対話を聞いて、必要な情報を聞き取り、概要や要点を的確に捉える力が不足している。

⇒ **課題1：まとまった量の英語を聞き、概要や要点を把握しながら必要な情報を聞き取る力が不足している。**

<文法・語法>

- ◇ 基本的な時制、特に過去進行形の知識は定着がみられる。
- ◆ 中学校の学習内容である関係詞の省略の文構造や、間接疑問の語順に関する理解が十分ではない。
- ◆ 高校で学習する文法のうち、特に使役動詞や分詞構文、仮定法、文型については理解が十分ではない。
- ◆ 英語特有の文構造や語順を用いて運用する力が不足している。

⇒ **課題2：既出の文法や語彙、表現を適切に運用し正確に運用する力が不足している。**

<情報検索>

- ◇ 資料から、曜日や日時などの基本的な情報を探し出すことはできています。
- ◆ 複数箇所から必要な情報を検索し、それらを適切に整理して思考する力が不足している。
- ◆ 与えられた情報から、事実と意見を区別して的確に理解する力が不足している。

⇒ **課題3：英語の資料から目的に応じて必要な情報を検索し、事実と意見を区別しながら思考し判断する力が不足している。**

<長文読解>

- ◆ まとまった量の英文を読み、概要を把握する力が不足している。
- ◆ 初見の単語や表現の意味を文脈から推測して読む力が不足している。
- ◆ 段落ごとの概要を意識しながら、文全体の流れを把握する力が不足している。

⇒ **課題4：未知の語句を推測しながらまとまった量の英文を読み、概要や要点を読み取る力が不足している。**

① 共通問題の正答率（調査対象全体）

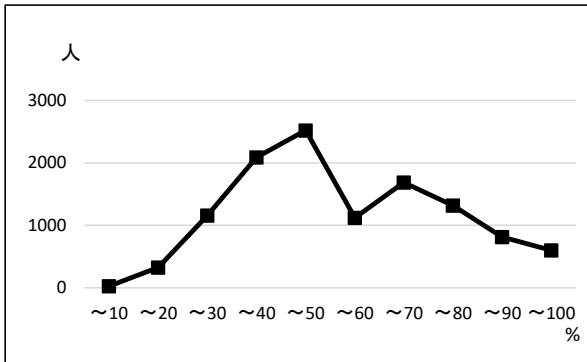


図1 【共通問題・英語】正答率の度数分布

共通問題正答率 **53.7%**（令和3年度41.8%）

<概況>

正答率は前年度と比較して11.9ポイントの上昇が見られた。正答率41%以上50%以下の度数が最も大きく、基礎的・基本的な知識の定着は昨年度と比べ若干進んだ様子がうかがえる。音声や語彙、表現、文法などの知識・技能が、コミュニケーション活動において活用され、思考・判断・表現することを通して、知識・技能の習得を目指すような指導を今後も継続して行う必要がある。

② 共通問題の小問ごと正答率（調査対象全体）

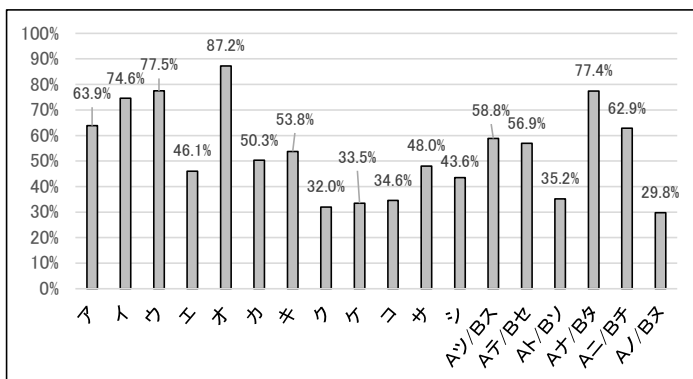


図2 【共通問題・英語】調査対象全体の小問ごと正答率

解答記号	分類	内容
ア・イ	リスニング	モノローグ
ウ・エ	リスニング	モノローグ
オ・カ	リスニング	二人の会話
キ～コ	リスニング	モノローグ
サ・シ	リスニング	二人の会話
A ッ/B ス	文法・語法	動詞の語法
A テ/B セ	文法・語法	比較表現
A ト/B ソ	文法・語法	使役動詞
A ナ/B タ	文法・語法	過去進行形
A ニ/B チ	文法・語法	関係副詞
A ノ/B ヌ	文法・語法（整序）	接触節

③ 学校選択型 A 問題（A 問題選択者）の小問ごと正答率

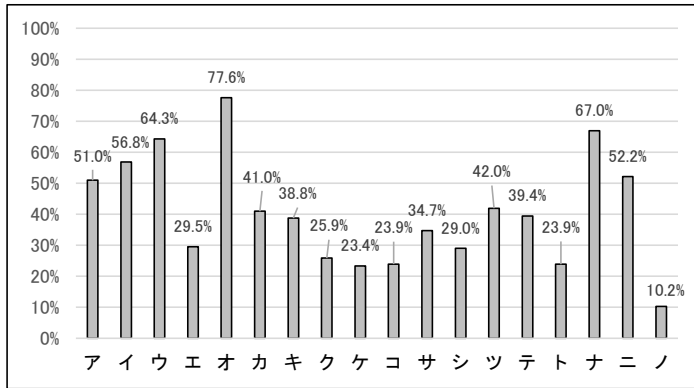


図3 【共通問題・英語】A 選択者の小問ごと正答率

解答記号	分類	内容
ア・イ	リスニング	モノローグ
ウ・エ	リスニング	モノローグ
オ・カ	リスニング	二人の会話
キ～コ	リスニング	モノローグ
サ・シ	リスニング	二人の会話
A ツ/B ス	文法・語法	動詞の語法
A テ/B セ	文法・語法	比較表現
A ト/B ソ	文法・語法	使役動詞
A ナ/B タ	文法・語法	過去進行形
A ニ/B チ	文法・語法	関係副詞
A ノ/B ヌ	文法・語法（整序）	接触節

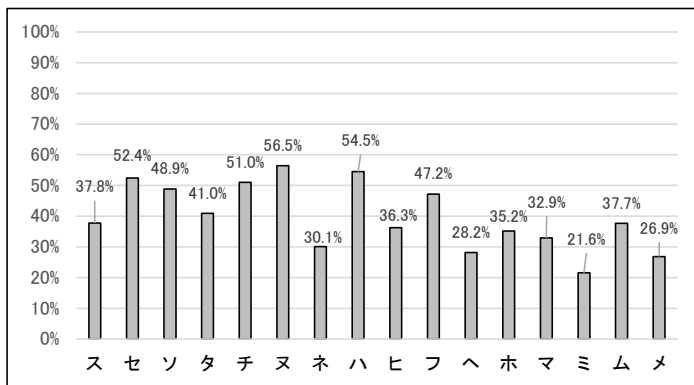


図4 【選択型 A 問題・英語】小問ごと正答率

学校選択型 A 問題

解答記号	分類	内容
ス	文法・語法	人称代名詞
セ	文法・語法	動詞の時制
ソ	文法・語法	不定詞
タ	文法・語法	分詞
チ	文法・語法	関係代名詞
ヌ	文法・語法（整序）	第 4 文型
ネ	文法・語法（整序）	間接疑問
ハ～ホ	資料読み取り	情報検索
マ～メ	長文読解	内容理解

④ 学校選択型 B 問題（B 問題選択者）の小問ごと正答率

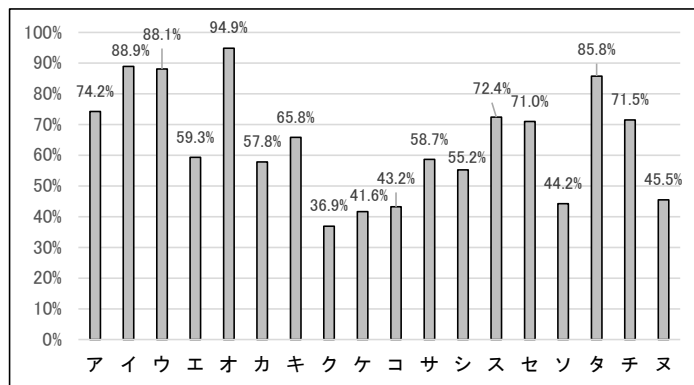


図5 【共通問題・英語】B 選択者の小問ごと正答率

解答記号	分類	内容
ア・イ	リスニング	モノローグ
ウ・エ	リスニング	モノローグ
オ・カ	リスニング	二人の会話
キ～コ	リスニング	モノローグ
サ・シ	リスニング	二人の会話
A ツ/B ス	文法・語法	動詞の語法
A テ/B セ	文法・語法	比較表現
A ト/B ソ	文法・語法	使役動詞
A ナ/B タ	文法・語法	過去進行形
A ニ/B チ	文法・語法	関係副詞
A ノ/B ヌ	文法・語法（整序）	接触節

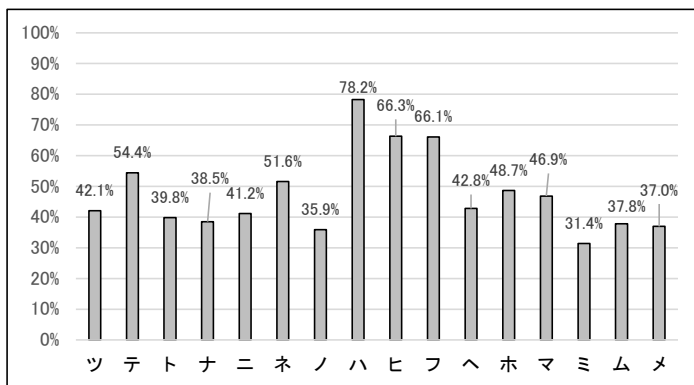


図6 【選択型 B 問題・英語】小問ごと正答率

学校選択型 B 問題

解答記号	分類	内容
ソ	文法・語法	動詞の時制
テ	文法・語法	助動詞
ト	文法・語法	副詞
ナ	文法・語法	分詞構文
ニ	文法・語法	仮定法
ネ	文法・語法（整序）	不定詞（否定）
ノ	文法・語法（整序）	間接目的語
ハ～ホ	資料読み取り	情報検索
マ～メ	長文読解	内容理解

(2) **英語** 分析結果から見える授業づくりのポイント

POINT 1 - リスニング

様 々な場面の音声教材を用いて、内容を的確に捉え、概要や要点、話し手の意図を把握する力を養う。学習内容は言語活動の中で実際に運用させながら、定着を図る。

- 「音を聞き取る」ことと、「聞き取った音を素早くかつ正確に処理する」ことを意識した活動を通して、「聞くこと」の力を養う。
- 学習した文法事項や表現に「繰り返し」出会う仕組みを工夫する。特に、様々な数量表現については、豊富な例文の中で触れさせる指導を通して定着を図る。
- 聞く「状況や目的」を明示し、「必要な情報」を聞き取る活動をする。最初は概略を、次に必要な細部情報を聞き取る活動など、情報量を調整しながら、概要や要点を把握する力を育成する。
- 「聞くこと」を通じて得た情報について、4技能の総合的な育成を目指すために、自らの体験等と結びつけた言語活動を設定する。

POINT 2 - 文法・語法

文 法・語法は、目的や場面、状況を適切に設定し、意味のある文脈の中で情報や考え、気持ちなどを伝える活動を通して定着を図る。

- 英語特有の文構造や語順については、中学校での既習事項とも関連させながら指導する。
- 文法事項は、既習・新出を問わず、目的や場面、状況を適切に設定した言語活動の中で繰り返し触れる工夫をすることで、言語の運用能力を育成する。

POINT 3 - 情報検索

様 々な形式の英文素材を用いて、必要な情報を読み取り、書き手の意図を的確に把握する力を育成する。

- パンフレットやウェブサイトの広告など、生徒にとって身の回りにある素材を用いて様々な表現に触れさせる。発問の仕方を工夫し、概要や要点を的確に読み取る力を育成する。
- 素材から得られた情報を事実と意見に整理する活動を工夫する。得られた情報について、自分の考えを英語で表現することで、書かれている情報の意図を把握する力を養う。

POINT 4 - 長文読解

生 徒の習熟状況に応じた話題の英文を取り上げ、概要や要点を的確に把握する力、読み取った内容を基に概要や要点を適切に表現する力を育成する。

- 生徒の習熟状況を考慮した題材を扱い、読んだ題材に関する興味・関心を高める指導を工夫する。
- 読む「目的」を明確にし、概要や要点を捉えるための活動や発問を工夫する。
- 読み取った内容を英語で要約して表現する活動を取り入れて、適切に表現する力を育む。

(3) 設問ごとの分析結果

① 出題のねらいと内容

「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと」及び「書くこと」の領域のうち、「聞くこと」及び「読むこと」について、中学校までの学習内容を基礎として、高等学校第1学年修了までに学習した内容を選択問題形式で出題した。

② 設問ごとのねらい、結果の分析と考察

1 リスニング問題：英語を聞いて、場面や状況を的確に把握する力をみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答の選択肢の選択率 (%)				
						1	2	3	4	
1	(1)	ア	4	63.9	36.0	0.1	2.0	31.9	2.1	○
	(2)	イ	2	74.6	25.3	0.1	2.6	○	4.2	18.5

【考察】

両問とも正答率は60%を超えており、英語を聞いて場面や状況を把握する力はある程度定着していると言える。ただし、(1)では、“next to”の意味を捉えられていないと思われる選択肢2の誤答が31.9%であった。(2)では、“is sitting”を“is standing”と誤ったと思われる誤答が見られた。

2 リスニング問題：英語を聞いて、話し手の発言の趣旨や要旨を的確に把握する力をみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答の選択肢の選択率 (%)				
						1	2	3	4	
2	(1)	ウ	2	77.5	22.3	0.2	6.5	○	6.7	9.0
	(2)	エ	3	46.1	53.7	0.2	6.1	42.6	○	5.1

【考察】

(1)では、正答率が70%を超え、「冬のニューヨークが寒い」という話し手の発言の趣旨を的確に捉えることができていた。(2)では、選択肢2の誤答が42%を占め、情報を的確に聞き取ることができずに会話中の“opened”が入った選択肢を選んだものと考えられる。

3 リスニング問題：英語の会話を聞き、概要や要点を的確に把握する力をみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答の選択肢の選択率 (%)				
						1	2	3	4	
3	(1)	オ	3	87.2	12.6	0.2	4.2	2.4	○	6.0
	(2)	カ	1	50.3	49.4	0.3	○	24.7	17.1	7.6

【考察】

(1)は、ピザ屋での会話を聞き、内容に合致するものを選ぶ問題であった。正答率は80%を超えており、会話中の複数の情報を聞き取り、その内容を的確に捉えることができていた。(2)では、教室での生徒同士の会話に関する問題であった。選択肢2の誤答が約25%を占めたが、これはNickの最初の発言の趣旨を的確に捉えることができていなかったためだと考えられる。

4 リスニング問題：英語の説明から複数の情報を聞き取り、素早く正確に処理する力をみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答の選択肢の選択率 (%)			
						1	2	3	4
4	キ	3	53.8	45.8	0.4	12.2	22.1	○	11.5
	ク	2	32.0	67.5	0.5	20.6	○	19.1	27.8
	ケ	4	33.5	65.9	0.6	32.4	19.7	13.8	○
	コ	1	34.6	64.9	0.5	○	26.4	14.0	24.4

【考察】

若者のゲーム利用時間の長さや、男女それぞれの回答者の割合を聞き取る問題であった。“30 percent”の聞き取りが求められたキでは、正答率が50%を超えた。しかし、ク、ケ、コの正答率はいずれも30%台となった。これは“one in five”や“more than half”のような割合を表す表現や、“less than”や“under”のような範囲を表す表現が十分理解されていないためと考えられる。

5 リスニング問題：英語の会話を聞いて、必要な情報を統合して要点を整理、判断する力をみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答の選択肢の選択率 (%)				
						1	2	3	4	
5	(1)	サ	2	48.0	51.7	0.3	22.8	○	19.9	9.0
	(2)	シ	4	43.6	56.1	0.3	13.2	11.2	31.7	○

【考察】

キャッシュレス決済についての会話を聞き、それぞれの話者の話の要点を整理、判断することが求められた。3のような短く比較的平易な会話文の問題では正答率が50%を超えているのに対し、5の正答率が50%に満たないことから、まとまった量の英語を聞き、要点を適切に捉える力に課題があると考えられる。(1)は、ジャックの意見を問う問題であった。選択肢1と3の選択率が20%前後あったが、選択肢1はジャックが述べていない内容であり、断片的に聞き取った“convenient”と選択肢1の文中の“convenience”から判断したものと推測される。選択肢3はジャックの意見とエミリーの意見を取り違えたことと推測される。(2)は、エミリーの意見を問う問題であった。誤答となる選択肢3の選択率が30%を超えた。これは、エミリーの発言内容の理解が不十分であり、聞こえてきた“too much money”が入った選択肢を選んだためだと推測される。

6 (共通問題) 語彙・文法・語法問題：英語によるコミュニケーションを図るために必要となる基礎的・基本的表現、語法など、言語に関する知識・理解をみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答の選択肢の選択率 (%)				
						1	2	3	4	
6	A(6)	ツ	3	58.9	41.0	0.2	12.9	6.6	○	21.5
	B(1)	ス								
	A(7)	テ	3	56.9	42.9	0.2	12.8	11.9	○	18.1
	B(2)	セ								
	A(8)	ト	1	35.2	64.6	0.2	○	25.1	18.4	21.2
	B(3)	ソ								
A(9)	ナ	3	77.4	22.4	0.2	5.0	3.9	○	13.5	
B(4)	タ									
A(10)	ニ	2	62.9	36.9	0.2	20.7	○	8.3	7.9	
B(5)	チ									

【考察】

ツ/ス<動詞の語法>、テ/セ<比較表現>、ナ/タ<過去進行形>、ニ/チ<関係副詞>のような基本的な文法知識の正答率は50%を超えた。特にナ/タ<過去進行形>の正答率は77%を超えており、基本的な時制の知識は定着していると言える。ト/ソ<使役動詞>の正答率は35%にとどまった。過去に実施された本調査においても、<使役動詞>に関する正答率は30%前後であった。ここから、“make”の目的語の直後に置く語形の知識が定着していない様子が推測される。コミュニケーションの土台となる基礎的・基本的な文法・語法については、生徒が積極的に英語を使って取り組めるような活動を通して、定着を図るなどの工夫が必要がある。

7 (共通問題) 整序問題：与えられた語句を正しい語順に並べかえて英文を構成することにより、言語に関する知識・理解と表現する力をみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答の選択肢の選択率 (%)				
						1	2	3	4	
7	A(3)	ノ	4	29.8	69.9	0.3	38.7	11.1	20.1	○
	B(1)	ヌ								

【考察】

ノ/ヌ<関係詞の省略>では、正答率が約30%にとどまり、誤答の選択肢1の選択率が正答率を上回った。省略された関係詞節“he lent me”によって主語“the book”を後ろから修飾することに気付かず、“Ken lent me the book”と並べたものと思われる。英語特有の語順については、文法の説明で終わることなく、意味のある文脈の中でコミュニケーションを通して活用させながら、習得させる工夫が求められる。

6 (学校選択型A) 語彙・文法・語法問題：英語によるコミュニケーションを図るために必要となる基礎的・基本的表現、語法など、言語に関する知識・理解をみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答の選択肢の選択率 (%)				
						1	2	3	4	
6	(1)	ス	4	37.8	62.0	0.2	3.7	6.9	51.5	○
	(2)	セ	4	52.4	47.4	0.2	16.8	22.0	8.6	○
	(3)	ソ	2	48.9	50.8	0.3	13.4	○	24.5	12.9
	(4)	タ	3	40.9	58.9	0.2	21.6	18.5	○	18.8
	(5)	チ	1	51.0	48.7	0.3	○	19.9	13.6	15.2

【考察】

(2)<動詞の時制>、(3)<不定詞>、(5)<関係代名詞>の正答率は50%前後であった、これらのような基礎的な文法事項に関しては、表現活動などを通して更なる定着を図りたい。(1)<人称代名詞>では、目的格の人称代名詞である選択肢3“me”への選択率が50%を超え、正答率を上回った。これは、文意を取ることができなかつたことと、空欄の後に語を伴わずに、独立して用いることができる選択肢を選んだことが原因だと推測でき、人称代名詞の格変化の定着が不十分だと考えられる。

(4)<分詞>では、空欄の後の“by”を手掛かりに、分詞の後置修飾を用いた文であると判断できなかったものと推測される。コミュニケーションの土台となる基礎的・基本的な語彙・文法・語法などについては、意味のある文脈の中でコミュニケーションを通して活用させながら、それらを使う設定を何度もつくる工夫が求められる。

7 (学校選択型A) 整序問題：与えられた語句を正しい語順に並べかえて英文を構成することにより、言語に関する知識・理解と表現する力をみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答の選択肢の選択率 (%)				
						1	2	3	4	
7	(1)	ヌ	2	56.5	43.2	0.3	8.1	○	30.8	4.3
	(2)	ネ	3	30.1	69.5	0.4	18.6	20.1	○	30.8

【考察】

(1) <第4文型SVO₁O₂>の正答率は50%を超えているが、誤答の選択肢3の選択率が30%あり、基本的な文型に関する知識の定着が十分ではないことが推測される。(2) <間接疑問>では、直接疑問の語順で並べたと思われる選択肢4の選択率が30%となっており、間接疑問の語順の定着が十分ではないと推測される。英語特有の語順については、多様な言語活動を通して、運用しながら身に付けさせるような工夫が求められる。

8 (学校選択型A) 資料読み取り問題：ウェブサイト上の案内を基に、必要な情報を目的に応じて素早く探し出す力を見る問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答の選択肢の選択率 (%)				
						1	2	3	4	
8	(1)	ハ	2	54.5	44.9	0.6	20.4	○	13.1	11.4
	(2)	ヒ	3	36.3	62.9	0.8	25.2	21.9	○	15.8
	(3)	フ	2	47.2	52.1	0.7	28.8	○	11.7	11.6
	(4)	ヘ	1	28.2	71.0	0.8	○	29.7	27.9	13.6
	(5)	ホ	4	35.2	64.0	0.8	21.3	18.5	24.2	○

【考察】

(1) 以外は、正答率が50%に満たず30%台が目立つ結果となった。多くの生徒が、ウェブサイトの案内からの確に情報を読み取ることができなかったものと推測される。(1)では、“Opening times”から、54.5%が正しい情報を読み取ることができたが、誤答のうち、選択率の高かった選択肢1を選んだのは20%であり、“only on weekdays”の理解が不十分であったためと推測する。(2)と(3)では、“Bike rental fees”から、必要な情報を探し出す必要があった。(2)では、設問文内の“over one day”と料金表内の“Additional rental”の表現が結びつかなかった誤答や、支払いに関する“cash”と“credit card”の意味と理解が不十分であると思われる誤答が目立った。(3)では、チャイルドシート付きの大人用自転車を借りる必要があったが、チャイルドシートを含めない誤答が目立った。これは、料金表内の“(under 3 years old)”と設問文の“2-year-old”の表現との関係を理解できなかったものと思われる。(4)は本問内で正答率が最も低かった。“Message from shop”の内容を的確に捉えられていないと推測される誤答が多く、これは、情報の在処は提示されていたが、接続詞の“or”と“and”や“any time”と“next time”のような基本的な語句の理解が不十分であるためと考えられる。(5)は案内全体から情報を読み取り、正しい記述の選択肢を選択する問いであった。基本的な語彙である“free”や“don't have to”を正しく理解していないと思われる誤答が目立った。

9 学校選択型A用問題：物語を読んで、その概要や内容を的確に読み取る力をみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答の選択肢の選択率 (%)				
						1	2	3	4	
9	(1)	マ	2	32.9	66.0	1.1	22.0	○	31.1	12.9
	(2)	ミ	4	21.6	77.0	1.4	19.3	31.7	26.1	○
	(3)	ム	3	37.7	60.9	1.4	22.1	20.3	○	18.5
	(4)	メ	4	26.9	71.5	1.6	23.9	27.3	20.3	○

【考察】

同じ病室に入院している、寝たきりの2人の男性に関する物語を題材とし、ジョンがフランクに対してとった行動の背景にある事実と理由を適切に読み取りながら、概要や要点を的確に把握する力を見る問題であった。(1)では、選択肢3への選択率が正答率と同程度であったが、これはフランクとジョンが同じ病室に入院していることを読み取れなかったものと推測される。(2)は大問中で最も正答率が低く、選択肢2の選択率は正答率を大きく上回った。これは“only John could see outside the window.”の部分だけを読み取って解答したものと推測される。(3)は、正答を選んだのは約37%であり、文脈を捉えることができなかつたものと考えられる。(4)は、最も無答率の高い問題であった。最終段落に正答の根拠となる内容があるため、時間内に全文を読み終えることができなかつた者もいと推測される。また、時間内に全文を読めた生徒たちも内容理解が不十分であったと推測されることから、概要や要点を的確に把握する力を養う工夫が求められる。

6 (学校選択型 B) 語彙・文法・語法問題：英語によるコミュニケーションを図るために必要となる基礎的・基本的表現、語法など、言語に関する知識・理解をみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答の選択肢の選択率 (%)				
						1	2	3	4	
6	(6)	ツ	1	42.1	57.7	0.2	○	6.7	29.1	21.9
	(7)	テ	4	54.4	45.4	0.2	13.8	14.9	16.7	○
	(8)	ト	3	39.8	59.9	0.3	25.9	17.8	○	16.2
	(9)	ナ	4	38.5	61.2	0.3	17.1	27.5	16.6	○
	(10)	ニ	2	41.2	58.6	0.2	13.3	○	9.4	35.9

【考察】

(7) <助動詞>の正答率は50%を上回ったが、(6) <時・条件を表す副詞節>、(8) <副詞>、(9) <分詞構文>、(10) <仮定法>の正答率は40%前後となった。(6) <時・条件を表す副詞節>では、約30%が未来表現を含む選択肢3の誤答を選んでおり、時・条件を表す副詞節中では未来を現在形で表す、という知識の定着が不十分であると考えられる。(8) <副詞>では、文意が取れなかつたことやそれぞれの選択肢の意味を理解していないことが誤答の原因だと考えられる。(9) <分詞構文>では、約28%が選択肢2の誤答を選んでおり、否定の分詞構文における“not”の位置に関する知識の定着が不十分であると考えられる。(10) <仮定法>では、誤答である選択肢4(仮定法過去完了)への選択率が30%を上回った。これは、主節の最後にある“now”を手掛かりに、主節が仮定法過去であると判断できなかつたものと推測できる。コミュニケーションの土台となる基礎的・基本的な語彙・文法・語法などについては、意味のある文脈の中でコミュニケーションを通して活用させながら、それらを使う設定を何度もつくるような工夫が求められる。

7 (学校選択型 B) 整序問題：与えられた語句を正しい語順に並べかえて英文を構成することにより、言語に関する知識・理解と表現する力をみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答の選択肢の選択率 (%)				
						1	2	3	4	
7	(1)	ネ	3	51.5	48.3	0.2	12.6	27.1	○	8.6
	(2)	ノ	2	35.9	63.9	0.2	9.7	○	7.2	47.0

【考察】

(1) <動詞の語法>の正答率は約52%であったが、誤答である選択肢2への選択率が27%であることから、不定詞の否定形の知識の定着が不十分であると考えられる。(2) <形式目的語>は、正答率が35%程度にとどまり、“I found it difficult to make understood myself in English.”と並べたものと

思われる選択肢 4 への選択率が正答率を上回った。＜形式目的語＞の語順は定着していると推測されるが、慣用表現（make oneself understood）の語順の定着は不十分であると考えられる。英語特有の語順については、多様な言語活動を通して、運用しながら身に付けさせるような工夫が求められる。

8（学校選択型 B）資料読み取り問題：ウェブサイト上の案内を基に、必要な情報を素早く探し出す力、事実と意見を区別して情報を読み取る力を見る問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答の選択肢の選択率 (%)				
						1	2	3	4	
8	(1)	ハ	3	78.2	21.3	0.5	4.5	11.3	○	5.4
	(2)	ヒ	4	66.3	33.2	0.5	5.1	16.1	11.9	○
	(3)	フ	2	66.1	33.4	0.5	18.8	○	12.2	2.4
	(4)	ヘ	2	42.8	56.4	0.8	22.2	○	18.9	15.3
	(5)	ホ	1	48.7	50.6	0.7	○	15.7	18.6	16.3

【考察】

(1) では正答率が約 80%であることから、サマーキャンプの対象者を読み取ることができたと考えられる。(2) と (3) はともに正答率 65%を超え、必要な情報を探し出し、条件から簡単な計算を行って答えを導き出すことができていると推測される。(4) と (5) はそれぞれ「事実」と「意見」を区別する問題であったが、正答率が 50%に届かず、ウェブサイトに記載されている内容が「事実」であるか「意見」であるかを区別することができなかったと考えられる。(4) では選択肢 1「フェンシングはスピードと技術が必要である」や選択肢 3「参加者にとってお互いに助け合うことが大切である」といった明らかに「意見」である選択肢を選んだ誤答が目立った。また、(5) では選択肢 1 から 3 は「意見」であるが、レビューの内容から導きだせる「意見」は選択肢 1 のみである。素早く情報を検索する力や、読み取った複数の情報から判断し、「事実」と「意見」に区別する力に課題が見られる。

9 学校選択型 B 用問題：説明文を読んで、その概要を理解し、内容を的確に読み取る力をみる問題

問題番号	解答記号	正解	正答率	誤答率	無答率	誤答の選択肢の選択率 (%)				
						1	2	3	4	
9	(1)	マ	3	46.9	52.2	0.9	16.0	22.7	○	13.6
	(2)	ミ	2	31.4	67.5	1.1	15.8	○	26.0	25.6
	(3)	ム	1	37.8	60.8	1.4	○	19.7	22.0	19.1
	(4)	メ	3	37.0	61.4	1.6	25.1	20.8	○	15.6

【考察】

パンダのふんに着目した新たなバイオ燃料開発に関する記事を読んで、科学者がなぜパンダのふんに着目したのか、パンダの何が廃棄物からエネルギーを生成するヒントになりうるのかを読み取りながら概要や要点を的確に把握する力をみる問題であった。(1) は、本大問中で最も正答率が高かった。これは、問いに対して本文中で言い換えている部分が正答となっており、比較的容易に正答を導き出すことができたためと考えられる。誤答の選択肢 2 の選択率が最も高く、これは、パンダから連想したと思われる“bamboo”が含まれる選択肢を選んだものと推測される。(2) は、問いを正確に読み取れず、パンダの胃の中の微生物の働きが効率的である理由ではなく、その結果を答えてしまったと考えられる。(3) では、誤答となる全ての選択肢の選択率が 20%前後となり、問題文から [a] と [b] の対応関係を読み取ることができなかったと推測される。(4) は、無答率が全問題中で最も高くなった。これは、残り少ない時間で、問題文全体の情報を整理しなければならなかったことも原因と考えられる。まとまった量の英文を、書かれている情報を整理しながら読み、概要や要点を的確に捉える力に課題が見られる。

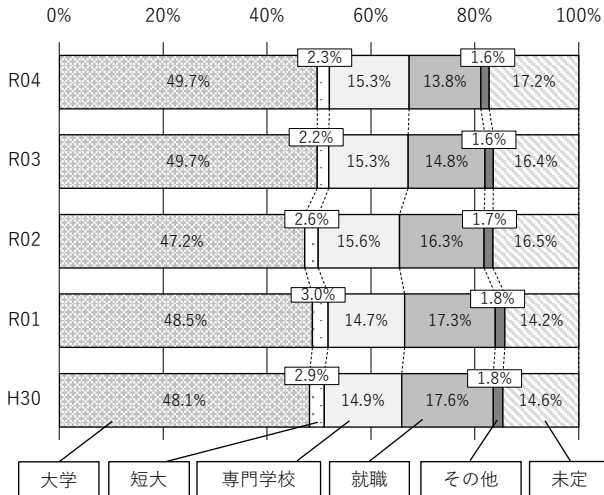
Ⅲ 学習状況等に関する調査結果の概要と分析

1 学習状況

(1) 高校卒業後の進路希望について

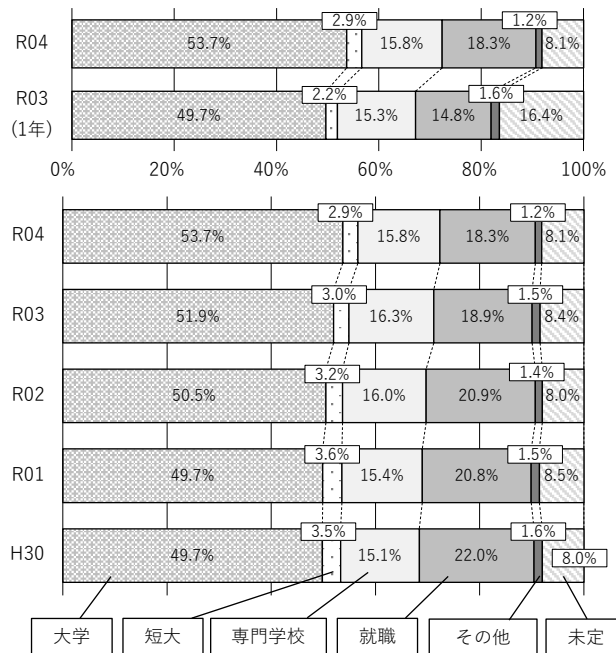
① 高校卒業後、進みたいと考えている進路のうち、現在、最も強く希望しているものを1つ選んでください。【Q1】

〔1年生〕



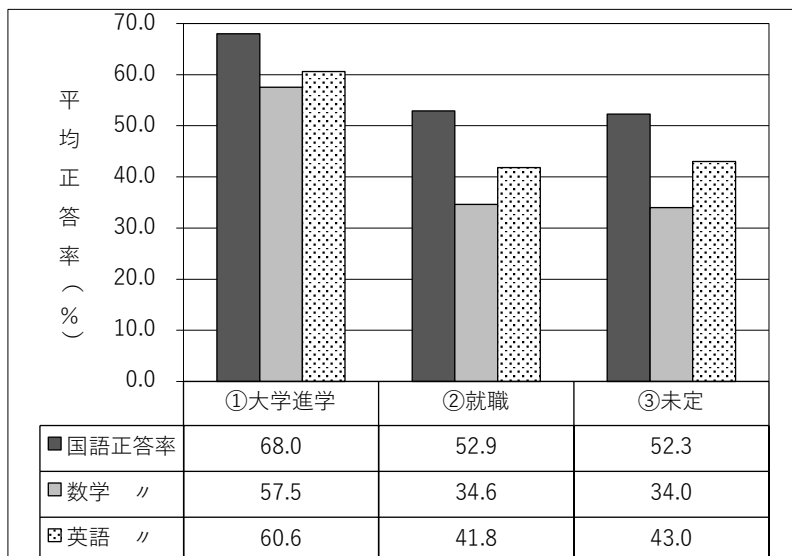
- 進学希望の割合は6割を超えており、過去5か年で大きな変化は見られない。
- 就職希望の割合は減少傾向。
- 進路希望未定の割合は長期的に増加、特にR2以降増加の度合が加速傾向。

〔2年生〕



- 1年時に比べ、未定の割合が大きく減少。しかし未定の割合は長期的には増加傾向。
- 進学希望の割合は7割を超えており、過去5か年で増加傾向がうかがえる。一方、就職希望の割合は減少傾向。

② 進路希望別正答率



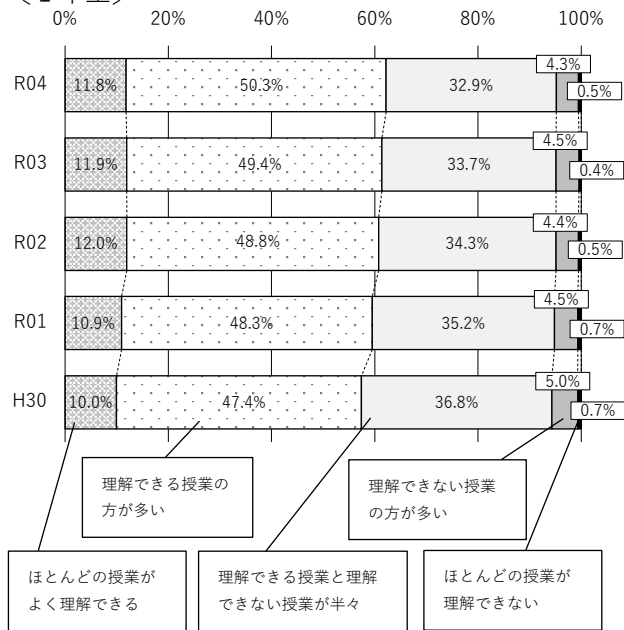
- ① 大学進学
国公立の4年制大学への進学を希望している生徒
- ② 就職
民間及び公務員への就職を希望している生徒
- ③ 未定

- いずれの教科も、4年制大学進学希望者と就職希望者・進路希望未決定者の正答率に大きな開きがある。
- 4年制大学進学希望者と就職希望者・進路希望未決定者の正答率の差は、数学において最も大きい。

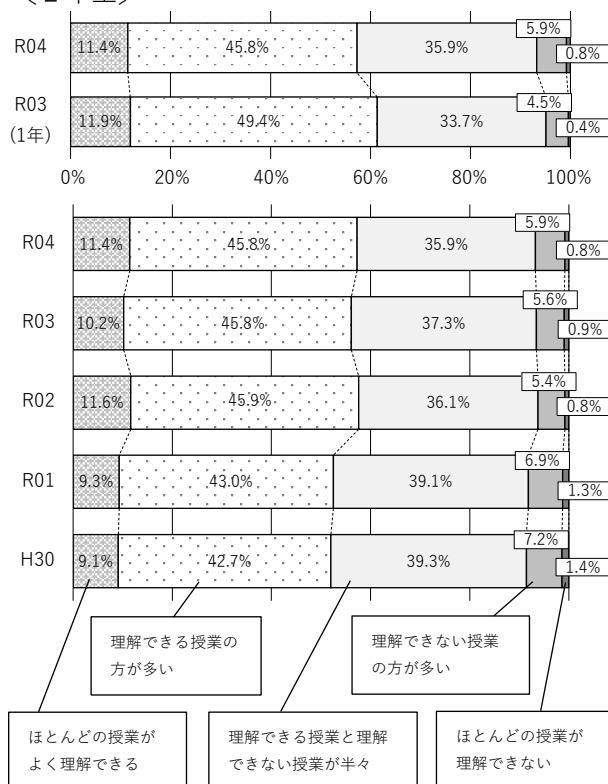
(2) 授業理解度と家庭学習の仕方について

① 授業の内容がどの程度理解できますか【Q4】

〔1年生〕



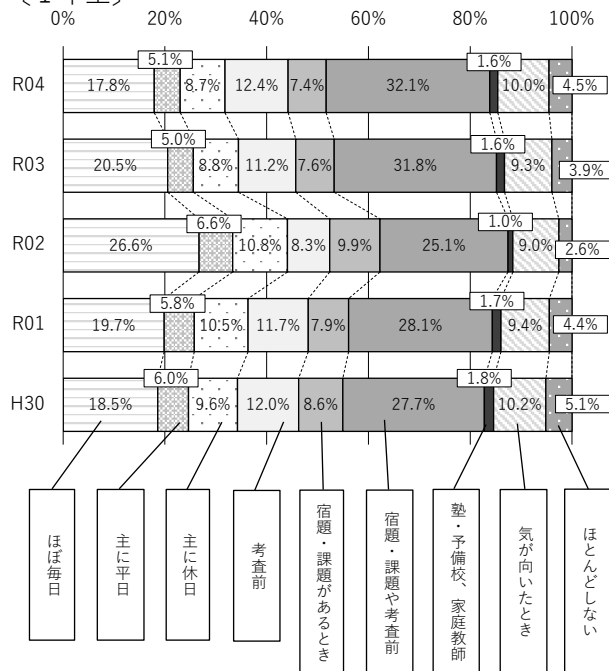
〔2年生〕



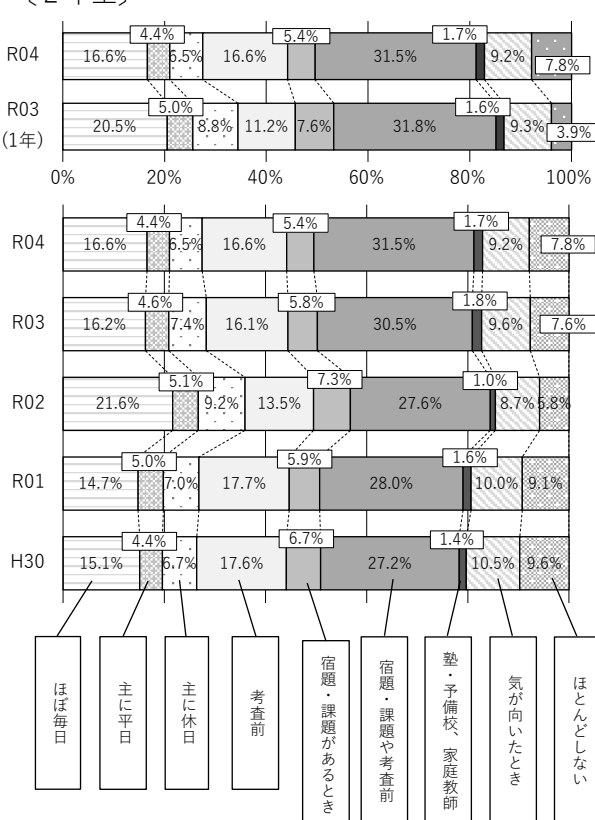
- 1・2年生とも、授業理解に肯定的な回答をした生徒の割合が約6割で、長期的に増加傾向。
- 一方で、2年生では、肯定的な回答が、1年時と比較して減少。これも長期的に継続している傾向。

② 家庭学習の仕方に、最も近いものはどれですか【Q16】

〔1年生〕



〔2年生〕

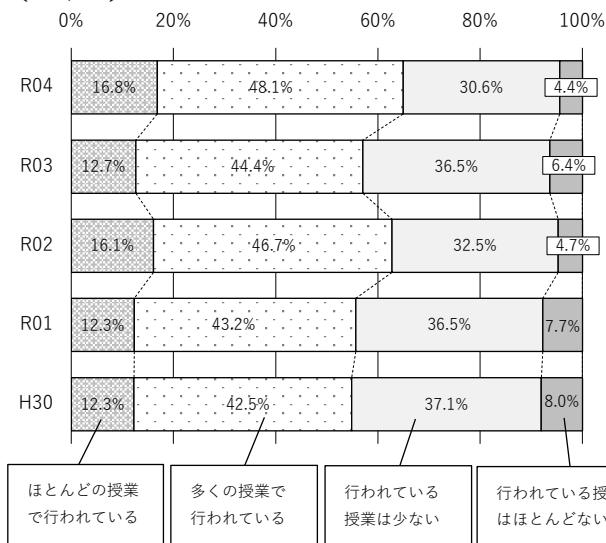


- 1年生は、「ほぼ毎日」の割合が、R3と比較して減少。「気が向いたとき」「ほとんどしない」は、R3に増加に転じており、注意が必要。
- 感染症予防措置として休校のあったR2を除けば、2年生の「ほぼ毎日」の割合は緩やかに増加傾向。しかし1年時との比較では減少。

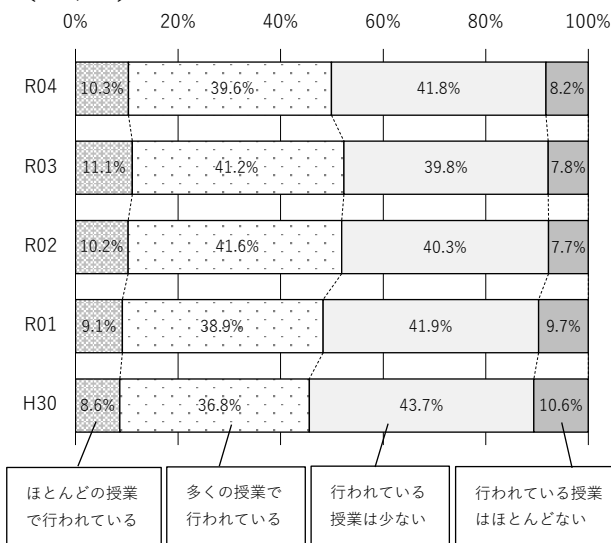
(3) 授業における学習目標の提示や振り返りについて

① 授業のはじめに学習の目標が示されたり、授業の終わりに学習のまとめや振り返りが行われたりしていますか【Q6】

〔1年生〕

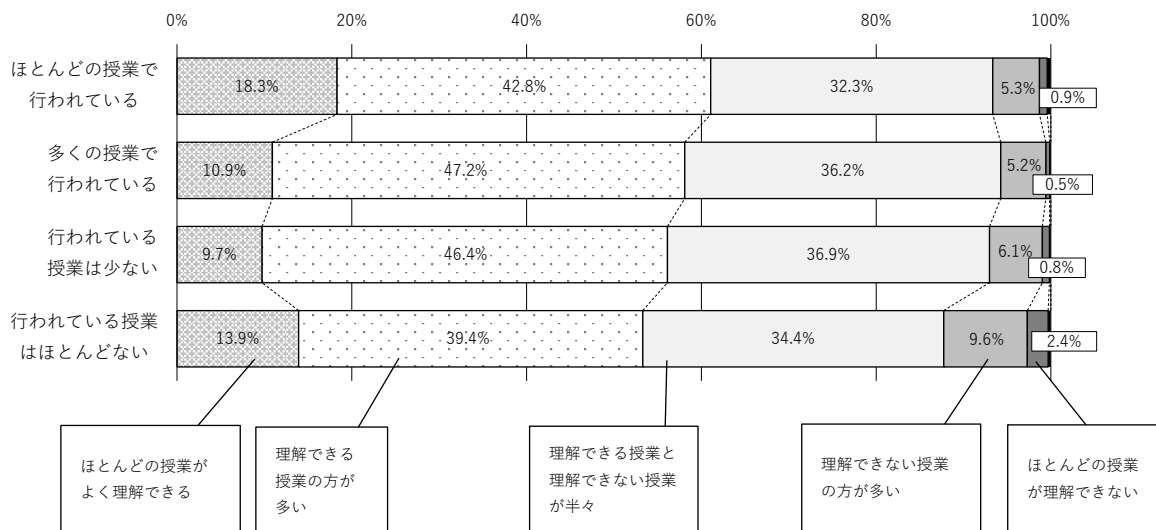


〔2年生〕



- 1年生では、「ほとんどの授業で行われている」・「多くの授業で行われている」と回答した生徒の割合が、長期的にはコンスタントに増加し続けているが、2年生ではR3から減少傾向に入る。
- 2年生にあがると、1年時と比して肯定的回答が減少する傾向も、長期的に続いている。

② 授業での学習目標の提示や振り返りと授業理解度（2年生）【Q4】【Q6】

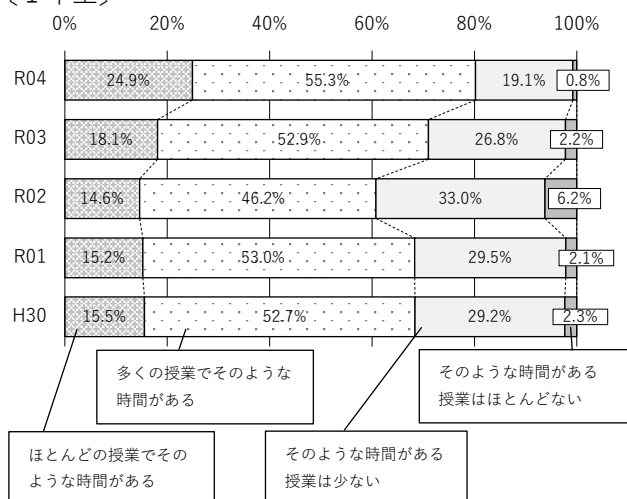


- 「ほとんどの授業で学習目標の提示や振り返りが行われている」と回答したグループほど、授業理解度が高い傾向がみられる。
- 「行われている授業がほとんどない」場合、「理解できない授業の方が多い」と「ほとんどの授業が理解できない」を合わせた割合は約12%に達する。これは、肯定的回答の場合の倍に近い。
- 学習目標の提示や振り返りを行うことは、生徒の学習に対する主体性を高め、授業理解を深めることにも有効であると考えられる。
- 授業のねらいの明確化と振り返りの確実な実施は、宮城県の小中学校における「学力向上に向けた5つの提言」の中に位置付けられており、この「提言」は、H29以降おおむね95%の小中学校で実践が図られている。目標提示と振り返りの実施は、生徒にとっては一般的な授業の流れであると思われる。

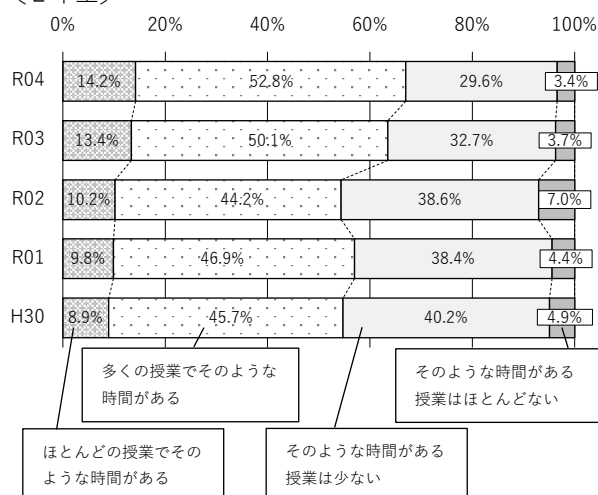
(4) 自分の考えを发表或し、ペアやグループで話し合ったりする学習活動について

① 授業の中で、自分の考えを发表或し、考えたことをペアや小グループで話し合ったりする時間がありますか【Q7】

〔1年生〕



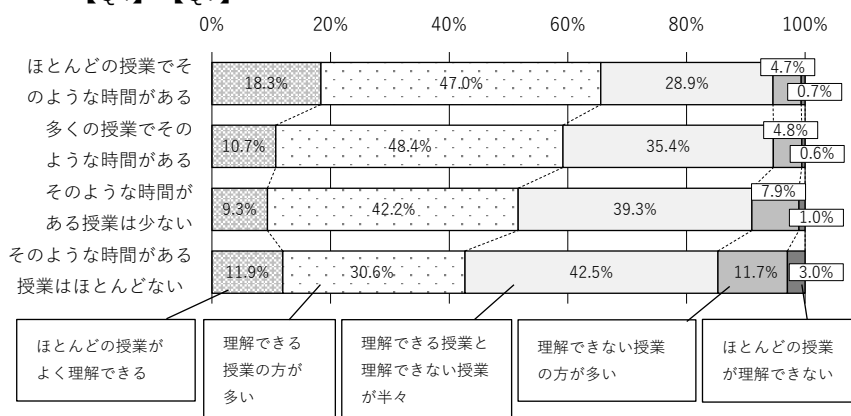
〔2年生〕



○ 肯定的回答の割合が1年生で80%を超え、2年生でも70%に迫ろうとしており、これは本項目の統計が始まったH27のそれぞれ約1.6倍と約1.8倍である。学習指導要領で望まれている力の育成を図る授業改善に、各校で努めている様子がうかがえる。一方で、1年生から2年生に上がると肯定的回答が減少していることに注意したい。

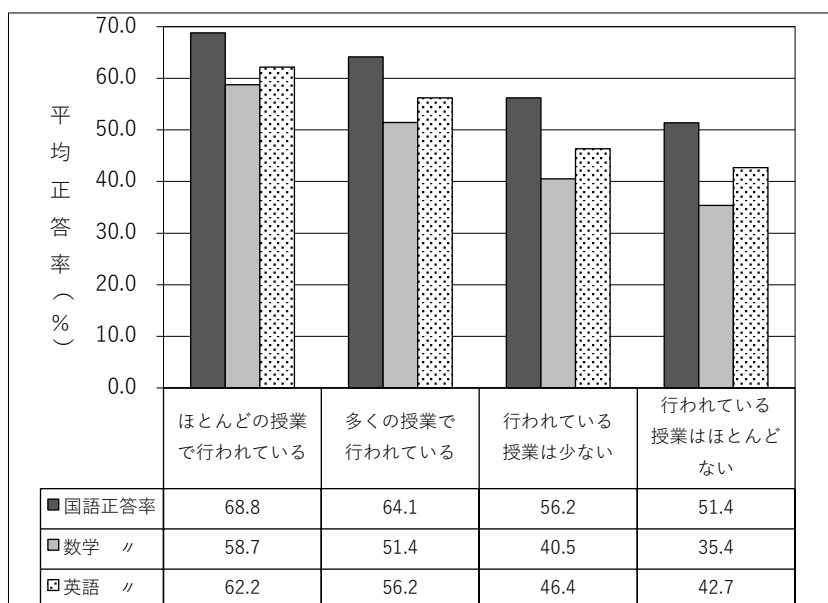
② 自分の考えを发表或し、ペアやグループで話し合ったりする学習活動と授業理解度（2年生）

【Q4】 【Q7】



○ 「ほとんどの授業で発表や話し合いの時間がある」と回答したグループほど、授業理解度が高い傾向がある。「そのような時間がある授業はほとんどない」と回答したグループと比較すると、授業理解度に大きな開きがある。

③ 自分の考えを发表或し、ペアやグループで話し合ったりする学習活動と正答率



○ 発表や話し合いの活動が行われる授業が多いほど、正答率が高くなる傾向が見られる。また、「ほとんどの授業で行われている」と回答したグループと、「行われている授業はほとんどない」と回答したグループの正答率には、大きな差が見られる。

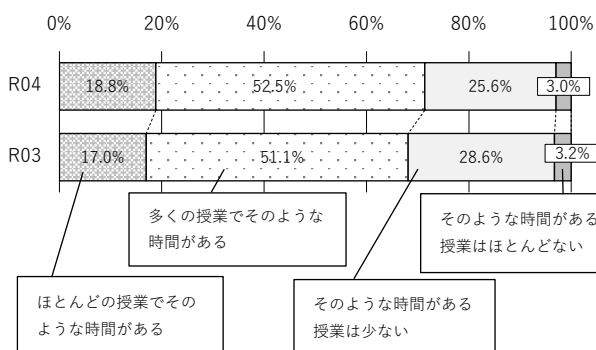
○ 発表や話し合いの活動を効果的に設定することで、生徒が他者の意見に触れたり自らの考えを整理することになり、学習内容の理解度が高まることが期待される。

○ 左の結果からも、対話的な学びを充実させる取組が、生徒の思考力・判断力・表現力を育成するとともに、深い理解につながっていると考えられる。

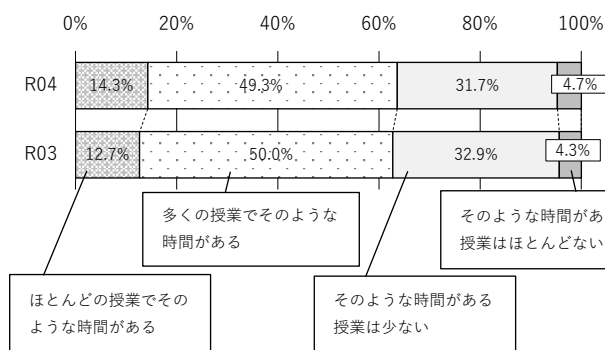
(5) 課題を見つけたり、解決したりする学習活動について

① 授業の中で、あなたが課題を見つけたり、解決したりする時間がありますか【Q8】

〔1年生〕

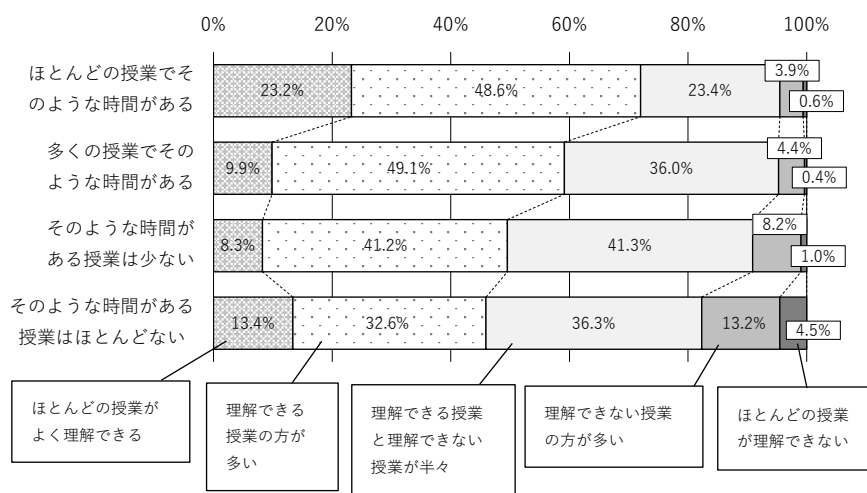


〔2年生〕



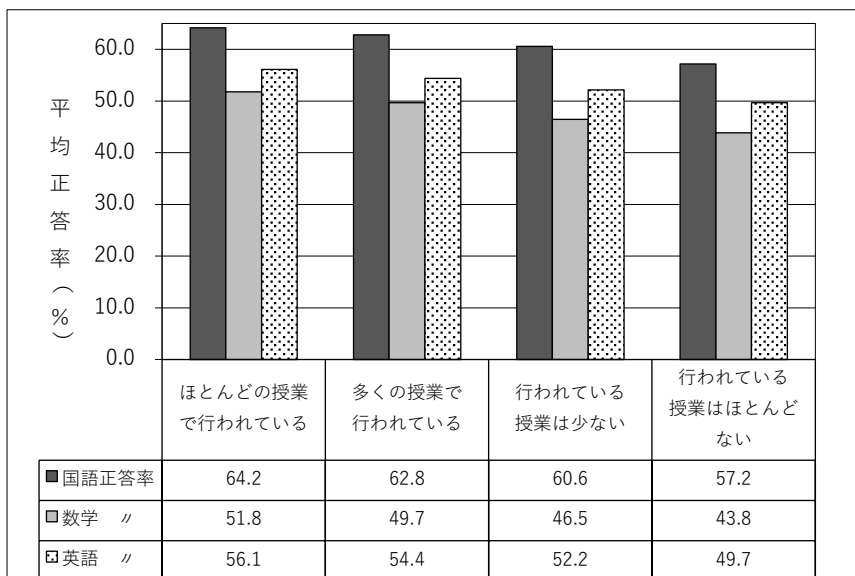
- 1, 2年生ともに、授業中に課題を見つけたり、解決したりする時間があると回答した生徒の割合は増加した。
- 1年生と2年生を比較すると、2年生の方が肯定的回答の割合が低い。また、1年生から2年生にあがると、やはり肯定的回答が減少している。

② 課題を見つけたり、解決したりする学習活動と授業理解度（2年生）【Q4】【Q8】



- 課題を見つけたり、解決したりする学習活動を行う時間を設定している授業が多いほど、授業理解度が高い傾向がある。

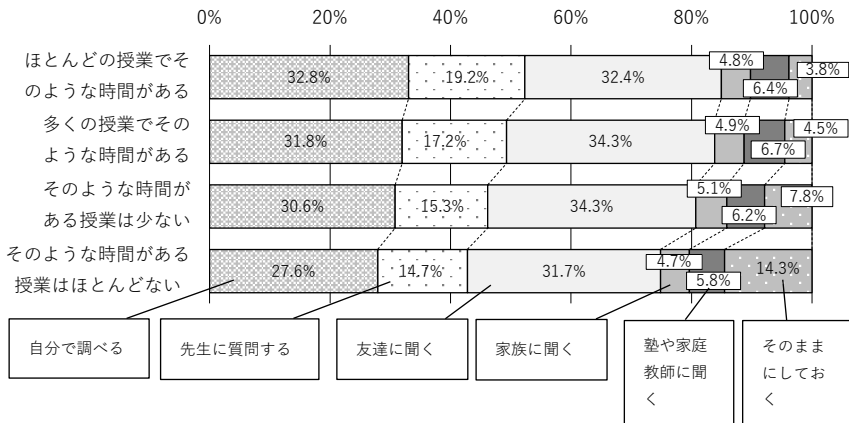
③ 課題を見つけたり、解決したりする学習活動と正答率



- 課題を見つけたり、解決したりする学習活動を行う時間を設定している授業が多いほど、正答率が高い傾向が見られる。
- 課題を見つけたり、解決したりする学習活動を行うことで、生徒の主体的な思考や試行錯誤が生まれ学習効果が高まっているものと考えられる。
- 探究の過程で得られる学びが、教科の学力の向上にも結び付いている可能性がある。

④ 課題を見つたり、解決したりする学習活動とわからないことがあるときの行動（2年生）

【Q5】 【Q8】

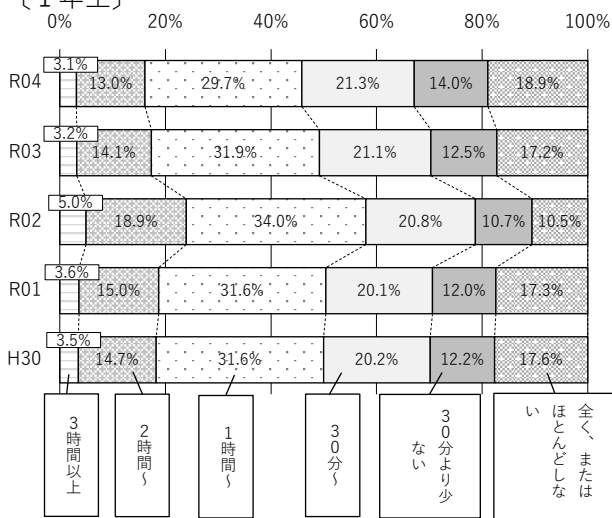


○「ほとんどの授業で課題を見つたり解決したりする時間がある」と回答したグループほど、授業でわからないことがあるときに、自分で調べたり、先生に聞いたりして解決しようとする傾向がある。「そのような時間がある授業はほとんどない」と回答したグループは、わからないことをそのままにしておく割合が高い。

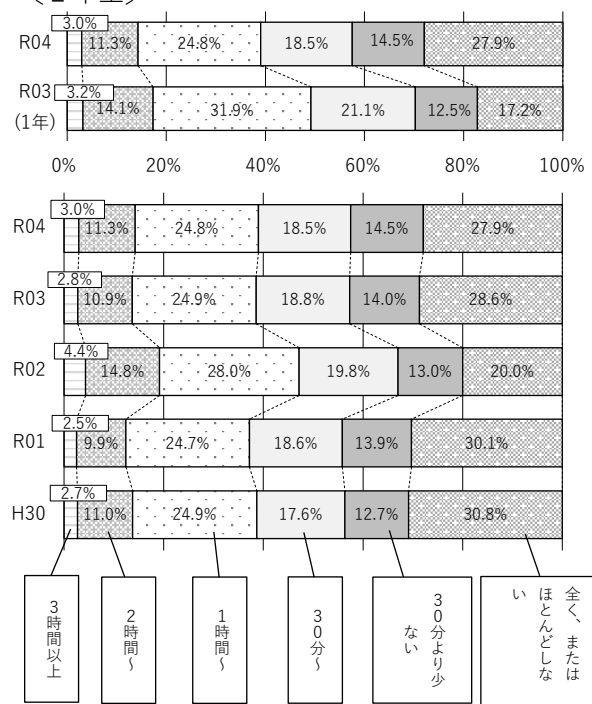
(6) 平日の家庭学習時間について

① 平日、学校の授業時間以外に1日当たりどのくらいの時間、勉強していますか。【Q14】

〔1年生〕

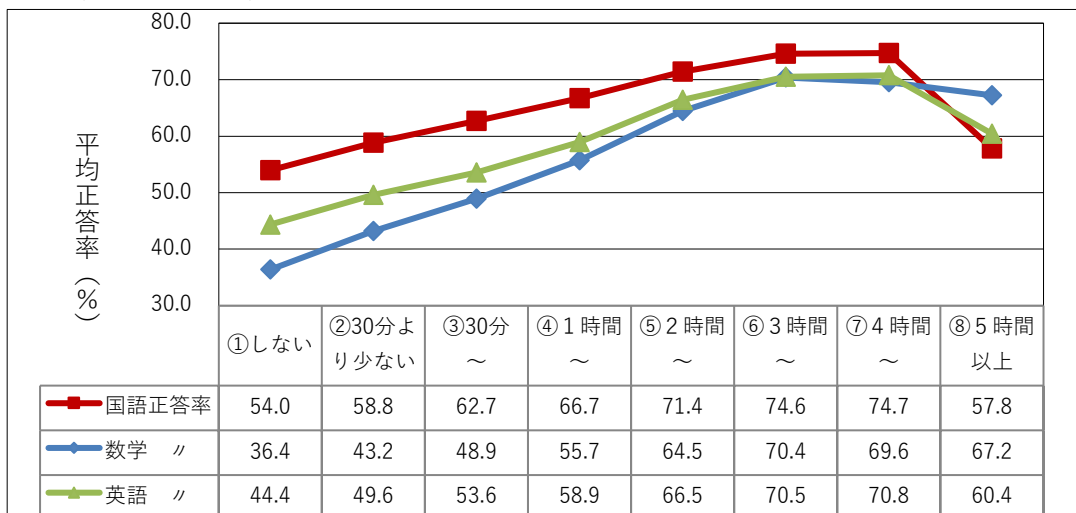


〔2年生〕



○ 長期的には、「全く・ほとんどしない」の回答割合は確実に減少している。
 ○ しかし、1時間以上学習する生徒は50%にも達しない。
 ○ 学習時間を1時間以上確保していると回答した生徒の割合は、1年生から2年生にあがると10ポイント近く減少。これは数年来同様の傾向で、休日はこの傾向が一層顕著。

② 家庭学習時間と正答率

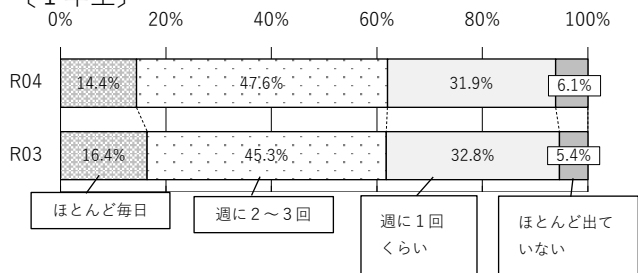


○ 学習習慣の定着は依然として課題である。平日の家庭学習を2～4時間程度確保している生徒は、学習内容を着実に身に付けていることがうかがえる。今後も、平日2時間以上の学習習慣の定着に工夫が必要である。

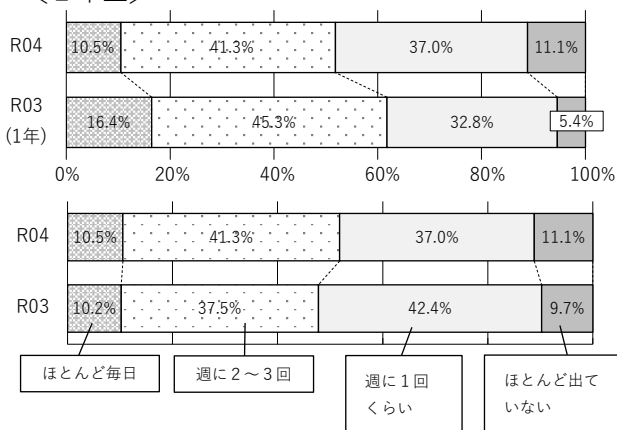
(7) 宿題・課題の頻度について

① 学校からどのくらいの割合で宿題・課題が出されていますか【Q11】

〔1年生〕



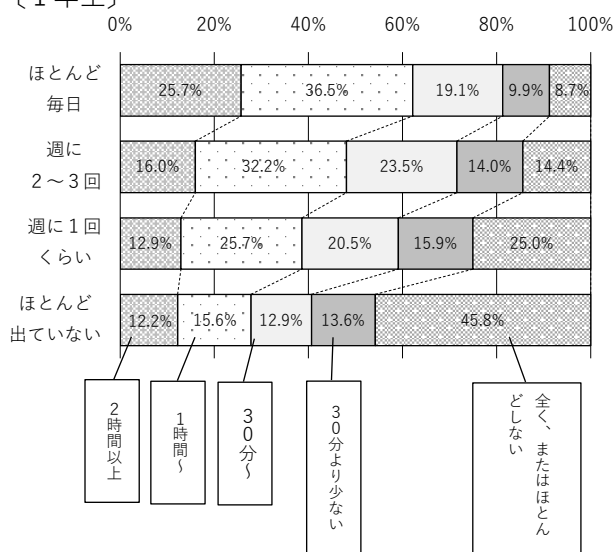
〔2年生〕



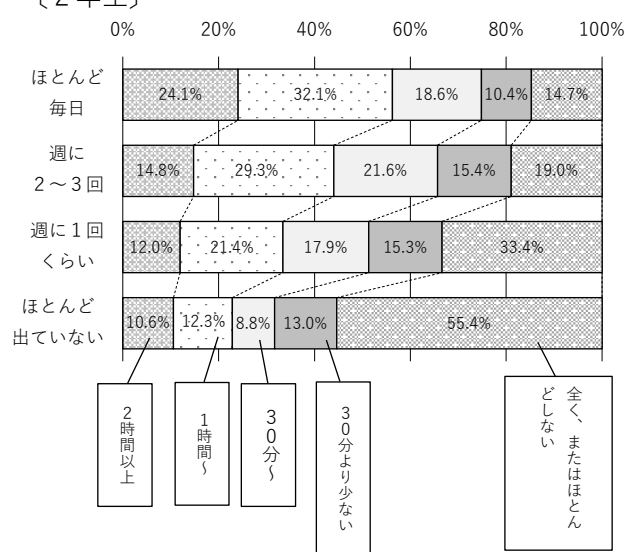
○ 1, 2年生ともに, 「ほとんど毎日」の割合は, この10年概ね減少傾向であるが, 「週に2~3回」の割合は着実に増加している。

② 宿題・課題が課される頻度と平日の家庭学習時間【Q11】【Q14】

〔1年生〕

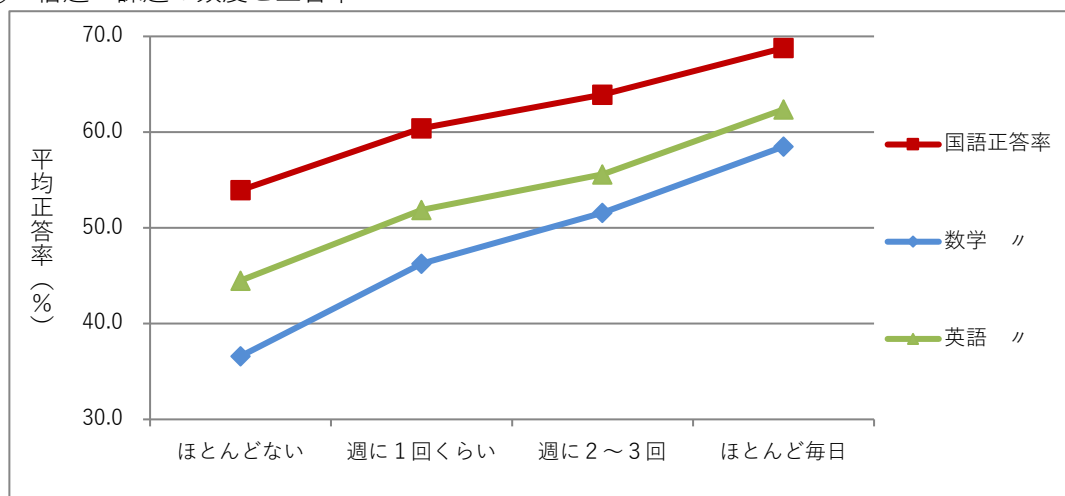


〔2年生〕



- 1, 2年生ともに, 宿題・課題が課される頻度が高いほど家庭学習時間が長い。
- 宿題・課題が「ほとんど出ていない」場合, 約5割の生徒が家庭学習を全く, またはほとんど行っていない。
- 生徒の状況を見ながら, 学習習慣定着への一歩として, 宿題・課題の効果的な活用を工夫したい。

③ 宿題・課題の頻度と正答率

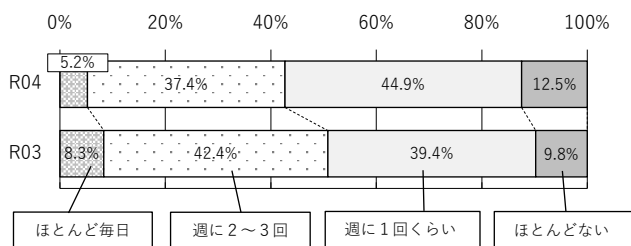


- 宿題・課題をほとんど毎日課している場合とほとんど課していない場合の各教科の正答率を比較すると, どの教科とも大きな開きが見られる。宿題・課題を適切に課することは, 望ましい学習習慣形成の端緒として, 一定の効果があると考えられる。

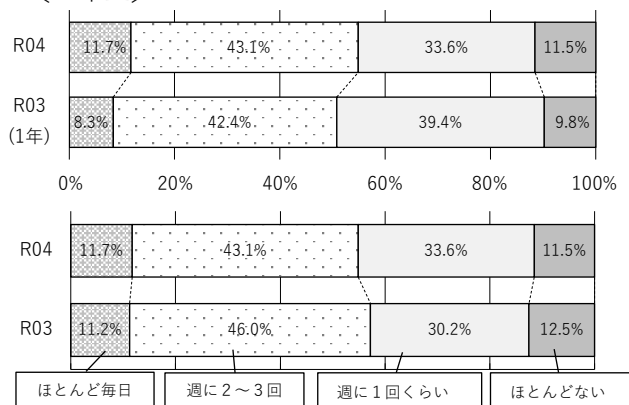
(8) テストの頻度について

① 学校ではどのくらいの割合でテスト（小テストや確認テストを含む）がありますか【Q12】

〔1年生〕



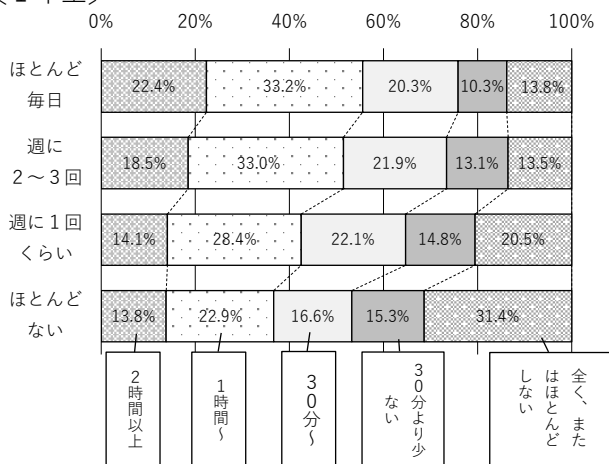
〔2年生〕



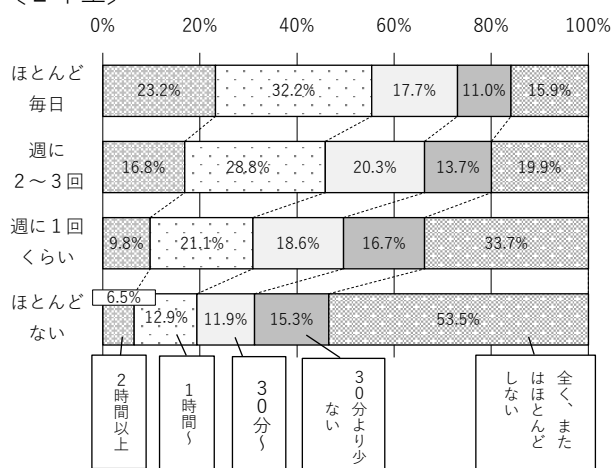
○ 「週に2~3回」以上と回答した生徒の割合が、1, 2年生ともに減少している。

② テストの頻度と平日の家庭学習時間【Q12】 【Q14】

〔1年生〕



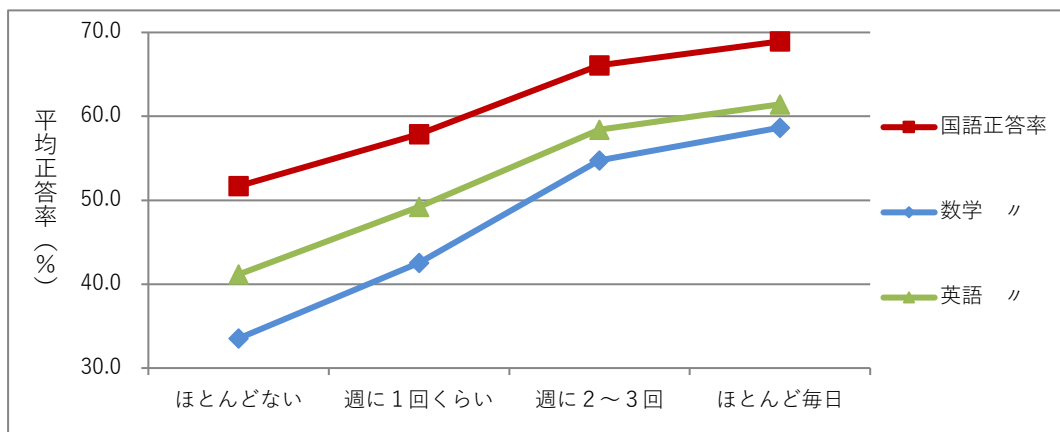
〔2年生〕



○ 1, 2年生ともに、テストの頻度が高いほど家庭学習時間が長い。テストが「ほとんどない」場合、30分以上の家庭学習時間を確保している生徒の割合は、1年生では5割程度だが、2年生では3割程度。

○ 1年生から2年生にかけて平日学習時間は大きく減少する状況が続いている。過去10年の推移をみると、宿題、テストとも、1年生から2年生にかけて実施状況が低下する傾向があり、家庭学習時間の減少に拍車をかけていることが考えられる。また、1年時の宿題やテストの経験が、学習習慣の定着にまで至らない状況もうかがえる。宿題同様、家庭学習習慣定着への一歩として、テストの活用を工夫したいところである。

③ テストの頻度と正答率



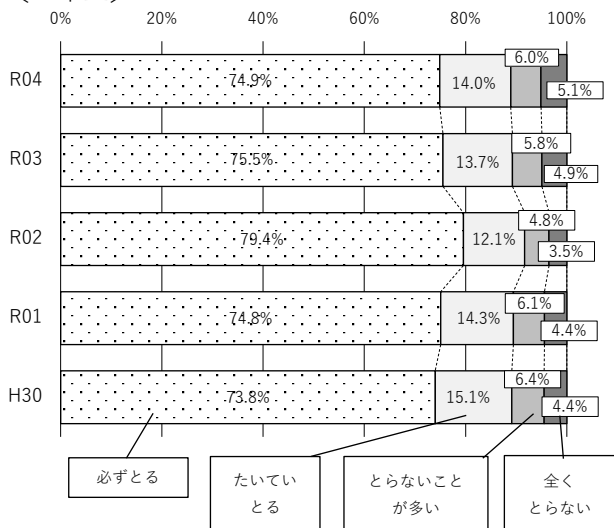
○ テストの頻度について「ほとんど毎日」「週に2~3回」と回答したグループと、「週に1回くらい」「ほとんどない」と回答したグループを比較すると、各教科の正答率に大きな開きが見られる。

○ テストは自己の学習の定着状況を振り返る機会にもなるため、主体的な学習姿勢を育成する上で有効と思われ、その成果が表れているとも考えられる。

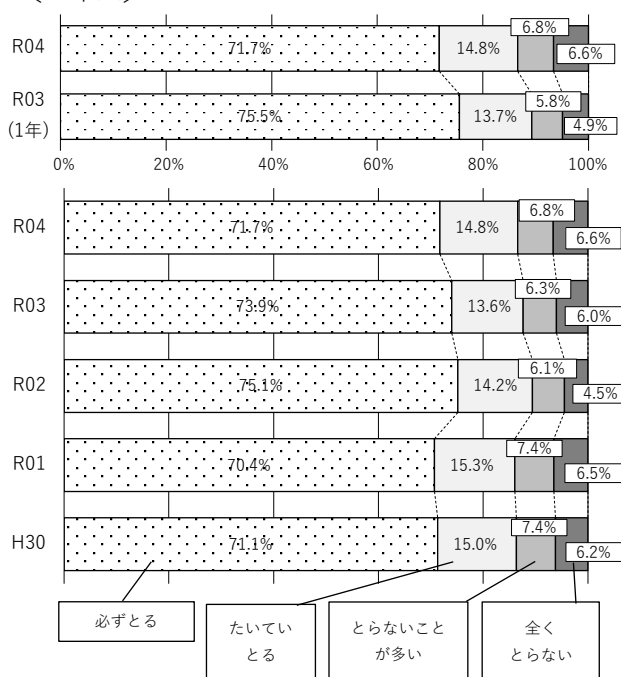
(9) 朝食摂取の習慣

① 学校に行く前に朝食をとりますか【Q20】

〔1年生〕

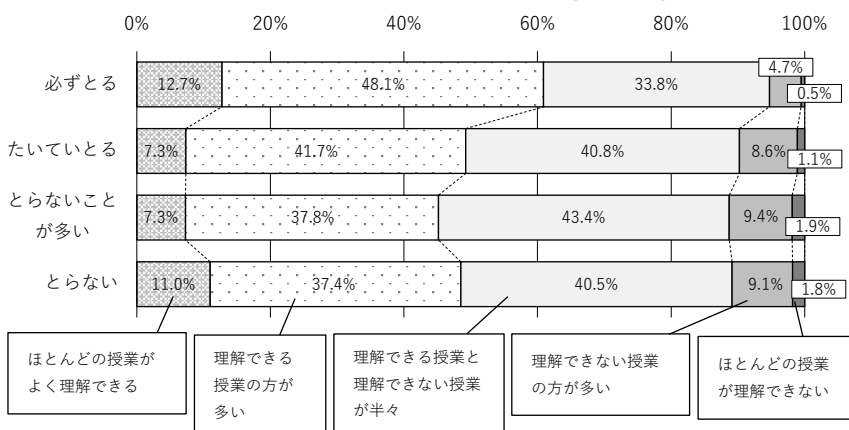


〔2年生〕



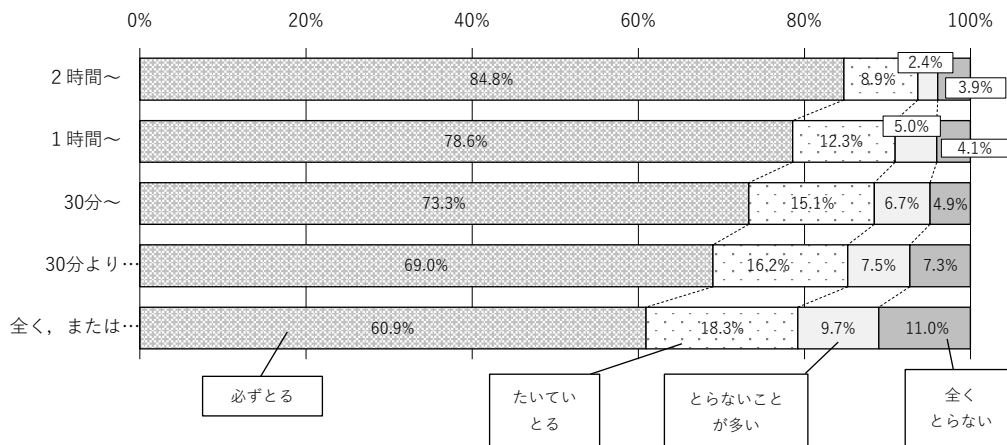
- 1, 2年生ともに、9割近くの生徒に朝食摂取の習慣が身に付いている。
- 「必ずとる」の割合は、1年生から2年生にかけて減少する傾向がある。

② 朝食摂取習慣と授業理解度 (2年生) 【Q4】 【Q20】



- 「必ずとる」と回答したグループは、約6割が授業理解度について肯定的に回答している。
- 朝食をとることで集中力が増し、授業理解度も高くなる可能性がある。

③ 平日の学習時間と朝食摂取習慣 (2年生) 【Q14】 【Q20】

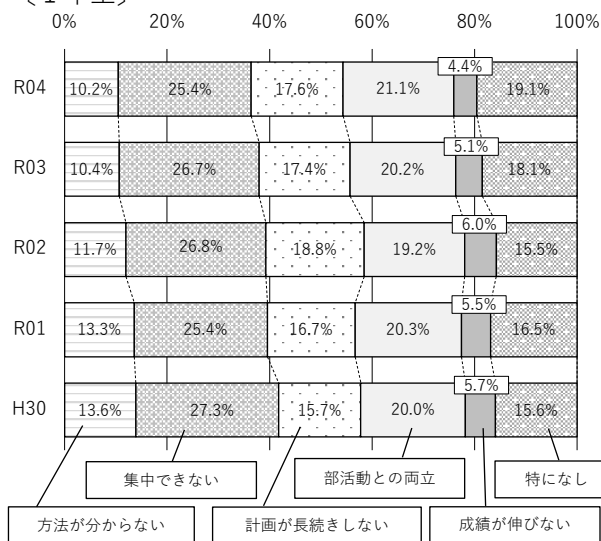


- 平日に2時間以上学習していると回答したグループは、約85%が朝食を「必ずとる」と回答しており、学習時間確保の基礎に、基本的な生活習慣が確立していることがうかがわれる。

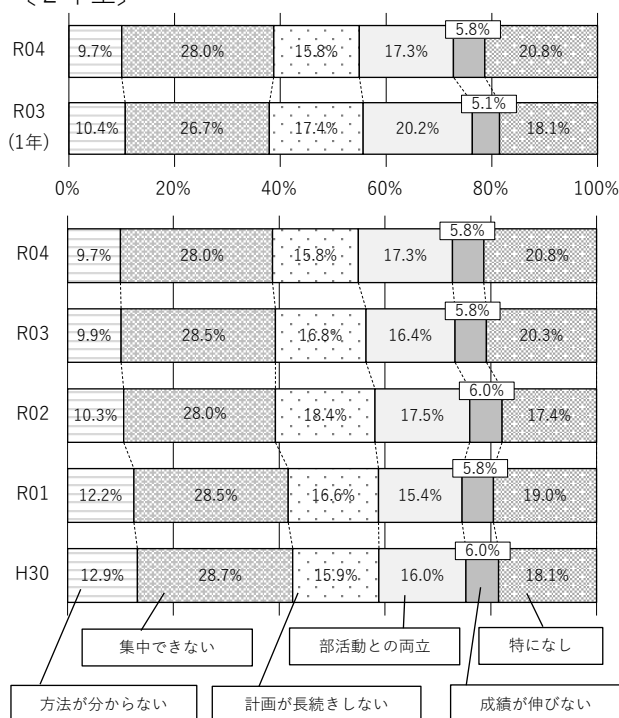
(10) 家庭学習をする上での悩みと平日の生活について

① 家庭学習をする上で悩んでいることはありますか【Q18】

〔1年生〕



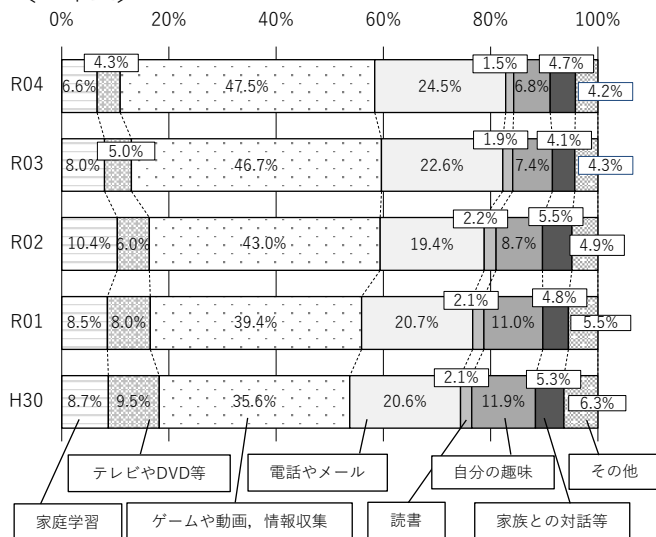
〔2年生〕



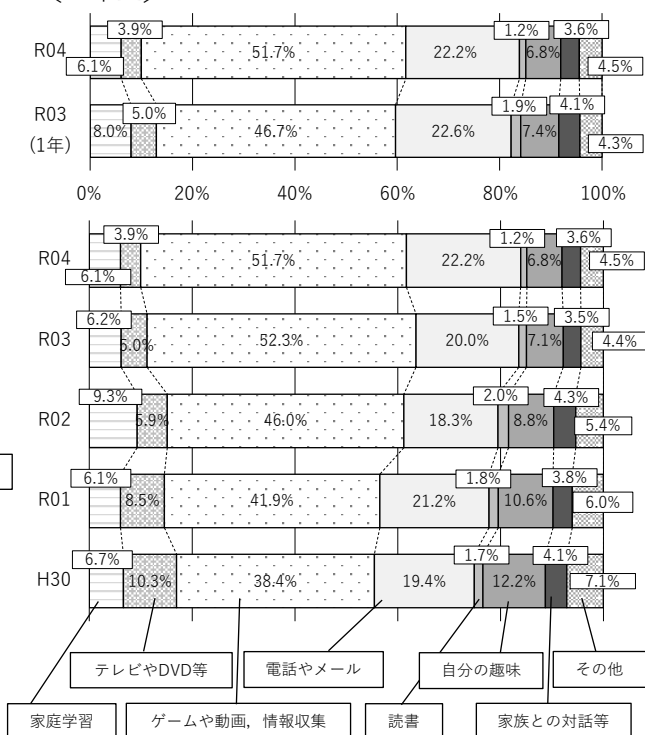
- 1, 2年生ともに, 「集中できない」と回答した生徒の割合が最も大きい。
- 1, 2年生ともに, 「方法が分からない」と回答した生徒の割合は継続的に減少。探究的な学び等による学び方の学習や, ガイダンス機能の充実を図る取組が, 各学校においてなされている成果が見て取れる。

② 平日に, 家の中で最も時間をかけて行っていることは何ですか【Q22】

〔1年生〕

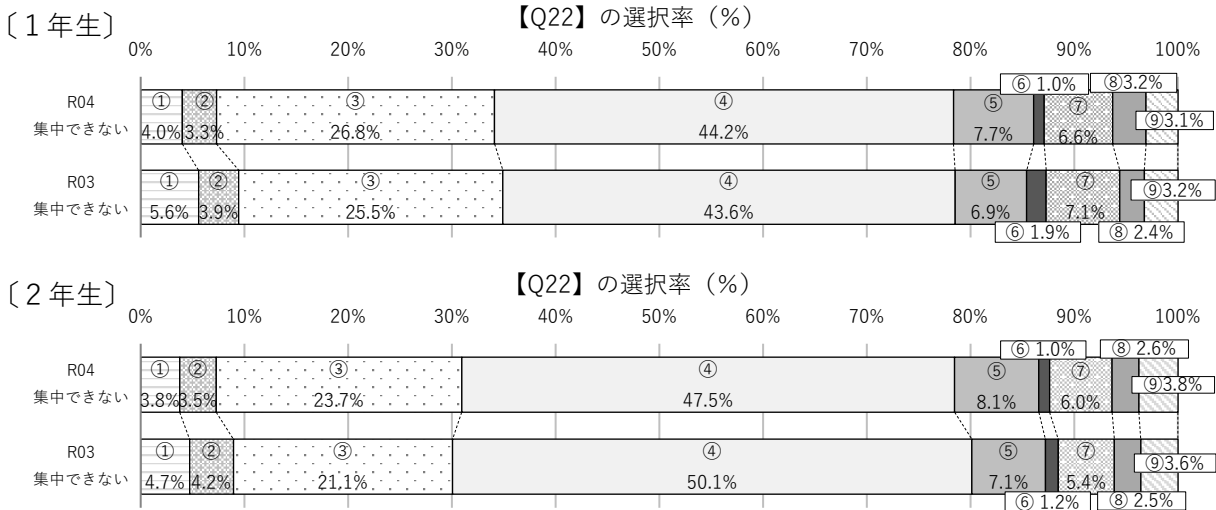


〔2年生〕



- 1, 2年生ともに, スマートフォンを使用すると思われる「ゲームや動画, 情報収集」, 「電話やメール」に時間を費やす生徒の割合が, 合わせて約7割に上る。

③ 家庭学習に「集中できない」と回答した生徒が、平日に時間をかけて行っていること【Q18】【Q22】



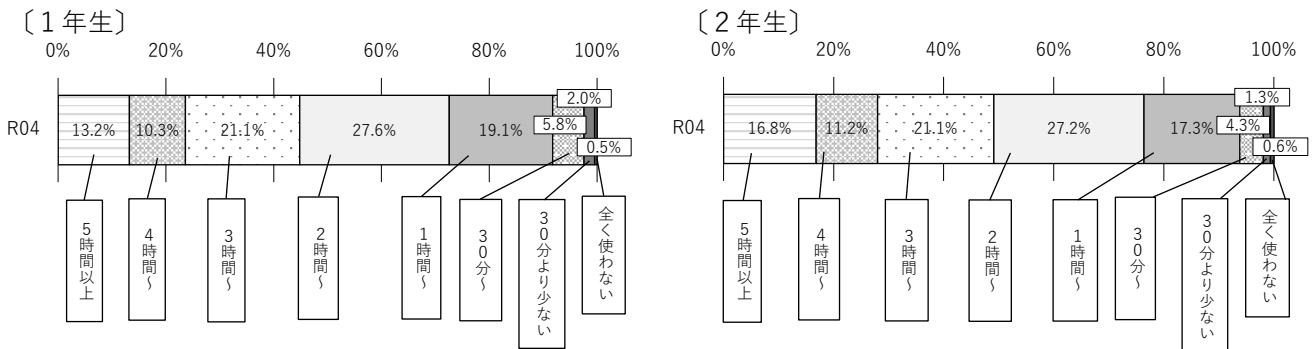
【Q22】平日に、家の中で最も時間をかけて行っていることは何ですか。

- ①家庭学習 ②テレビやDVD等 ③スマートフォンや携帯電話での通話やメール、SNS等
- ④スマートフォンや携帯電話でのゲームや動画、情報収集 ⑤スマートフォンや携帯電話以外でのゲームや動画、情報収集
- ⑥読書 ⑦趣味（①～⑥を除く） ⑧家族との会話や家事手伝い ⑨その他

○ 家庭学習に「集中できない」と回答した生徒が、平日に家の中で最も時間をかけて行っていることは「スマートフォンや携帯電話でのゲームや動画、情報収集」であり、「通話やメール、SNS等」もやや増加している。

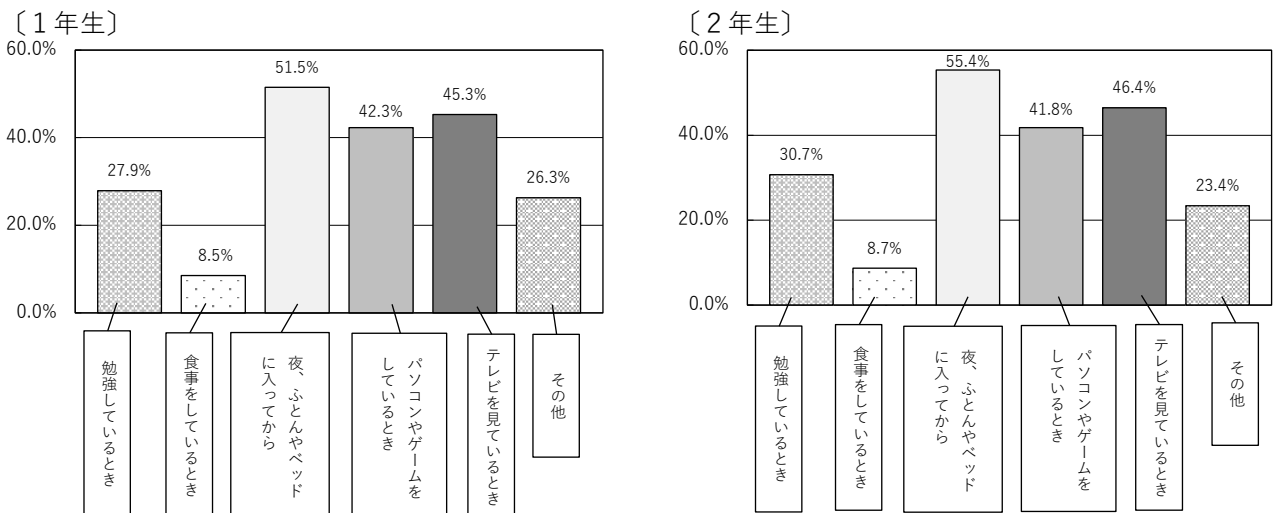
(11) スマートフォンや携帯電話の使用時間と使用する場面について

① 平日に、スマートフォンや携帯電話を勉強以外で使う時間はどのくらいですか【Q23】



○ 2年生では、スマートフォンや携帯電話を平日に3時間以上使用している生徒が約5割に上る。

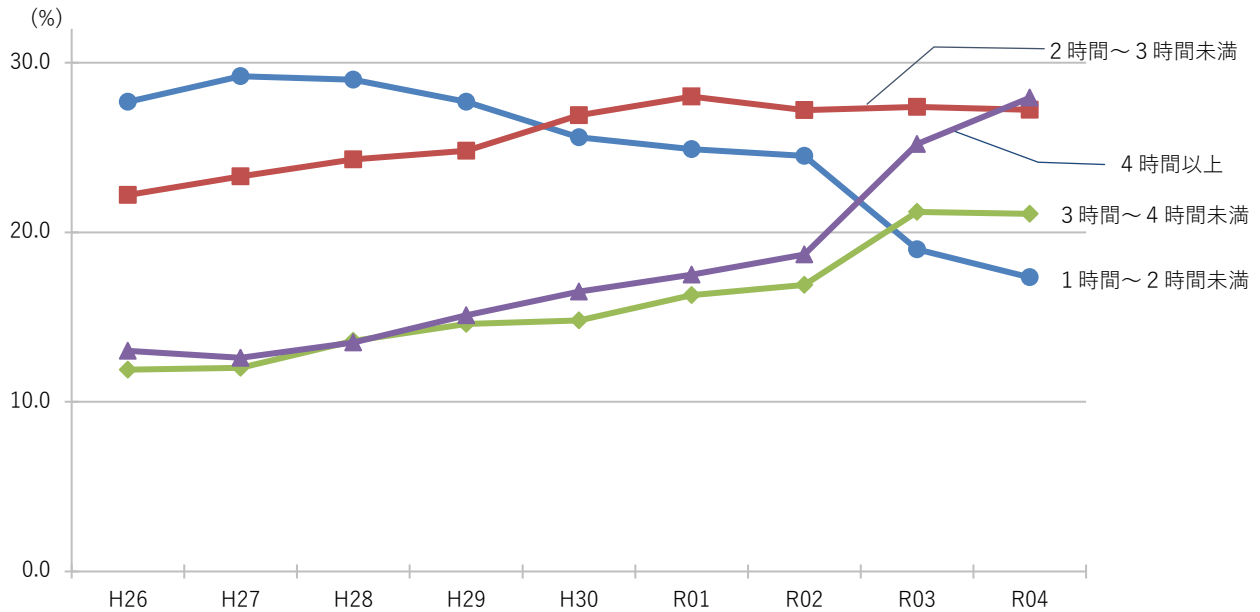
② 普段、次のような時に、スマートフォンや携帯電話でやりとりをすることがありますか【Q30】



○ 1, 2年生ともに、「夜、ふとんやベッドに入ってから」の割合が5割を超えている。約3割の生徒が「勉強をしているとき」もスマートフォン等でやりとりをすることがあると回答している。

③ 平日に、スマートフォンや携帯電話を勉強以外で使う時間はどのくらいですか（2年生）【Q23】

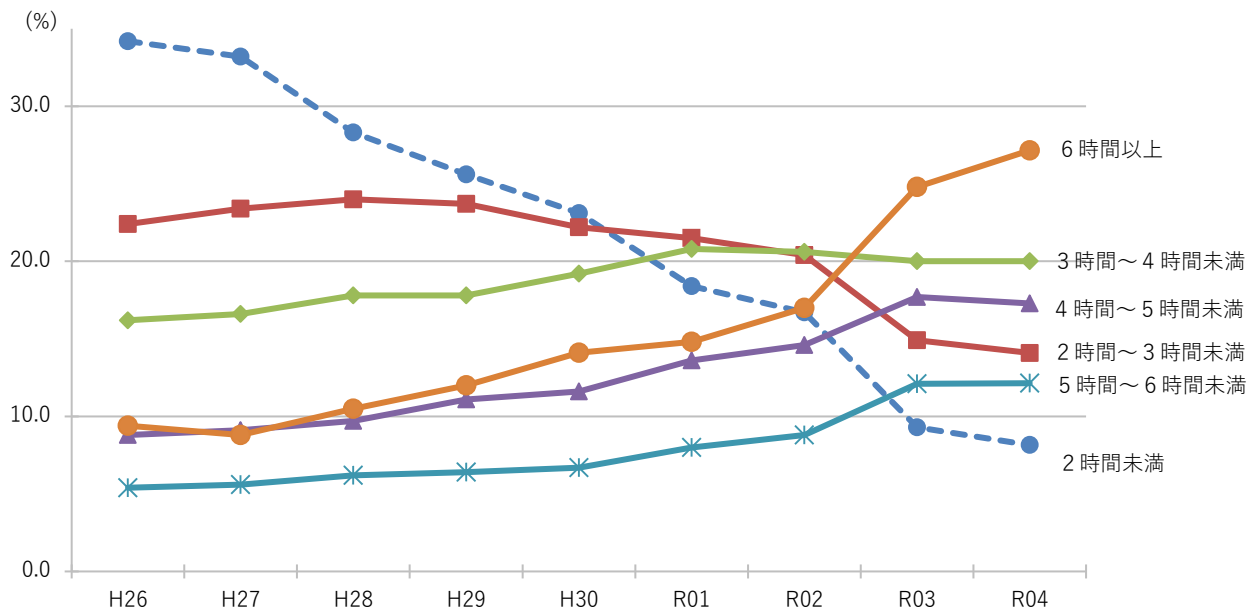
※本項目の統計開始年度からの推移



- スマートフォンの使用時間は長期的にみて増加の一途にある。特に、感染予防措置としての休校があったR2を境に、「1時間～2時間未満」が大きく減少し、「3時間～4時間未満」,「4時間以上」が急増した。
- 特にR4段階では、「2時間～3時間未満」,「3時間～4時間未満」すら、減少傾向に入りつつあることに注意したい。

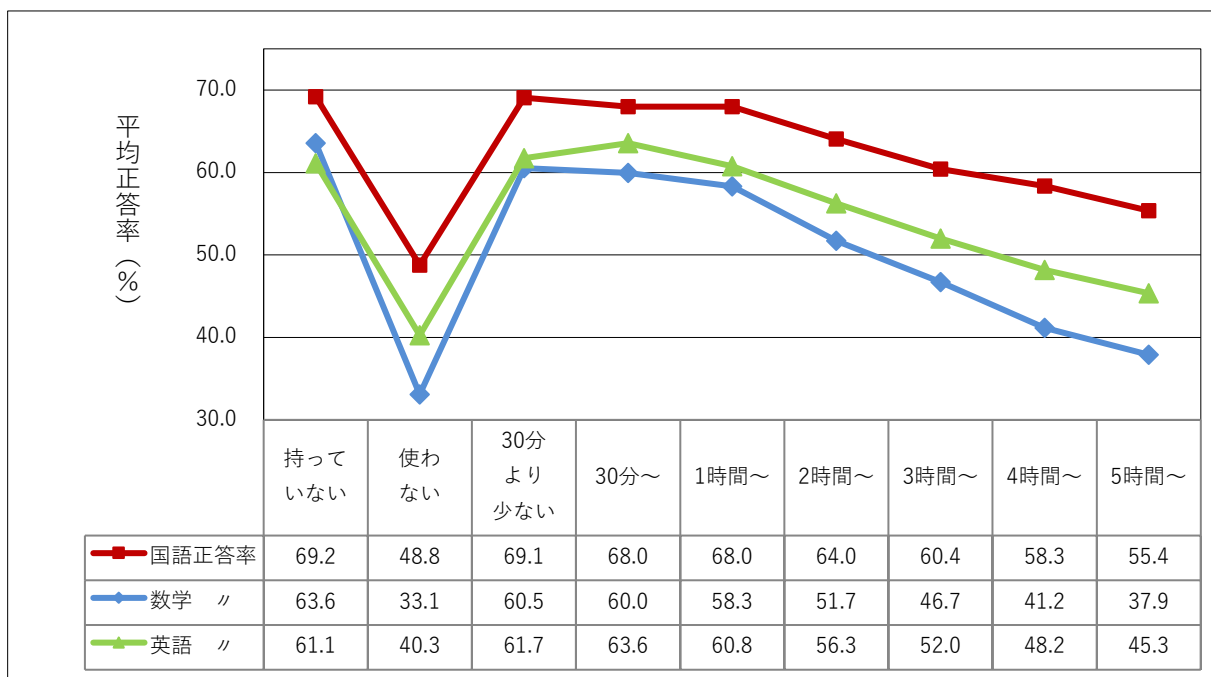
④ 休日に、スマートフォンや携帯電話を勉強以外で使う時間はどのくらいですか（2年生）【Q27】

※本項目の統計開始年度からの推移



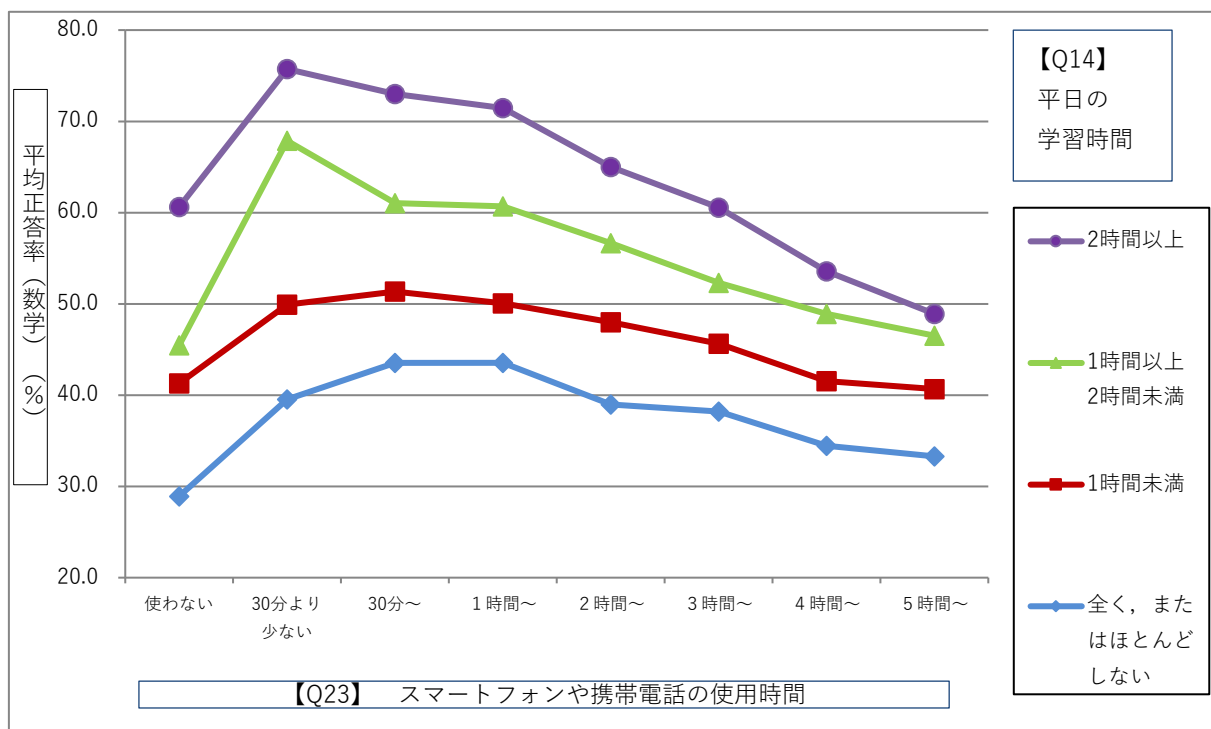
- 休日にも同様に、R2を境に、長時間スマートフォンを使用している生徒が急増している。特に、「5時間～6時間未満」,「6時間以上」の増加の割合は著しく、R4に至っては、「5時間～6時間未満」すら頭打ちになっていることに注意が必要である。一方で、「2時間未満」,「2時間～3時間未満」が大きく減少している。
- R2の休校期間に自宅で過ごす時間が増加し、スマートフォンの使用時間が増えたものと考えられるが、R4に至るまでその傾向は続いており、休校の影響は一時的なものではなく、極めて長時間のスマートフォン使用が習慣として定着しつつあるものと考えられ、十分な注意を要する。

⑤ 使用時間と正答率



○ スマートフォン等を使用していると回答した中では、「30分より少ない」、「30分～」、「1時間～」と回答したグループの正答率が高い。「2時間～」を超えると、正答率は大きく低下し、使用時間が長いグループほど正答率が低いことが見て取れる。

⑥ 学習時間とスマートフォンや携帯電話の使用時間、数学の正答率



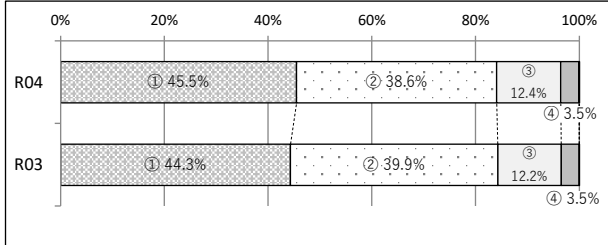
○ スマートフォン等の使用時間が同じならば、学習時間が長いほど正答率が高い。
 ○ 同じ学習時間の場合、スマートフォンや携帯電話の使用時間が長くなるほど、正答率は下降する傾向が見られる。使用時間が学習効果を打ち消す負の影響を与えていると考えられる。
 ○ この傾向は、国語、英語の正答率をみた場合においても同様である。

2 心身の健康, 志教育等

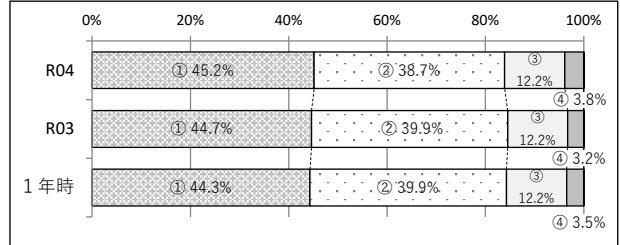
(1) 心と体の安定について

① 毎日同じくらいの時刻に寝ている(生活習慣について)【Q33】

〔1年生〕



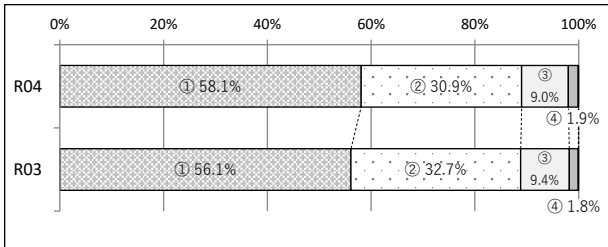
〔2年生〕



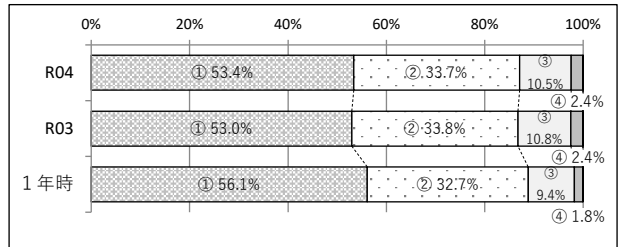
○ 回答の内訳に大きな変化はないが、1, 2年生ともに、「①当てはまる」の割合がやや増加。

② 体調はよい(生活習慣について)【Q34】

〔1年生〕



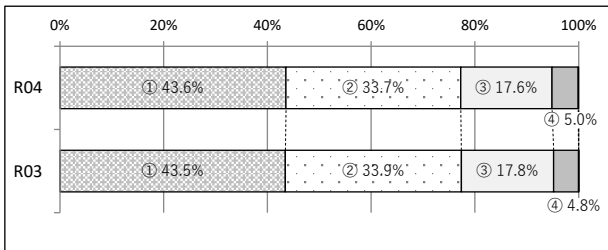
〔2年生〕



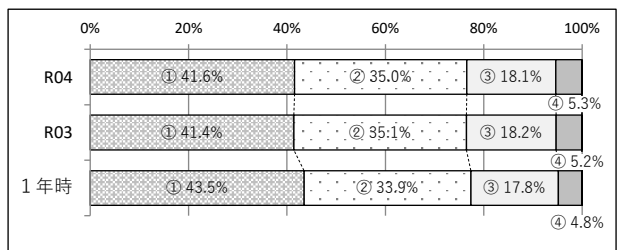
○ 1, 2年生ともに、「①当てはまる」の割合が増加。2年生の1年時との比較では、「①当てはまる」の割合が減少。

③ 熟睡ができています(睡眠について)【Q35】

〔1年生〕



〔2年生〕

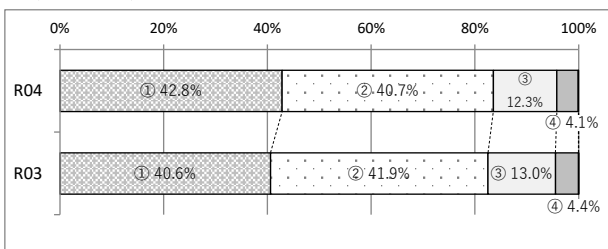


○ 2年生の1年時との比較では、肯定的な回答の割合がやや減少。

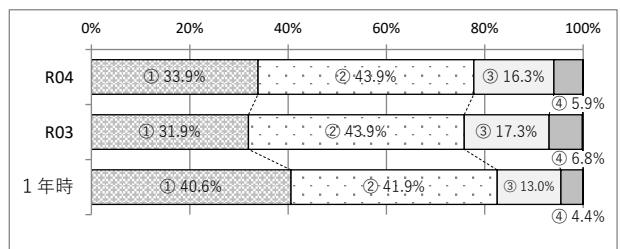
(2) 学校生活について

① 学校生活に充実感や満足感を感じている(学校生活について)【Q36】

〔1年生〕

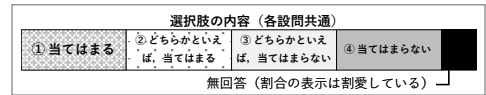


〔2年生〕



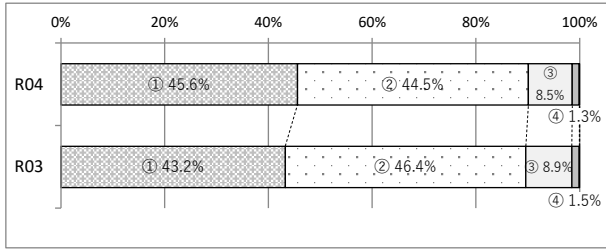
○ 2年生の1年時との比較では、「①当てはまる」の割合が大きく減少している。2年生で1年時よりも肯定的な回答が減少するのは、長期的に続いている傾向であり、注意を要する。

(3) 「志教育」に係る意識について 1

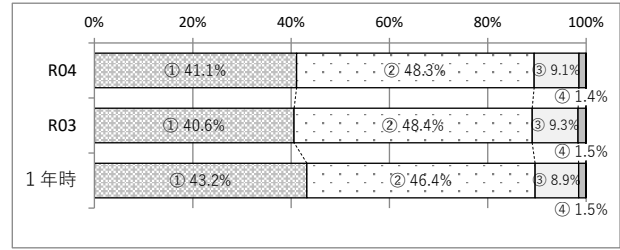


① 人が困っている時は、進んで助けるようにしている〈かかわる〉(他者理解について)【Q39】

〔1年生〕



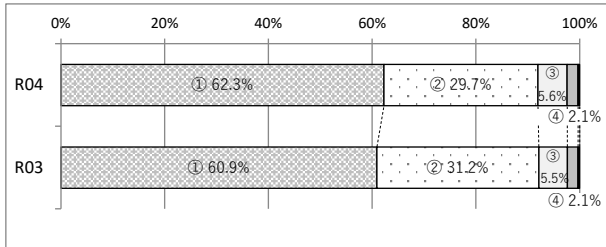
〔2年生〕



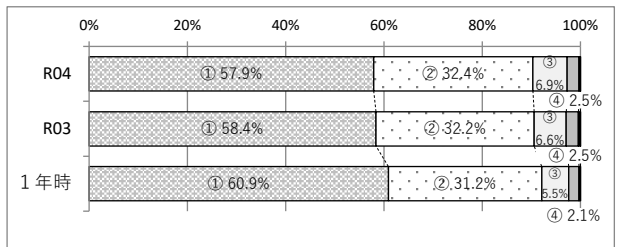
○ 1, 2年生ともに、肯定的な回答が約9割を占める。長期的にみると「当てはまる」が目立って増加。

② 人の役に立つ人間になりたいと思っている〈もとめる〉(志について)【Q46】

〔1年生〕



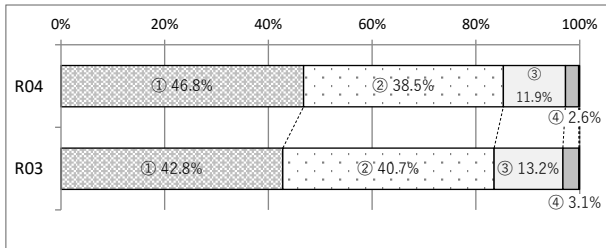
〔2年生〕



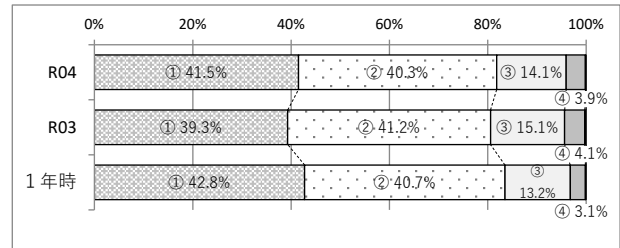
○ 1, 2年生ともに、9割を超える生徒が肯定的な回答をしている。2年生の1年時との比較では、「①当てはまる」の割合が減少。

③ クラスや学校の行事等に積極的に取り組んでいる〈はたす〉(学校行事について)【Q58】

〔1年生〕



〔2年生〕

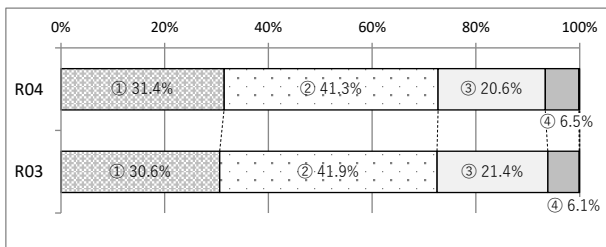


○ 1, 2年生ともに、肯定的な回答の割合が増加。2年生の1年時との比較では、肯定的な回答の割合が減少。

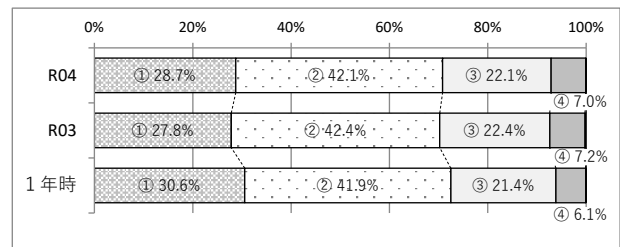
(4) 「志教育」に係る意識について 2

① 自分の個性や適性が分かっている〈もとめる〉(自己理解について)【Q49】

〔1年生〕



〔2年生〕

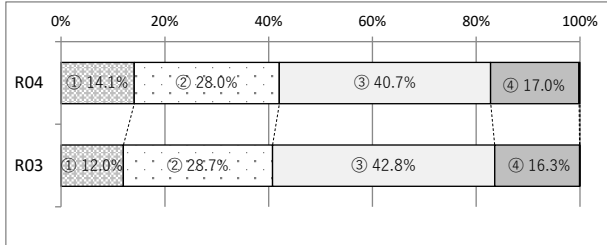


○ 回答の内訳に大きな変化はない。1, 2年生ともに、約7割の生徒が肯定的な回答をしている。

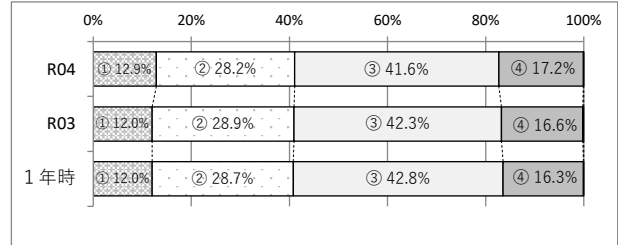
選択肢の内容（各設問共通）			
① 当てはまる	② どちらかといえば、当てはまる	③ どちらかといえば、当てはまらない	④ 当てはまらない
無回答（割合の表示は割愛している）			

② 自分の個性や適性が、学校や社会でどのように生かせるかをイメージできている〈もとめる・はたす〉(有用感について)【Q50】

〔1年生〕



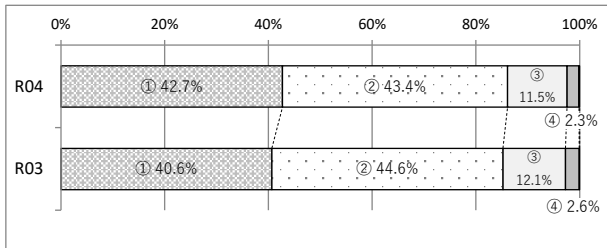
〔2年生〕



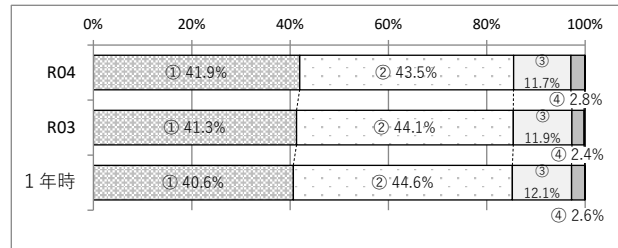
○ 1, 2年生ともに、肯定的な回答は4割程度。Q49やQ55と比較すると、肯定的な回答の割合に大きな差がある。自分の個性・適性や、働くことの意義は理解できている、それを社会においてどのように生かせるかのイメージはできていないことが見て取れる。

③ 働くことの意義を理解している〈はたす・もとめる〉(勤労観・職業観について)【Q55】

〔1年生〕



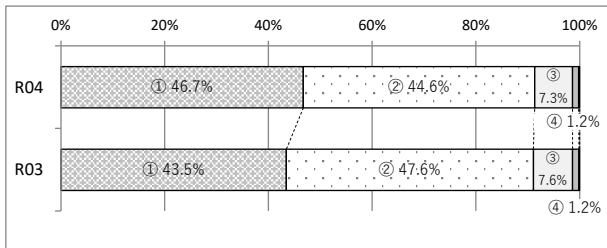
〔2年生〕



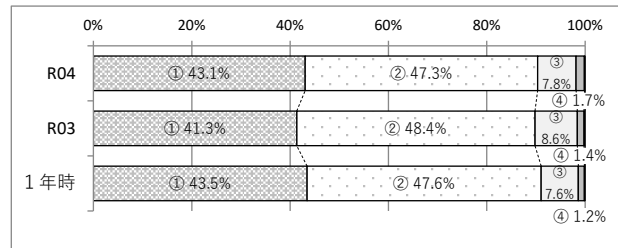
○ 1, 2年生ともに、「①当てはまる」の割合が増加。

④ 自分の役割に責任を持って行動している〈はたす・もとめる〉(有用感について)【Q57】

〔1年生〕



〔2年生〕



○ 1, 2年生ともに、肯定的な回答が9割を超えている。昨年度比では「①当てはまる」の割合がさらに増加。

IV 学力向上に向けた今後の取組

常識さえも急激に変化していくこれからの社会の中で、自ら課題を見つけ、学び、考え、判断し行動できる生徒を育てるために、次の3つの資質・能力の育成を目指す。

- ① 学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性」
- ② 実際の社会や生活で生きて働く「知識及び技能」
- ③ 未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力」

そのために、以下の取組を行う。

○ 「主体的・対話的で深い学び」と「目標や振り返りを意識した授業」の実践

「主体的・対話的で深い学び」の視点に立ち、不断の授業改善を図る。また、「目標や振り返りを意識した授業」を実践することで、単元のゴールを明確にするとともに、学んだことを次の学びや生活に生かす力を育むことで、生徒が粘り強く、自己調整しながら学習に取り組む姿勢を養う。

○ 「探究的な学び」の充実

総合的な探究の時間のみならず、普段の授業から「探究的な学び」の充実を図る。生徒が良質な問いをつくらることができるような問いの焦点を示し、ウェビングやチャート等の考えるための技法を自在に活用しながら問いと向き合い、「探究のスパイラル」を経ることで、思考を深めることを目指す。

○ 自己の生き方を考え設計する力の育成、家庭と学校との連携

スマートフォン等の長時間使用、ゲームやインターネット等への依存が学習時間や睡眠時間の減少など生徒の生活に負の影響を及ぼしている。日常生活に関する各種討論会の実施など、他者の意見に触れ、自分の考えを協働的に広げ、課題について多面的・多角的に考える機会を設けることで、自己実現を図ろうとする態度を養う。同時に、生活習慣の改善については、家庭との連携を大切にす。

○ 「志教育」の充実

自身の特性や長所を、社会や集団の中でどのように生かせるか把握できていない生徒が多い。社会人講師を招いての講演会や、地域と連携した活動等をとおして社会性や勤労観を養い、集団や社会の中で果たすべき自己の役割を考えさせながら、将来の社会人としてのよりよい生き方を主体的に求めさせていく。

学 力 向 上

主体的・対話的で深い学び

充実した探究活動

学習意欲の喚起

< 各学校 >

- 学力・学習状況等の把握、生徒との面談
- 指導力・授業力向上研修
- 指導の手引き、事例集等の活用
- 「志教育」の推進
- 家庭、県教委や関係機関との連携

< 家庭 >

- 生活習慣の改善を促す
 - 状況の把握と情報共有
 - 家庭内での話合い
 - 家庭学習時間の確保
- 学校、県教委との連携

< 県教育委員会 >

- | | | |
|------------------|--------------|--------------|
| ○学力・学習状況等調査 | ○高大連携事業 | ○クラフトマン21事業 |
| ○授業力向上支援 | ○魅力ある高校づくり支援 | ○進路達成支援事業等 |
| ○学びの基礎づくり支援 | ○特色ある学校づくり事業 | ○高校生マナーアップ運動 |
| ○地域進学重点校ネットワーク支援 | ○SSH,IB等 | ○高校生フォーラムの開催 |
| ○みやぎ高校生異文化交流 | ○理系人材育成支援他 | ○ネット被害未然防止対策 |

V 学習状況に関する調査 設問ごとの結果

※ 表中の数値は選択割合(%)
(無回答・マークミス等の割合は示していない)

Q1 高校卒業後、進みたいと考えている進路のうち、現在、最も強く希望しているものはどれですか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	21.0	22.1	43.6	42.7	46.6	44.1	26.0	23.9	22.8	22.5	36.9	35.5	① 4年制国公立大学
R03	23.3	19.0	43.1	40.1	46.7	44.2	25.3	25.4	22.7	20.2	37.0	34.2	
R04	8.5	12.3	13.9	20.7	16.5	21.1	8.0	13.5	9.9	15.1	12.8	18.2	② 4年制私立大学
R03	7.9	13.4	14.9	20.4	15.4	21.6	8.0	11.7	10.1	13.6	12.7	17.7	
R04	2.1	2.0	2.4	2.6	1.8	2.8	2.8	3.4	3.3	3.8	2.3	2.9	③ 短期大学
R03	1.7	2.9	2.1	2.7	2.1	2.6	2.4	3.7	2.8	3.4	2.2	3.0	
R04	16.7	19.0	12.6	12.8	13.2	13.6	18.0	19.2	21.5	20.7	15.3	15.8	④ 専修学校(専門学校等)・各種学校
R03	14.9	19.8	12.2	13.1	13.7	13.8	18.8	18.9	21.5	22.5	15.3	16.3	
R04	18.4	27.2	8.6	13.2	5.9	8.7	16.5	22.0	11.8	16.8	10.3	14.8	⑤ 民間就職
R03	19.8	22.8	10.2	12.9	6.3	9.4	15.3	22.0	12.2	17.7	10.7	14.8	
R04	5.6	5.0	2.8	2.0	2.0	2.5	5.4	5.7	4.9	5.6	3.5	3.5	⑥ 公務員就職
R03	5.2	5.0	2.3	2.7	2.9	2.3	6.8	7.3	6.1	6.2	4.0	4.1	
R04	0.6	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.3	0.2	0.4	0.4	0.2	0.1	⑦ 家業
R03	0.2	0.6	0.1	0.1	0.0	0.0	0.4	0.3	0.4	0.4	0.2	0.2	
R04	25.7	10.8	14.5	5.2	12.8	6.2	21.6	11.0	22.8	13.3	17.2	8.1	⑧ 未定
R03	24.8	12.1	13.9	7.3	11.9	5.3	21.4	9.6	21.5	14.1	16.4	8.4	
R04	1.3	1.4	1.4	0.7	0.9	1.0	1.5	1.0	2.6	1.7	1.4	1.1	⑨ その他
R03	2.2	4.4	1.2	0.8	1.0	0.8	1.4	1.0	2.6	2.0	1.4	1.3	

Q2 自分の進路希望の達成について、どのように考えていますか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	49.7	60.4	63.9	70.6	60.7	69.8	55.2	64.2	53.9	60.1	58.7	66.9	① 卒業までに達成しようと思っている
R03	53.5	58.3	61.6	69.6	61.4	70.0	54.1	63.2	53.7	59.5	58.5	66.2	
R04	12.7	10.3	8.2	6.7	9.4	6.8	13.0	9.2	14.6	11.2	10.7	8.1	② 達成するまで、卒業後1、2年かかって もかまわないと思っている
R03	11.7	10.1	9.5	7.3	9.5	8.1	12.7	10.0	14.9	10.6	10.9	8.8	
R04	20.2	14.9	16.6	12.7	17.9	13.1	17.5	12.8	17.9	15.9	17.7	13.5	③ 達成が困難な場合、卒業までに他の進路 に変えてもいいと思っている
R03	19.0	16.1	17.5	12.9	17.8	13.3	19.2	14.9	18.2	16.3	18.1	14.2	
R04	10.6	9.0	7.6	7.5	8.5	7.4	8.7	9.5	9.8	8.7	8.7	8.1	④ 何とかなるだろうと思っている
R03	9.2	11.0	8.1	6.8	8.0	6.6	8.9	8.3	7.8	9.9	8.2	7.8	
R04	6.8	5.3	3.6	2.5	3.4	3.0	5.6	4.0	3.8	4.1	4.2	3.4	⑤ あまり考えないようにしている
R03	6.6	4.4	3.3	3.2	3.2	1.9	5.2	3.5	5.3	3.6	4.1	3.0	

Q3 普段どんな気持ちで勉強していますか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	9.9	7.8	11.3	8.3	11.6	8.3	12.7	9.8	8.7	7.5	11.2	8.4	① 分からないことでも自分の力で答えを見 つけられるようになりたい
R03	10.1	8.4	10.8	9.7	10.9	9.1	11.7	8.9	10.6	8.1	10.9	9.0	
R04	11.5	9.8	10.7	8.1	10.9	8.2	12.5	9.3	12.6	8.9	11.4	8.6	② 多くのことを知り、社会に出て役立つ 力を身に付けたい
R03	9.2	12.1	11.3	8.6	11.3	10.3	11.8	11.5	12.4	9.7	11.3	10.2	
R04	12.8	12.2	17.8	20.2	16.5	19.8	11.1	13.2	14.0	14.5	15.2	17.4	③ 入学試験や就職試験に備えたい
R03	12.2	13.1	17.4	18.4	16.1	19.0	14.1	15.2	14.9	13.3	15.6	16.8	
R04	2.3	2.1	2.3	1.6	2.5	2.2	2.2	1.9	3.1	2.5	2.5	2.0	④ 親や先生にほめられたい
R03	2.3	2.5	2.0	1.4	2.1	1.9	1.4	1.2	1.8	2.4	2.0	1.8	
R04	38.4	38.5	37.7	38.1	36.6	38.5	40.4	40.9	38.7	39.1	38.0	38.9	⑤ 成績を上げたい
R03	43.0	35.2	38.9	38.6	39.9	39.1	40.2	38.9	38.8	40.0	39.9	38.7	
R04	3.8	3.3	2.7	2.8	2.9	3.0	2.8	2.7	2.7	2.6	2.9	2.9	⑥ 先生や家族に言われているから勉強して いる
R03	3.6	2.9	2.5	2.4	2.5	2.6	2.2	2.6	3.5	2.7	2.7	2.6	
R04	20.0	24.2	15.8	18.9	16.7	17.6	16.4	20.7	18.7	23.1	17.0	19.8	⑦ 特に考えていない
R03	18.8	24.5	15.2	18.9	15.3	16.8	16.8	20.4	16.0	22.0	15.9	19.4	
R04	1.2	1.9	1.6	1.9	2.3	2.2	1.9	1.4	1.5	1.7	1.8	1.9	⑧ その他
R03	0.8	1.3	1.8	1.9	1.7	1.3	1.8	1.2	2.0	1.7	1.7	1.5	

Q4 授業の内容がどの程度理解できますか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	11.4	11.5	12.9	12.2	11.5	11.9	10.5	9.9	12.0	10.4	11.8	11.4	① ほとんどの授業がよく理解できる
R03	11.8	9.0	13.6	11.1	11.8	11.5	9.4	8.4	12.3	8.3	11.9	10.2	
R04	46.8	42.3	51.3	45.8	51.2	47.8	48.9	43.7	50.3	45.0	50.3	45.8	② 理解できる授業の方が多い
R03	47.7	43.9	51.2	45.9	50.1	47.6	47.1	45.6	47.9	43.0	49.4	45.8	
R04	36.0	38.6	30.9	35.0	32.5	33.9	35.5	39.1	32.5	37.4	32.9	35.9	③ 理解できる授業と理解できない授業が半 分くらいずつある
R03	35.8	40.4	30.9	36.3	33.1	34.5	38.0	40.2	34.1	40.6	33.7	37.3	
R04	5.3	6.2	4.2	6.1	3.8	5.7	4.5	6.1	4.7	5.8	4.3	5.9	④ 理解できない授業の方が多い
R03	4.5	5.5	3.6	5.6	4.6	5.6	4.9	4.9	5.2	6.6	4.5	5.6	
R04	0.4	1.1	0.5	0.6	0.8	0.6	0.4	0.9	0.4	1.3	0.5	0.8	⑤ ほとんどの授業が理解できない
R03	0.2	1.2	0.5	0.9	0.3	0.7	0.7	0.9	0.5	1.3	0.4	0.9	

Q5 授業でわからないことがあったら、どうすることが多いですか。（該当するものをすべて選んでください。）

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	60.7	56.8	71.9	72.2	73.1	71.4	68.5	62.9	68.2	62.5	70.2	67.7	ア 自分で調べる
R03	62.7	59.1	73.0	70.5	70.5	70.1	68.0	60.8	67.3	61.9	69.6	66.4	
R04	37.9	40.1	35.0	32.8	36.2	34.9	37.9	38.7	39.8	41.0	36.8	36.3	イ 学校の先生に質問する
R03	40.2	41.0	35.9	33.7	36.8	34.6	38.5	43.4	42.3	39.2	37.9	37.2	
R04	74.8	70.5	72.2	73.3	75.1	73.9	75.5	72.9	75.0	72.5	74.4	73.1	ウ 友達に聞く
R03	72.1	73.7	74.9	72.4	76.5	75.3	74.3	75.8	77.0	74.9	75.4	74.5	
R04	14.3	7.7	18.1	12.3	18.3	12.2	14.5	8.5	14.8	8.2	16.8	10.6	エ 家族に聞く
R03	13.1	8.8	19.3	11.2	18.7	11.4	14.4	7.4	16.0	9.5	17.3	10.1	
R04	8.8	8.6	17.9	15.8	14.9	15.8	11.9	11.0	14.1	12.4	14.5	13.9	オ 塾・予備校や家庭教師の先生に質問する
R03	10.0	9.3	18.0	15.4	17.9	15.7	12.7	10.5	13.2	14.0	15.7	13.9	
R04	11.8	13.8	10.3	12.9	10.7	13.2	8.7	10.9	10.6	11.9	10.4	12.6	カ そのままにしておく
R03	11.6	11.6	10.0	12.0	9.6	10.6	8.8	10.6	9.9	13.2	9.8	11.4	
R04	1.4	1.1	1.7	0.9	1.5	1.5	1.4	1.8	1.8	1.6	1.5	1.4	キ その他
R03	1.2	1.7	1.2	1.4	1.2	1.3	1.4	1.2	2.0	1.5	1.3	1.4	

Q6 授業のはじめに学習の目標が示されたり、授業の終わりに学習のまとめや振り返りが行われたりしていますか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	18.5	14.9	13.9	9.2	15.3	8.2	20.3	12.8	20.8	12.0	16.8	10.3	① ほとんどの授業で行われている
R03	18.2	13.6	11.0	9.6	9.5	10.0	16.2	12.5	16.3	13.1	12.7	11.1	
R04	51.4	46.1	44.6	37.8	48.5	37.4	49.3	42.1	49.9	41.1	48.1	39.6	② 多くの授業で行われている
R03	50.3	46.2	43.6	38.0	41.8	37.9	45.3	44.8	47.9	47.5	44.4	41.2	
R04	27.3	34.2	34.5	43.3	31.9	45.1	27.0	38.3	26.9	39.9	30.6	41.8	③ 行われている授業は少ない
R03	28.9	35.8	38.6	43.1	40.3	43.1	33.2	35.4	31.7	34.1	36.5	39.8	
R04	2.8	4.8	6.9	9.6	4.3	9.3	3.4	6.7	2.3	7.0	4.4	8.2	④ 行われている授業はほとんどない
R03	2.5	4.4	6.9	9.3	8.3	9.0	5.4	7.3	4.1	5.1	6.4	7.8	

Q7 授業の中で、自分の考えを発表したり、考えたことをペアや小グループで話し合ったりする時間がありますか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	17.1	9.9	19.9	12.0	31.9	17.6	25.5	14.4	20.3	12.0	24.9	14.2	① ほとんどの授業でそのような時間がある
R03	15.5	8.8	16.3	10.8	21.1	17.1	17.1	11.4	16.3	13.9	18.1	13.4	
R04	59.1	51.0	59.2	54.0	50.2	53.1	55.9	53.6	57.9	49.7	55.3	52.8	② 多くの授業でそのような時間がある
R03	52.1	46.9	55.6	52.6	51.0	49.5	55.5	49.3	50.1	50.2	52.9	50.1	
R04	23.2	34.9	20.3	30.3	17.2	26.2	17.3	29.8	21.1	33.3	19.1	29.6	③ そのような時間がある授業は少ない
R03	30.2	40.1	26.2	32.4	25.4	30.2	25.5	36.2	30.7	30.6	26.8	32.7	
R04	0.7	4.1	0.6	3.7	0.7	3.1	1.2	2.1	0.7	5.0	0.8	3.4	④ そのような時間がある授業はほとんどない
R03	2.2	4.2	1.9	4.0	2.5	3.2	1.9	3.1	2.8	5.2	2.2	3.7	

Q8 授業の中で、あなたが課題を見つたり、解決したりする時間がありますか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	16.4	14.4	16.2	13.5	21.3	14.5	20.0	16.0	17.6	12.8	18.8	14.3	① ほとんどの授業でそのような時間がある
R03	16.0	11.5	17.3	11.5	18.0	13.5	16.1	13.3	15.4	12.7	17.0	12.7	
R04	52.3	47.9	52.6	49.7	51.4	48.6	55.4	52.2	52.0	47.9	52.5	49.3	② 多くの授業でそのような時間がある
R03	50.8	49.1	50.6	50.8	50.2	48.7	53.4	51.4	52.1	50.6	51.1	50.0	
R04	28.5	32.6	28.5	32.4	24.3	31.8	21.8	27.9	27.3	33.8	25.6	31.7	③ そのような時間がある授業は少ない
R03	30.8	35.0	28.5	33.1	28.3	33.5	27.3	30.8	29.3	32.4	28.6	32.9	
R04	2.8	5.0	3.6	4.3	3.0	5.0	2.7	3.8	3.1	5.5	3.0	4.7	④ そのような時間がある授業はほとんどない
R03	2.4	4.4	3.6	4.5	3.5	4.3	3.0	4.4	3.0	4.0	3.2	4.3	

Q9 授業の中で、生徒がタブレットやパソコンなどのICT機器を使用していますか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	9.6	7.5	7.5	5.6	17.7	10.4	15.4	8.5	9.0	6.8	12.8	8.1	① ほとんどの授業で使用している
R03	9.2	7.3	6.2	5.5	7.3	6.5	6.8	5.5	5.2	6.0	6.8	6.1	
R04	24.9	15.6	16.1	14.6	27.3	16.0	25.5	23.3	17.2	16.0	22.6	16.8	② 多くの授業で使用している
R03	17.6	18.6	14.4	12.6	15.4	15.0	17.9	20.2	11.8	17.9	15.3	16.1	
R04	52.3	46.1	50.2	47.2	40.7	39.2	45.0	43.9	58.5	49.4	47.3	44.0	③ 使用している授業は少ない
R03	51.5	49.2	44.4	36.4	44.6	41.4	48.3	51.6	56.5	42.0	47.3	42.7	
R04	13.2	30.7	26.1	32.6	14.2	34.4	14.0	24.2	15.4	27.7	17.3	31.0	④ 使用している授業はほとんどない
R03	21.7	24.9	34.9	45.1	32.8	37.1	26.9	22.7	26.4	34.0	30.5	35.0	

Q10 授業でもっとタブレットやパソコンなどのICT機器を活用したいと思いますか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	37.8	39.9	36.8	34.7	39.7	39.2	39.0	38.7	37.5	38.2	38.4	37.9	① 活用したいと思う
R03	42.9	38.4	36.9	34.3	40.6	38.4	38.1	38.1	39.2	37.2	39.3	37.1	
R04	45.0	41.1	42.4	41.9	41.2	38.7	44.1	42.6	45.0	42.7	42.8	40.9	② どちらかといえば、活用したいと思う
R03	40.1	44.1	43.0	40.1	41.3	41.6	44.1	43.4	43.3	44.9	42.4	42.2	
R04	12.0	13.2	15.4	14.9	14.3	14.8	13.0	13.3	12.4	13.3	13.9	14.2	③ どちらかといえば、活用したいと思わない
R03	12.8	11.8	14.2	16.7	12.2	14.0	13.5	13.2	12.7	11.7	13.0	14.0	
R04	5.3	5.7	5.3	8.5	4.8	7.1	3.8	5.3	5.1	5.8	4.9	6.9	④ 活用したいと思わない
R03	4.2	5.6	5.9	8.7	5.8	6.0	4.2	5.3	4.7	6.0	5.3	6.5	

Q11 学校からの割りの割合で宿題・課題が出されていますか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	6.4	6.3	16.8	14.3	19.9	11.9	10.0	5.5	6.3	8.9	14.4	10.5	① ほとんど毎日出ている
R03	17.7	7.0	18.4	8.7	20.9	15.0	9.7	6.7	7.9	7.6	16.4	10.2	
R04	42.8	32.7	52.4	42.9	46.8	43.1	47.1	45.1	44.0	34.1	47.6	41.3	② 週に2～3回出ている
R03	35.0	33.5	50.4	40.6	43.4	38.9	50.8	33.6	40.9	35.9	45.3	37.5	
R04	34.1	44.0	26.8	35.4	29.3	34.2	38.3	41.0	38.8	38.0	31.9	37.0	③ 週に1回くらい出ている
R03	37.8	45.5	27.2	41.5	31.0	38.1	35.0	49.0	42.4	44.6	32.8	42.4	
R04	16.5	16.9	3.8	7.3	4.0	10.8	4.6	8.3	10.9	19.0	6.1	11.1	④ ほとんど出していない
R03	9.4	13.9	4.0	8.8	4.7	8.0	4.4	10.7	8.5	11.7	5.4	9.7	

Q12 学校ではどのくらいの割合でテスト(小テストや確認テストを含む。)がありますか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	3.5	8.6	5.6	15.4	4.3	13.7	7.7	9.0	4.8	5.0	5.2	11.7	① ほとんど毎日ある
R03	16.4	8.0	7.2	12.8	8.8	15.3	7.1	7.8	5.3	4.7	8.3	11.2	
R04	25.1	25.4	41.6	42.9	38.9	50.8	31.1	33.4	41.8	46.6	37.4	43.1	② 週に2～3回ある
R03	26.7	30.4	43.3	46.8	43.5	50.1	40.2	44.1	51.2	46.5	42.4	46.0	
R04	50.2	45.9	39.4	32.8	46.2	28.7	48.1	40.8	44.0	31.1	44.9	33.6	③ 週に1回くらいある
R03	41.6	40.5	41.4	29.4	39.8	25.5	41.8	34.8	30.0	30.8	39.4	30.2	
R04	21.2	20.1	13.3	8.8	10.5	6.7	13.0	16.7	9.4	17.3	12.5	11.5	④ ほとんどない
R03	15.3	21.1	8.1	10.7	7.8	9.0	10.8	13.3	13.2	17.9	9.8	12.5	

Q13 あなたが受けた授業はどんな授業ですか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	34.3	33.2	33.8	36.2	33.7	33.1	37.1	38.1	36.7	34.6	34.8	34.9	① 基礎・基本からじっくりわかるまで教えてくれる授業
R03	37.7	32.7	34.5	33.4	34.4	32.1	38.6	32.9	38.2	37.2	35.9	33.3	
R04	8.1	5.9	12.3	10.8	11.2	9.0	8.7	8.0	9.9	9.0	10.6	9.0	② 発展的な内容まで教えてくれる授業
R03	6.9	7.3	11.1	10.0	10.2	10.1	8.6	7.9	8.8	7.3	9.7	9.0	
R04	15.7	12.9	11.8	7.9	11.5	9.2	12.9	9.4	11.5	9.0	12.2	9.2	③ ペアやグループで自分の考えを発表したり、話し合ったりする授業
R03	14.4	11.8	9.6	7.6	10.9	11.2	12.0	10.4	10.4	7.0	11.0	9.6	
R04	27.9	29.6	27.9	28.0	30.7	31.4	28.1	28.1	25.6	28.2	28.6	29.4	④ 興味や関心もてるような授業
R03	23.8	30.1	29.6	32.1	30.2	31.5	26.0	30.0	24.9	28.2	28.2	30.8	
R04	9.3	12.4	10.8	13.6	10.2	14.0	10.0	12.2	10.8	14.3	10.3	13.5	⑤ 進路希望達成につながる授業
R03	10.2	12.5	12.1	13.6	11.5	12.7	11.0	14.7	13.1	14.8	11.7	13.6	
R04	4.6	5.9	3.3	3.4	2.7	3.3	3.1	4.1	5.4	4.8	3.4	3.9	⑥ 資格取得につながる授業
R03	4.9	5.2	3.0	3.2	2.7	2.4	3.7	4.1	4.4	5.5	3.4	3.6	

Q14 平日(テスト期間や長期休業中などを除く、通常の月曜日から金曜日)、学校の授業時間以外に1日当たりどのくらいの時間、勉強していますか(塾・予備校で勉強したり、家庭教師の先生に教わったりしている時間も含む。)

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	26.4	40.2	17.8	24.9	16.0	24.5	17.8	25.9	24.8	37.1	18.9	27.9	① 全く、またはほとんどしない
R03	23.3	35.0	14.1	26.6	16.6	24.2	16.2	29.5	21.9	37.9	17.2	28.6	
R04	16.3	14.6	13.0	13.1	14.9	15.8	12.4	14.9	14.1	13.4	14.0	14.5	② 30分より少ない
R03	14.7	13.9	11.1	14.3	12.9	13.5	12.0	14.3	13.4	14.3	12.5	14.0	
R04	20.0	16.0	21.9	20.6	21.6	17.6	21.7	19.9	19.4	16.7	21.3	18.5	③ 30分～
R03	18.6	17.6	22.8	19.7	21.1	19.0	21.3	18.8	19.2	17.4	21.1	18.8	
R04	25.9	20.4	29.5	26.3	30.0	24.6	32.2	27.7	28.6	21.5	29.7	24.8	④ 1時間～
R03	26.6	21.5	33.9	24.8	30.8	26.8	34.8	26.8	30.9	19.8	31.9	24.9	
R04	9.7	6.9	14.1	11.9	14.3	13.6	13.0	9.4	9.9	9.4	13.0	11.3	⑤ 2時間～
R03	13.7	9.3	14.8	11.2	15.2	13.3	12.9	8.9	11.6	7.8	14.1	10.9	
R04	1.5	1.4	3.1	2.4	2.8	3.0	2.3	1.9	2.6	1.3	2.6	2.3	⑥ 3時間～
R03	2.3	2.0	2.7	2.5	3.0	2.4	2.3	1.3	2.5	2.1	2.7	2.1	
R04	0.3	0.3	0.4	0.5	0.4	0.5	0.4	0.2	0.4	0.3	0.4	0.4	⑦ 4時間～
R03	0.4	0.3	0.4	0.5	0.4	0.6	0.5	0.3	0.4	0.5	0.4	0.4	
R04	0.0	0.2	0.2	0.1	0.1	0.3	0.1	0.1	0.1	0.3	0.1	0.2	⑧ 5時間以上
R03	0.4	0.4	0.1	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.2	

Q15 休日に、1日当たりどのくらいの時間、勉強していますか（塾・予備校で勉強したり、家庭教師の先生に教わったりしている時間も含む。）。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	24.9	36.5	16.0	23.1	14.4	21.5	16.2	23.7	23.1	35.8	17.2	25.5	① 全く、またはほとんどしない
R03	18.6	30.3	12.7	22.8	12.2	19.7	14.2	26.2	20.4	33.9	14.3	24.6	
R04	11.9	12.0	9.2	9.6	8.8	9.4	9.7	10.2	11.2	10.3	9.7	9.9	② 30分より少ない
R03	12.3	11.5	7.8	11.0	8.0	8.3	9.0	10.9	10.8	10.6	8.9	10.0	
R04	13.4	11.2	12.7	11.3	12.0	11.4	14.0	14.7	12.5	11.5	12.7	11.9	③ 30分～
R03	12.5	13.2	11.3	12.3	12.0	11.2	11.9	12.2	13.3	13.2	12.0	12.1	
R04	22.8	15.4	21.5	20.7	21.8	18.6	23.1	21.3	24.4	17.7	22.4	19.1	④ 1時間～
R03	19.0	20.3	22.5	20.8	22.3	20.8	24.5	20.2	20.8	20.4	22.2	20.6	
R04	16.1	14.7	18.2	17.4	19.5	16.6	20.5	16.9	17.2	14.3	18.7	16.4	⑤ 2時間～
R03	20.9	13.1	22.3	16.1	21.0	18.4	22.7	18.3	19.6	11.6	21.4	16.4	
R04	6.7	6.7	12.1	10.6	13.4	12.0	10.7	7.9	6.9	6.7	11.2	9.8	⑥ 3時間～
R03	10.8	7.6	13.3	9.4	13.3	12.1	11.2	7.5	9.1	6.1	12.2	9.4	
R04	3.4	1.7	6.1	4.1	5.8	5.6	3.4	3.5	3.2	2.2	4.9	4.1	⑦ 4時間～
R03	3.1	1.8	6.4	4.2	6.8	5.1	4.0	2.6	3.4	2.3	5.5	3.8	
R04	0.6	0.9	2.2	1.8	2.3	2.7	1.6	1.2	1.0	0.8	1.8	1.8	⑧ 5時間～
R03	1.7	1.3	2.0	1.8	2.7	2.3	1.6	1.2	1.5	0.7	2.1	1.6	
R04	0.2	0.5	1.3	0.7	0.9	1.2	0.7	0.2	0.2	0.2	0.8	0.7	⑨ 6時間～
R03	0.6	0.4	1.1	1.0	1.0	1.4	0.5	0.4	0.7	0.5	0.9	0.9	
R04	0.2	0.4	0.7	0.7	0.9	1.1	0.1	0.2	0.2	0.6	0.6	0.7	⑩ 7時間以上
R03	0.4	0.6	0.6	0.5	0.6	0.8	0.3	0.3	0.4	0.5	0.5	0.6	

Q16 家庭学習の仕方に、最も近いものはどれですか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	9.1	9.5	19.7	18.0	21.3	20.6	16.1	13.8	13.1	11.3	17.8	16.6	① ほぼ毎日している
R03	13.1	8.5	22.4	17.8	23.3	19.6	19.5	16.4	15.3	9.8	20.5	16.2	
R04	5.5	4.3	5.1	4.4	4.6	4.5	5.3	4.3	6.0	4.1	5.1	4.4	② 主に平日にしている
R03	5.6	4.5	5.2	4.9	4.1	4.8	6.2	4.5	5.3	3.5	5.0	4.6	
R04	9.8	5.9	8.0	6.1	8.1	6.0	10.6	8.6	8.7	6.1	8.7	6.5	③ 主に休日にしている
R03	9.3	7.8	7.9	7.1	8.7	7.6	10.3	7.8	8.6	6.4	8.8	7.4	
R04	14.0	19.5	11.9	17.0	11.8	15.4	12.6	17.6	13.6	16.2	12.4	16.6	④ 主に定期考査前にしている
R03	13.2	16.5	11.0	16.5	10.8	14.5	11.1	16.0	11.7	18.9	11.2	16.1	
R04	6.2	5.6	7.6	5.6	7.6	4.9	8.1	7.0	6.7	4.1	7.4	5.4	⑤ 主に宿題・課題のあるときにしている
R03	6.7	5.2	8.6	5.7	7.3	6.3	7.7	5.0	6.6	6.3	7.6	5.8	
R04	32.8	30.9	32.6	31.8	31.8	31.7	30.8	29.5	33.0	33.4	32.1	31.5	⑥ 主に宿題・課題のあるときと定期考査前にしている
R03	36.0	32.3	31.8	29.4	31.0	30.4	30.7	29.1	32.5	33.2	31.8	30.5	
R04	1.7	1.1	1.7	2.0	1.6	1.7	1.0	1.5	1.8	1.5	1.6	1.7	⑦ 主に塾・予備校のあるときや家庭教師の先生が来るときにしている
R03	0.7	1.6	1.4	2.0	2.0	1.8	1.2	1.3	1.7	2.1	1.6	1.8	
R04	13.2	10.0	9.3	8.5	9.2	8.6	10.4	9.4	11.0	11.4	10.0	9.2	⑧ 気が向いたときにしている
R03	10.5	12.2	8.4	9.4	8.9	9.1	8.9	9.6	11.8	9.5	9.3	9.6	
R04	7.6	12.4	3.7	6.2	3.7	6.4	4.7	8.0	5.6	11.3	4.5	7.8	⑨ 家庭学習はほとんどしない
R03	4.6	10.8	3.0	6.8	3.6	5.5	4.0	9.5	5.9	9.7	3.9	7.6	
R04	0.1	0.6	0.3	0.4	0.2	0.3	0.3	0.2	0.4	0.6	0.2	0.4	⑩ その他
R03	0.2	0.5	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3	0.5	0.6	0.6	0.3	0.3	

Q17 学習塾等（家庭教師の先生に教わっている場合も含む。）で、どのように勉強していますか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	4.1	2.8	8.6	8.0	7.8	7.9	4.5	3.2	5.0	3.7	6.7	6.1	① 学校の勉強より進んだ内容や、難しい内容を勉強している
R03	2.6	2.7	7.9	7.7	7.8	7.3	3.4	2.7	3.7	3.5	6.1	5.6	
R04	10.7	10.9	10.5	9.4	9.0	8.9	11.1	11.5	10.4	10.4	10.1	9.8	② 学校の勉強でよくわからなかった内容を勉強している
R03	10.2	9.3	9.6	10.3	9.3	9.9	10.9	9.7	9.8	10.3	9.8	10.0	
R04	5.7	5.8	10.9	8.6	8.4	9.2	9.0	6.6	8.9	9.8	9.0	8.4	③ 上記①、②の両方の内容を勉強している
R03	7.1	5.4	10.6	8.8	10.4	9.4	8.6	7.1	10.5	9.7	9.9	8.5	
R04	1.7	1.1	1.7	2.2	1.9	2.6	0.7	1.9	1.9	1.8	1.6	2.2	④ 上記①、②の内容のどちらともいえない
R03	1.5	1.7	1.5	2.3	1.8	2.1	1.7	1.6	1.5	2.0	1.7	2.0	
R04	77.7	79.2	68.2	71.8	72.9	71.4	74.6	76.6	73.9	74.3	72.5	73.4	⑤ 学習塾等に通っていない
R03	78.6	80.8	70.3	70.6	70.6	71.3	75.4	78.7	74.3	74.3	72.5	73.7	

Q18 家庭学習をする上で悩んでいることはありますか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	10.5	9.3	8.4	9.3	9.7	8.8	12.3	11.7	12.3	10.8	10.2	9.7	① 家庭学習の方法が分からない
R03	9.9	10.0	9.4	9.2	10.2	9.3	10.8	10.4	13.0	11.6	10.4	9.9	
R04	22.8	24.8	28.1	30.1	26.9	30.0	21.5	23.9	22.7	26.1	25.4	28.0	② 家庭学習に集中できない
R03	24.3	20.3	27.9	31.0	28.6	31.4	23.7	25.5	24.7	25.9	26.7	28.5	
R04	16.9	16.1	15.8	15.1	17.8	14.8	19.8	19.2	17.9	15.3	17.6	15.8	③ 学習の計画を立てても長続きしない
R03	19.3	17.7	16.8	15.2	16.7	16.8	19.7	18.0	16.2	17.3	17.4	16.8	
R04	19.9	13.4	23.3	18.9	23.0	19.5	18.1	15.1	16.4	13.9	21.1	17.3	④ 家庭学習と部活動の両立が難しい
R03	16.7	16.8	22.3	16.8	22.3	17.5	17.4	15.4	16.3	14.1	20.2	16.4	
R04	4.2	5.2	4.0	5.6	4.0	6.3	6.0	5.0	4.6	6.1	4.4	5.8	⑤ 家庭学習を一生懸命やっても成績が伸びない
R03	5.1	5.2	5.4	6.7	4.7	5.5	5.2	5.4	5.5	6.1	5.1	5.8	
R04	23.8	28.7	18.0	18.7	16.7	17.6	19.5	22.9	24.0	25.4	19.1	20.8	⑥ 特に悩みはない
R03	22.6	27.7	16.4	18.8	15.5	17.4	20.9	22.9	22.2	22.2	18.1	20.3	
R04	1.9	2.4	2.1	2.2	1.8	2.7	2.4	1.9	1.9	2.3	2.0	2.4	⑦ その他
R03	2.2	2.2	1.6	1.9	1.9	1.9	2.3	2.2	2.0	2.2	1.9	2.0	

Q19 自宅でICT機器やオンラインを用いた学習を実施する(した)場合に、自分にとって不都合なこと(不都合だったこと)は何ですか。(該当するものをすべて選んでください。)

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	2.1	3.0	1.6	1.9	1.5	1.7	1.8	3.2	2.0	2.3	1.7	2.2	ア パソコンやタブレット、スマホなどの機器がない(使用できない)
R03	2.2	3.7	1.9	2.5	1.8	2.3	2.2	3.3	2.8	3.8	2.0	2.9	
R04	22.1	23.3	16.2	17.1	17.2	16.8	19.4	22.6	21.6	24.4	18.3	19.4	イ 課題を印刷する機器がない(印刷できない)
R03	21.7	22.6	18.1	17.7	17.0	18.5	23.6	23.5	23.8	24.5	19.7	20.4	
R04	15.6	13.2	13.3	11.5	13.6	13.2	13.2	13.8	14.1	12.0	13.7	12.7	ウ 通信速度が遅い
R03	15.5	14.2	14.1	14.3	14.8	13.8	13.5	14.3	14.2	16.1	14.4	14.4	
R04	5.2	6.0	6.1	5.6	6.5	6.1	6.5	8.0	8.2	7.4	6.5	6.5	エ 通信料金が高額になる
R03	7.7	7.5	7.4	9.4	7.3	8.0	9.7	10.4	10.1	10.7	8.1	9.1	
R04	5.7	4.2	5.1	4.7	5.5	3.7	6.0	6.5	6.9	6.7	5.7	4.9	オ セキュリティが心配
R03	6.6	8.1	6.8	6.5	6.2	6.8	8.1	9.0	9.6	9.4	7.2	7.6	
R04	14.7	12.3	16.2	14.1	18.8	12.8	16.3	14.3	17.0	16.2	17.1	13.8	カ 操作の方法が分からない
R03	18.9	18.7	18.3	17.4	16.9	16.9	21.3	20.3	20.4	18.8	18.6	18.0	
R04	23.1	23.9	22.0	22.7	23.0	26.6	20.3	24.0	21.2	25.9	22.0	24.9	キ 集中できない, やる気が起きない
R03	19.3	23.3	22.7	24.3	22.2	24.2	20.4	22.1	21.6	26.5	21.7	24.1	
R04	3.4	4.1	3.3	3.2	3.7	4.9	3.9	4.3	4.1	3.9	3.7	4.2	ク その他
R03	3.1	3.8	3.6	3.0	4.6	3.4	4.3	3.6	4.7	3.9	4.2	3.4	
R04	40.3	40.0	44.3	47.7	42.3	44.6	43.9	41.0	41.7	39.1	42.8	43.6	ケ 不都合なことはない
R03	40.4	36.6	41.2	41.9	42.0	41.7	39.2	37.5	37.7	34.5	40.6	39.5	

Q20 学校に行く前に朝食をとりますか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	68.8	62.9	77.5	73.2	77.3	75.2	71.7	69.1	71.4	68.2	74.9	71.7	① 必ずとる
R03	65.9	64.4	79.0	76.4	79.4	78.7	71.1	70.9	70.5	67.6	75.5	73.9	
R04	15.5	17.1	13.0	14.2	13.3	14.3	15.6	14.8	14.5	16.0	14.0	14.8	② たいていとる
R03	17.8	16.8	12.0	12.6	12.4	12.0	15.6	14.3	15.4	16.5	13.7	13.6	
R04	8.2	10.1	4.8	6.1	5.1	5.6	6.9	7.6	8.0	8.1	6.0	6.8	③ とらないことが多い
R03	8.9	10.2	4.7	5.7	4.4	4.9	7.6	6.9	7.6	8.0	5.8	6.3	
R04	7.5	9.9	4.5	6.5	4.2	4.8	5.7	8.4	6.0	7.7	5.1	6.6	④ 全く, またはほとんどとらない
R03	7.5	8.5	4.2	5.2	3.8	4.4	5.6	7.7	6.4	7.8	4.9	6.0	

Q21 平日の睡眠時間は1日当たり, どのくらいですか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	1.4	1.1	0.4	0.8	0.6	0.7	0.5	1.0	0.9	1.0	0.7	0.9	① 3時間より少ない
R03	0.4	1.3	0.4	0.6	0.5	0.6	0.5	1.0	0.8	1.0	0.5	0.8	
R04	3.2	3.7	2.6	2.7	2.1	2.6	3.4	3.2	2.2	3.7	2.6	3.0	② 3時間~4時間未満
R03	3.0	3.5	2.3	2.8	2.0	2.3	2.7	3.4	2.1	3.4	2.3	2.9	
R04	10.2	10.6	8.5	10.6	9.3	10.6	8.9	8.7	7.6	9.1	8.9	10.1	③ 4時間~5時間未満
R03	10.5	11.6	8.0	10.4	9.6	9.7	9.3	8.0	9.0	10.4	9.1	9.9	
R04	24.5	31.9	27.9	30.8	29.2	30.0	26.3	29.1	25.2	25.6	27.4	29.6	④ 5時間~6時間未満
R03	30.5	28.0	28.2	30.2	27.7	31.0	25.5	27.7	26.5	27.8	27.6	29.5	
R04	37.8	35.6	40.3	38.1	38.5	39.3	38.9	36.8	39.0	39.3	39.0	38.2	⑤ 6時間~7時間未満
R03	34.6	36.1	39.8	38.4	40.1	39.2	38.2	39.6	37.0	38.1	38.8	38.6	
R04	18.0	13.0	16.4	13.8	16.3	14.3	17.2	17.4	20.7	17.2	17.2	15.0	⑥ 7時間~8時間未満
R03	17.3	15.9	17.7	14.3	16.6	14.3	18.2	16.1	18.3	15.6	17.4	15.0	
R04	3.6	3.3	3.4	2.8	3.4	2.0	3.8	3.0	3.7	3.7	3.5	2.7	⑦ 8時間~9時間未満
R03	2.5	2.5	3.0	2.5	3.1	2.4	4.6	3.2	5.3	2.6	3.6	2.6	
R04	1.2	0.6	0.5	0.2	0.4	0.5	0.7	0.7	0.7	0.4	0.6	0.4	⑧ 9時間以上
R03	1.2	1.0	0.5	0.6	0.4	0.3	0.9	1.0	0.9	1.0	0.6	0.7	

Q22 平日に、家の中で最も時間をかけて行っていることは何ですか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	3.1	4.0	7.6	6.6	8.7	7.5	5.6	5.0	2.8	4.0	6.6	6.1	① 家庭学習
R03	5.6	3.7	9.5	7.1	9.5	8.6	6.4	4.8	4.6	2.5	8.0	6.2	
R04	3.8	3.6	4.7	4.4	4.7	4.1	3.5	3.3	4.0	3.7	4.3	3.9	② テレビ(録画を含む)やDVD等
R03	4.3	4.9	5.8	4.4	5.3	5.5	4.0	5.6	4.2	4.2	5.0	5.0	
R04	26.6	22.2	24.5	21.2	23.2	22.5	25.3	22.4	25.3	23.0	24.5	22.2	③ スマートフォンや携帯電話での通話やメール、SNS等
R03	22.8	20.8	20.9	19.3	22.2	19.2	23.2	20.9	26.3	21.6	22.6	20.0	
R04	41.3	45.5	39.7	44.2	39.8	42.8	41.2	46.3	43.3	44.3	40.6	44.2	④ スマートフォンや携帯電話でのゲームや動画、情報収集
R03	40.0	43.5	39.0	44.1	38.0	43.0	43.1	45.9	41.2	50.9	39.7	44.9	
R04	7.9	7.5	6.5	8.0	5.6	6.0	8.4	8.1	8.2	10.0	6.8	7.5	⑤ スマートフォンや携帯電話以外でのゲームや動画、情報収集
R03	9.1	8.8	6.5	7.2	5.8	6.4	7.9	8.0	8.7	8.4	7.0	7.4	
R04	1.4	1.4	1.6	1.0	1.4	1.2	1.2	1.4	1.9	1.3	1.5	1.2	⑥ 読書
R03	2.1	2.0	1.7	1.3	2.0	1.5	2.0	1.9	1.5	1.1	1.9	1.5	
R04	6.1	6.5	6.4	7.3	6.5	6.5	7.4	6.8	8.3	7.2	6.8	6.8	⑦ 趣味(①～⑥を除く)
R03	8.0	7.7	7.9	7.9	8.0	7.2	6.0	6.0	6.3	6.6	7.4	7.1	
R04	5.0	3.9	4.8	3.3	5.0	4.0	4.1	3.6	4.0	2.9	4.7	3.6	⑧ 家族との会話や家事等の手伝い
R03	4.2	3.9	4.4	3.4	4.1	3.9	4.4	3.3	3.3	2.2	4.1	3.5	
R04	4.8	5.4	3.9	4.0	5.2	5.5	3.4	3.0	2.2	3.6	4.1	4.4	⑨ その他
R03	4.0	4.7	4.4	5.2	5.1	4.7	3.2	3.4	3.8	2.7	4.3	4.3	

Q23 平日に、スマートフォンや携帯電話を勉強以外で使う時間は1日当たりどのくらいですか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	0.2	0.7	0.4	0.5	0.7	0.5	0.5	0.5	0.2	1.0	0.5	0.6	① 全く使わない
R03	0.1	0.7	0.4	0.6	0.3	0.6	0.6	0.8	0.4	0.4	0.4	0.6	
R04	2.0	1.2	2.1	1.4	2.2	1.4	1.9	1.4	1.2	0.9	2.0	1.3	② 30分より少ない
R03	1.2	1.0	1.6	1.0	1.8	1.5	1.6	1.4	1.1	0.5	1.6	1.2	
R04	3.1	2.3	6.1	4.2	7.4	5.1	4.9	4.1	4.0	3.6	5.8	4.3	③ 30分～1時間未満
R03	4.9	3.9	6.0	5.1	7.4	5.9	5.4	6.3	4.0	1.8	6.0	5.0	
R04	14.6	13.4	19.2	16.1	22.7	20.1	17.4	18.1	14.5	14.0	19.1	17.3	④ 1時間～2時間未満
R03	19.0	15.6	22.6	18.6	23.8	22.8	21.0	18.8	17.3	12.9	21.7	19.0	
R04	23.8	21.7	28.3	28.0	29.0	28.9	25.9	27.2	27.7	24.9	27.6	27.2	⑤ 2時間～3時間未満
R03	25.7	25.5	28.3	27.4	31.0	28.5	28.4	26.2	27.1	27.3	28.9	27.4	
R04	23.7	24.0	20.9	22.3	18.9	20.6	22.5	19.4	24.0	20.2	21.1	21.1	⑥ 3時間～4時間未満
R03	22.6	20.4	20.9	22.2	18.2	21.2	20.0	19.5	21.8	22.3	20.0	21.2	
R04	14.1	13.9	10.6	11.1	8.2	9.9	10.7	11.4	12.6	12.7	10.3	11.2	⑦ 4時間～5時間未満
R03	10.9	13.9	10.0	10.9	7.9	9.0	9.3	11.0	12.5	13.4	9.5	10.9	
R04	18.0	22.5	12.2	16.1	10.5	13.2	15.5	17.8	15.8	22.4	13.2	16.8	⑧ 5時間以上
R03	15.4	18.6	10.0	13.7	9.4	10.3	13.6	15.6	15.3	21.1	11.6	14.3	
R04	0.4	0.3	0.3	0.2	0.3	0.2	0.5	0.2	0.1	0.2	0.3	0.2	⑨ スマートフォンや携帯電話を持っていない
R03	0.3	0.2	0.2	0.3	0.3	0.2	0.1	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	

Q24 平日に、勉強以外でスマートフォンや携帯電話を最も多く使用する用途は何ですか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	3.8	3.9	3.3	3.2	3.1	3.4	5.6	5.4	4.8	5.6	3.9	4.0	① 相手との通話
R03	4.8	5.4	2.9	2.8	3.1	3.4	5.0	4.8	5.3	4.1	3.8	3.8	
R04	2.2	0.7	1.9	1.0	1.9	0.9	1.8	1.6	1.3	1.2	1.8	1.1	② メール
R03	1.3	1.1	1.4	0.7	1.0	0.7	1.8	1.1	1.4	0.7	1.3	0.8	
R04	40.7	31.7	41.2	36.9	39.2	37.3	36.4	31.5	35.6	32.0	38.9	35.0	③ SNS(LINE, ツイッター, インスタグラム等)
R03	33.6	27.9	37.2	34.4	38.4	33.3	34.4	29.6	36.7	30.6	36.8	32.1	
R04	27.7	37.5	30.5	36.2	31.9	36.7	32.3	35.9	34.7	38.2	31.6	36.7	④ 動画サイト
R03	32.1	38.4	32.6	35.4	33.7	37.0	32.0	39.4	31.7	38.7	32.7	37.4	
R04	9.2	10.6	8.3	9.6	10.7	9.8	8.8	10.6	10.1	9.4	9.6	9.9	⑤ 音楽サイトや音楽プレイヤー
R03	10.6	11.6	10.4	11.1	10.9	11.6	11.0	10.0	10.5	10.0	10.7	11.0	
R04	14.2	13.6	11.7	11.0	10.7	9.5	13.0	13.2	11.6	11.7	11.8	11.2	⑥ オンラインゲーム
R03	15.4	14.3	12.1	12.7	10.3	11.2	13.4	12.2	12.0	14.0	11.9	12.4	
R04	0.6	0.2	0.3	0.3	0.2	0.3	0.3	0.3	0.2	0.5	0.3	0.3	⑦ ブログや掲示板
R03	0.1	0.3	0.3	0.3	0.4	0.4	0.3	0.6	0.1	0.2	0.3	0.4	
R04	1.3	1.3	2.2	1.6	1.7	1.7	0.9	1.1	1.3	1.3	1.6	1.5	⑧ 情報・ニュース等の検索
R03	1.5	1.0	2.7	2.2	1.8	2.0	1.4	1.4	1.8	1.4	1.9	1.8	
R04	0.2	0.2	0.3	0.0	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.0	0.2	0.1	⑨ 静止画や動画の撮影
R03	0.4	0.0	0.1	0.1	0.2	0.2	0.4	0.2	0.1	0.1	0.2	0.1	
R04	0.2	0.2	0.3	0.2	0.4	0.2	0.6	0.2	0.1	0.1	0.3	0.2	⑩ スマートフォンや携帯電話を持っていない
R03	0.3	0.0	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.5	0.2	0.2	0.2	0.2	

Q25 平日に、1日当たりどのくらいの時間、読書（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く。）をしますか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	62.0	69.2	64.4	67.9	63.2	71.4	57.4	59.4	55.4	69.2	61.4	68.0	① 全く、またはほとんどしない
R03	59.4	63.3	59.0	69.0	63.5	68.2	54.5	58.5	61.3	61.5	60.2	65.3	
R04	19.5	14.1	19.9	17.9	20.2	14.8	23.1	22.9	23.3	14.6	21.0	16.8	② 30分より少ない
R03	19.0	17.6	21.1	15.7	18.8	16.8	24.2	22.6	19.6	21.4	20.4	18.3	
R04	10.6	10.0	9.1	9.2	10.7	8.6	12.0	11.2	12.4	9.6	10.7	9.4	③ 30分～1時間未満
R03	12.8	11.3	12.7	9.2	10.6	9.5	13.3	11.8	11.5	9.9	11.9	10.1	
R04	5.6	3.8	4.4	3.4	3.8	3.3	4.8	3.9	6.0	4.1	4.6	3.6	④ 1時間～2時間未満
R03	5.6	4.8	5.3	3.7	4.8	4.0	5.7	4.4	5.2	4.6	5.2	4.2	
R04	1.2	1.2	1.5	1.1	1.3	1.1	1.3	1.1	1.7	1.5	1.4	1.2	⑤ 2時間～3時間未満
R03	2.2	2.2	1.2	1.4	1.5	1.1	1.5	1.4	1.4	1.4	1.5	1.3	
R04	0.5	0.8	0.4	0.2	0.3	0.4	0.7	0.6	0.7	0.5	0.5	0.4	⑥ 3時間～4時間未満
R03	0.4	0.4	0.5	0.4	0.4	0.2	0.5	0.9	0.5	0.3	0.5	0.4	
R04	0.2	0.5	0.2	0.1	0.2	0.2	0.3	0.4	0.2	0.1	0.2	0.2	⑦ 4時間～5時間未満
R03	0.4	0.2	0.2	0.3	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.4	0.2	0.2	
R04	0.5	0.4	0.2	0.1	0.1	0.3	0.3	0.4	0.1	0.4	0.2	0.3	⑧ 5時間以上
R03	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2	0.4	0.1	0.4	0.2	0.2	

Q26 休日に、家の中で最も時間をかけて行っていることは何ですか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	2.1	3.1	6.9	5.2	7.8	6.7	3.8	3.5	3.2	3.3	5.8	5.0	① 家庭学習
R03	4.0	2.7	7.0	5.4	7.9	6.9	4.8	3.2	3.9	2.4	6.3	4.9	
R04	5.5	5.3	6.7	6.2	6.7	6.3	4.6	5.0	4.8	4.8	6.0	5.8	② テレビ（録画を含む）やDVD等
R03	6.5	6.6	7.9	7.1	8.3	7.9	7.0	7.3	5.8	5.0	7.5	7.1	
R04	20.7	16.7	17.4	15.0	16.2	14.1	20.5	15.8	19.0	17.5	18.0	15.3	③ スマートフォンや携帯電話での通話やメール、SNS等
R03	16.9	15.2	15.0	13.1	15.3	13.3	17.1	14.5	18.9	16.3	16.1	14.1	
R04	38.4	42.0	35.9	40.2	37.6	40.3	38.1	42.6	38.1	40.9	37.4	40.9	④ スマートフォンや携帯電話でのゲームや動画、情報収集
R03	36.2	40.9	34.9	40.7	34.9	38.4	39.3	43.1	39.0	44.6	36.3	40.9	
R04	8.3	9.8	8.0	8.5	7.0	7.4	9.1	10.7	9.9	11.5	8.1	9.0	⑤ スマートフォンや携帯電話以外でのゲームや動画、情報収集
R03	11.9	8.6	8.7	8.5	7.2	7.9	8.9	9.5	9.2	9.6	8.6	8.6	
R04	1.2	1.1	1.2	0.8	1.3	1.3	1.4	1.0	1.3	0.9	1.3	1.1	⑥ 読書
R03	1.3	1.8	1.6	1.5	1.5	1.0	1.4	1.6	1.7	1.5	1.5	1.4	
R04	12.1	11.7	13.3	13.6	11.6	11.9	12.3	11.7	14.0	10.8	12.5	12.1	⑦ 趣味（①～⑥を除く）
R03	12.8	13.1	14.5	12.6	13.5	12.8	10.9	12.0	12.6	11.2	13.2	12.4	
R04	4.5	2.6	4.8	4.0	4.6	4.3	4.5	4.2	4.7	3.0	4.6	3.9	⑧ 家族との会話や家事等の手伝い
R03	4.2	3.6	4.6	3.8	4.6	3.8	4.5	2.7	3.4	3.5	4.4	3.5	
R04	7.0	7.8	5.6	6.6	7.3	7.5	5.7	5.4	4.9	7.4	6.2	6.9	⑨ その他
R03	6.1	7.3	5.7	7.2	6.7	7.9	6.1	6.1	5.4	5.8	6.1	7.1	

Q27 休日に、スマートフォンや携帯電話を勉強以外で使う時間は1日当たりどのくらいですか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	0.6	1.1	0.8	0.8	0.8	0.8	0.5	0.8	0.7	0.8	0.7	0.8	① 全く使わない
R03	0.4	0.7	0.5	0.9	0.4	0.5	0.5	0.8	0.4	0.9	0.5	0.7	
R04	1.9	0.7	1.5	1.1	1.3	1.1	1.5	1.1	0.9	0.8	1.4	1.0	② 30分より少ない
R03	0.5	1.6	1.1	1.4	1.4	1.1	1.1	1.1	0.6	0.8	1.1	1.2	
R04	1.8	1.3	2.5	2.5	2.8	2.0	2.1	1.6	2.0	1.0	2.4	1.9	③ 30分～1時間未満
R03	2.1	1.7	2.7	1.8	2.4	1.8	2.2	2.0	1.5	0.7	2.3	1.7	
R04	4.0	3.1	8.2	5.0	7.9	6.7	5.9	4.7	4.8	3.9	6.9	5.2	④ 1時間～2時間未満
R03	5.8	4.7	8.0	7.0	9.2	8.1	6.3	5.5	4.6	3.6	7.5	6.4	
R04	10.4	11.7	15.2	13.6	17.9	16.4	14.0	13.5	12.0	11.4	15.1	14.1	⑤ 2時間～3時間未満
R03	15.7	12.5	17.1	14.9	18.8	16.8	16.2	15.6	14.1	10.9	17.1	14.9	
R04	17.9	16.0	20.7	21.3	22.2	20.9	18.5	19.8	18.4	18.1	20.3	20.0	⑥ 3時間～4時間未満
R03	20.3	18.4	22.6	20.7	22.6	21.4	21.4	19.2	19.9	17.4	21.9	20.0	
R04	18.0	17.3	17.1	18.0	15.5	17.0	17.8	17.4	18.2	16.4	16.9	17.3	⑦ 4時間～5時間未満
R03	17.0	18.1	17.8	17.8	16.3	18.1	14.8	16.9	14.4	17.6	16.2	17.7	
R04	14.2	13.6	10.9	11.5	11.2	12.3	12.1	11.6	14.6	12.7	12.0	12.1	⑧ 5時間～6時間未満
R03	11.5	12.6	10.8	11.9	10.5	11.6	12.9	11.4	14.6	14.4	11.6	12.1	
R04	30.7	34.7	22.6	25.7	20.0	22.6	26.8	29.2	28.2	34.6	23.9	27.2	⑨ 6時間以上
R03	26.2	29.4	18.9	23.3	18.1	20.3	24.2	26.6	29.0	33.4	21.5	24.8	
R04	0.5	0.6	0.4	0.4	0.4	0.2	0.6	0.2	0.1	0.3	0.4	0.3	⑩ スマートフォンや携帯電話を持っていない
R03	0.4	0.3	0.4	0.3	0.3	0.3	0.4	0.5	0.6	0.3	0.4	0.4	

Q28 休日に、勉強以外でスマートフォンや携帯電話を最も多く使用する用途は何ですか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	4.3	3.2	2.9	3.0	2.7	3.1	4.5	4.4	4.4	4.6	3.4	3.5	① 相手との通話
R03	3.1	4.2	2.4	2.5	2.6	2.4	4.6	4.2	3.9	3.1	3.1	3.0	
R04	1.4	1.3	1.3	0.7	1.2	0.7	1.3	0.9	1.1	1.1	1.2	0.8	② メール
R03	0.9	1.2	0.7	0.5	0.8	0.5	1.3	0.7	0.9	0.9	0.9	0.7	
R04	34.8	27.6	32.8	29.3	32.5	28.4	30.3	26.5	28.7	25.2	31.9	27.8	③ SNS (LINE, ツイッター, インスタグラム等)
R03	28.0	23.4	30.3	26.5	30.9	26.5	27.1	23.1	30.2	24.9	29.8	25.4	
R04	35.5	45.2	40.9	46.3	41.6	48.2	41.1	44.7	42.1	48.8	40.9	47.0	④ 動画サイト
R03	40.8	48.1	42.3	47.0	43.7	48.1	41.7	48.0	40.5	47.0	42.3	47.6	
R04	6.1	6.9	6.1	6.1	7.1	6.1	6.3	6.9	7.4	5.8	6.6	6.2	⑤ 音楽サイトや音楽プレイヤー
R03	7.0	5.7	7.1	6.6	7.7	7.1	7.7	6.9	7.9	6.5	7.5	6.7	
R04	16.1	14.1	13.1	12.0	12.2	11.1	14.6	14.8	13.6	12.4	13.4	12.4	⑥ オンラインゲーム
R03	17.9	15.9	13.8	13.6	11.9	12.6	14.7	14.1	14.1	15.5	13.7	13.8	
R04	0.4	0.4	0.3	0.4	0.3	0.3	0.1	0.3	0.2	0.6	0.2	0.4	⑦ ブログや掲示板
R03	0.1	0.4	0.2	0.5	0.2	0.5	0.4	0.7	0.0	0.3	0.2	0.5	
R04	0.9	0.9	1.9	1.5	1.6	1.7	0.7	1.1	1.3	1.0	1.4	1.4	⑧ 情報・ニュース等の検索
R03	1.5	0.7	2.5	2.0	1.6	1.8	1.7	1.3	1.6	1.1	1.8	1.6	
R04	0.4	0.2	0.4	0.2	0.3	0.1	0.2	0.2	0.9	0.1	0.4	0.1	⑨ 静止画や動画の撮影
R03	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.3	0.5	0.3	0.1	0.1	0.2	0.2	
R04	0.2	0.3	0.3	0.2	0.4	0.2	0.5	0.2	0.1	0.2	0.3	0.2	⑩ スマートフォンや携帯電話を持っていない
R03	0.3	0.0	0.3	0.2	0.3	0.2	0.3	0.5	0.3	0.3	0.3	0.2	

Q29 休日に、1日当たりどのくらいの時間、読書(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く。)をしますか。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	65.6	71.6	67.9	70.1	65.7	72.0	63.9	66.9	62.3	70.5	65.5	70.4	① 全く、またはほとんどしない
R03	63.3	67.6	62.5	70.8	64.6	69.2	60.3	65.0	64.0	70.2	63.2	68.8	
R04	14.0	10.6	14.0	13.6	15.5	12.3	15.4	12.9	14.8	10.9	14.9	12.4	② 30分より少ない
R03	12.5	10.5	14.6	11.5	14.9	13.1	16.8	14.3	14.2	11.8	14.8	12.5	
R04	8.7	7.3	8.0	8.0	9.3	7.5	9.6	9.2	10.5	8.2	9.1	8.0	③ 30分～1時間未満
R03	10.5	9.0	11.1	8.2	9.6	9.0	11.2	9.2	9.6	7.8	10.4	8.7	
R04	5.6	5.7	5.2	4.8	5.2	4.5	6.0	6.6	6.9	6.2	5.6	5.2	④ 1時間～2時間未満
R03	8.5	6.6	6.6	5.1	6.1	4.8	6.5	5.6	7.1	5.1	6.7	5.2	
R04	2.7	2.1	2.3	2.2	2.4	2.0	2.7	1.9	2.4	2.1	2.5	2.1	⑤ 2時間～3時間未満
R03	2.6	3.1	3.0	2.1	2.6	2.4	2.9	2.7	2.4	2.6	2.7	2.5	
R04	1.5	1.0	1.2	0.5	0.9	0.8	1.0	0.9	1.3	0.9	1.1	0.8	⑥ 3時間～4時間未満
R03	1.3	1.2	1.2	0.9	1.0	0.7	1.1	1.4	1.0	1.0	1.1	1.0	
R04	0.7	0.4	0.6	0.4	0.4	0.4	0.5	0.5	0.6	0.3	0.5	0.4	⑦ 4時間～5時間未満
R03	0.5	0.6	0.3	0.5	0.4	0.3	0.1	0.6	0.4	0.5	0.4	0.5	
R04	0.4	0.7	0.2	0.0	0.2	0.2	0.2	0.4	0.4	0.4	0.2	0.3	⑧ 5時間～6時間未満
R03	0.2	0.4	0.3	0.3	0.3	0.1	0.2	0.4	0.3	0.1	0.3	0.2	
R04	0.1	0.3	0.0	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.3	0.0	0.1	0.1	⑨ 6時間～7時間未満
R03	0.2	0.3	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.2	0.2	
R04	0.5	0.4	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	0.4	0.2	0.3	0.2	0.2	⑩ 7時間以上
R03	0.4	0.6	0.1	0.2	0.1	0.1	0.5	0.4	0.2	0.4	0.2	0.3	

Q30 普段、次のような時に、スマートフォンや携帯電話でメールやメッセージ(LINE等)のやりとりをすることがありますか。(該当するものをすべて選んでください。)

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	25.0	26.2	28.3	30.5	28.5	31.8	28.7	31.4	26.4	30.1	27.9	30.7	ア 家庭で勉強しているとき
R03	27.8	28.5	28.6	33.1	28.6	30.2	30.4	30.3	29.3	30.8	28.9	30.8	
R04	8.2	9.0	8.8	8.0	8.1	8.1	8.9	9.9	8.8	9.7	8.5	8.7	イ 家族と一緒に食事をしているとき
R03	7.1	7.6	6.8	8.7	6.1	7.2	7.4	7.7	8.0	9.4	6.8	8.0	
R04	57.7	56.4	49.2	52.0	48.7	54.2	53.6	59.3	56.3	59.3	51.5	55.4	ウ 夜、ふとんやベッドに入ってから
R03	54.4	56.8	45.3	53.2	48.3	52.5	54.5	58.2	57.4	60.7	50.3	55.2	
R04	43.4	39.8	43.4	43.1	41.6	40.4	41.6	42.7	42.2	43.1	42.3	41.8	エ パソコンやゲームをしているとき
R03	41.5	39.3	42.6	42.2	40.9	38.8	41.1	39.2	40.9	45.2	41.4	40.7	
R04	41.9	41.8	46.5	48.4	49.6	49.9	39.9	42.0	41.0	42.0	45.3	46.4	オ テレビを見ているとき
R03	40.3	42.1	50.1	49.9	50.3	50.6	40.7	42.6	43.9	46.2	46.9	47.7	
R04	25.2	23.3	26.7	24.9	26.5	24.1	25.5	20.2	26.7	22.7	26.3	23.4	カ その他
R03	23.8	22.9	27.3	21.7	27.6	22.9	23.3	20.1	26.8	20.5	26.4	21.8	
R04	0.4	1.0	0.6	0.5	0.7	0.5	1.0	0.6	0.2	0.4	0.6	0.6	キ スマートフォンや携帯電話を持っていない
R03	0.4	0.4	0.7	0.5	0.5	0.4	0.4	0.9	0.5	0.5	0.5	0.5	

Q31 インターネットの利用に関して、どのような経験をしたことがありますか。(該当するものをすべて選んでください。)

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	75.9	70.4	80.5	81.1	81.2	80.8	76.7	78.1	77.1	75.8	79.2	78.8	ア 気がつく、思ったより長い時間ネット をしていることがある
R03	71.6	76.3	79.4	79.9	79.1	81.0	77.4	78.0	77.0	76.5	77.9	79.1	
R04	30.8	26.0	33.7	32.5	33.5	33.6	30.4	30.0	31.9	30.2	32.6	31.6	イ やるべき事があっても、まず先にSNSサ イトやメールをチェックする
R03	27.3	27.2	28.7	29.7	31.0	30.0	28.3	29.5	31.1	32.5	29.7	29.9	
R04	14.8	14.3	19.3	22.1	17.8	22.0	16.7	18.3	17.0	17.8	17.6	20.1	ウ ネットが原因で、勉強に悪影響が出て成 績が下がった
R03	15.2	14.2	19.2	21.6	18.4	20.5	16.1	15.6	17.0	17.8	17.7	19.0	
R04	29.6	28.7	31.7	32.3	30.7	32.5	29.3	28.9	31.7	30.7	30.7	31.3	エ 夜遅くまでネットをすることが原因で、 睡眠時間が短くなっている
R03	27.2	29.0	28.3	31.7	29.9	31.1	28.8	28.7	30.3	34.3	29.1	31.1	
R04	23.2	22.6	21.6	22.9	20.8	21.4	20.4	21.7	26.3	21.8	21.9	22.0	オ ネットで新しく知り合いを作ることがあ る
R03	23.7	19.2	21.9	22.0	21.9	20.3	23.3	21.0	27.4	24.9	23.0	21.4	
R04	18.4	17.6	24.5	24.0	24.9	24.8	18.9	19.5	19.2	21.4	22.4	22.6	カ ネットをする時間や頻度を減らそうとし ても、できないことがある
R03	18.3	14.5	24.3	23.5	24.5	22.8	20.7	20.7	20.7	20.9	22.8	21.6	
R04	5.0	4.6	7.3	6.6	7.5	7.8	5.8	6.2	5.5	4.9	6.7	6.6	キ ネットをする時間や回数、内容を家族や 先生に隠そうとすることがある
R03	4.9	4.4	7.6	6.4	7.3	6.0	5.9	4.7	6.4	4.6	6.8	5.5	
R04	2.9	4.1	2.7	3.3	2.6	2.7	2.3	2.7	2.5	3.0	2.6	3.0	ク ネットをしていない時はイライラしたり 憂鬱な気持ちになったりする
R03	3.0	2.8	2.4	2.7	2.5	2.1	2.7	3.2	2.9	3.6	2.6	2.7	
R04	6.0	7.3	7.5	8.0	6.8	8.1	7.5	7.8	8.5	7.5	7.3	7.9	ケ 家族や友人と外出するよりもネットを利 用することを選ぶことがある
R03	6.0	7.9	7.5	7.9	7.0	7.2	6.8	6.8	8.1	8.5	7.1	7.5	
R04	21.0	23.4	26.5	29.3	26.4	30.0	22.2	24.7	23.6	27.8	24.9	28.1	コ 様々な問題から気をそらすためにネット で時間を過ごすことがある
R03	23.4	22.7	25.3	26.5	24.3	27.8	20.6	22.5	22.8	27.2	23.7	26.0	

Q32 毎日同じくらいの時刻に起きています。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	74.0	71.6	75.5	77.7	74.8	75.1	72.9	73.1	71.7	71.1	74.2	74.6	① 当てはまる
R03	72.9	72.2	76.4	76.9	74.6	76.8	72.5	72.9	71.3	71.7	74.1	75.0	
R04	23.1	24.3	21.0	19.7	22.1	21.8	22.9	23.7	24.9	25.2	22.4	22.3	② どちらかといえば、当てはまる
R03	24.1	24.1	21.3	20.5	22.5	20.9	23.9	23.4	25.3	25.0	22.9	22.1	
R04	2.2	3.0	2.5	2.1	2.3	2.2	3.2	1.9	2.6	2.9	2.5	2.3	③ どちらかといえば、当てはまらない
R03	2.0	2.8	1.5	1.9	2.2	1.8	2.6	2.9	2.5	2.5	2.1	2.2	
R04	0.7	1.1	0.9	0.6	0.8	0.9	0.8	1.1	0.7	0.7	0.8	0.9	④ 当てはまらない
R03	1.0	0.8	0.7	0.7	0.7	0.5	1.0	0.8	0.6	0.8	0.8	0.7	

Q33 毎日同じくらいの時刻に寝ています。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	43.0	41.8	48.0	47.0	45.8	47.0	44.3	43.0	43.3	41.9	45.5	45.2	① 当てはまる
R03	40.7	41.4	47.0	47.1	45.1	46.9	44.1	43.9	40.0	37.8	44.3	44.7	
R04	39.5	39.0	37.9	39.1	38.4	36.8	38.7	40.3	39.4	41.2	38.6	38.7	② どちらかといえば、当てはまる
R03	41.1	42.4	39.9	38.9	39.3	38.3	39.2	39.7	42.0	43.9	39.9	39.9	
R04	13.6	15.2	11.1	10.6	12.2	12.3	12.8	12.7	13.7	12.7	12.4	12.2	③ どちらかといえば、当てはまらない
R03	13.8	12.4	10.3	10.8	12.1	11.9	13.0	12.8	14.2	14.4	12.2	12.2	
R04	3.9	3.9	3.0	3.3	3.5	3.9	4.0	3.9	3.6	4.1	3.5	3.8	④ 当てはまらない
R03	4.4	3.8	2.8	3.1	3.5	2.8	3.8	3.6	3.6	3.9	3.5	3.2	

Q34 体調はよい。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	57.2	53.2	58.7	54.7	58.3	53.9	58.1	53.4	56.6	49.4	58.1	53.4	① 当てはまる
R03	56.1	50.5	58.7	55.2	56.5	54.4	56.1	52.9	50.3	47.0	56.1	53.0	
R04	32.1	33.5	30.7	33.5	30.2	32.6	30.5	34.0	33.2	36.8	30.9	33.7	② どちらかといえば、当てはまる
R03	31.9	35.8	31.1	32.3	32.3	32.9	33.3	33.0	36.7	38.3	32.7	33.8	
R04	8.7	10.7	8.6	9.6	9.5	10.7	9.0	10.7	8.5	11.0	9.0	10.5	③ どちらかといえば、当てはまらない
R03	10.5	11.3	8.6	9.6	9.4	10.8	8.9	11.3	10.4	11.8	9.4	10.8	
R04	1.9	2.6	1.9	2.1	1.9	2.7	2.1	1.8	1.7	2.7	1.9	2.4	④ 当てはまらない
R03	1.5	2.3	1.6	2.8	1.8	1.8	1.7	2.7	2.2	2.8	1.7	2.4	

Q35 熟睡ができています。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	42.3	36.5	43.4	42.2	43.4	43.2	43.3	41.1	45.5	39.9	43.6	41.6	① 当てはまる
R03	42.7	39.5	44.6	42.2	44.1	43.3	42.2	38.6	41.6	39.7	43.5	41.4	
R04	33.4	36.3	34.3	36.2	33.5	33.1	33.5	34.8	33.3	37.1	33.7	35.0	② どちらかといえば、当てはまる
R03	32.3	33.9	34.8	34.8	32.9	34.1	35.2	38.0	34.6	35.2	33.9	35.1	
R04	17.9	20.6	17.1	17.2	18.1	18.1	17.6	18.6	17.0	17.4	17.6	18.1	③ どちらかといえば、当てはまらない
R03	19.0	20.6	16.6	17.9	18.1	17.8	17.2	17.2	19.2	19.7	17.8	18.2	
R04	6.3	6.7	5.0	4.4	4.9	5.5	5.4	5.4	4.2	5.5	5.0	5.3	④ 当てはまらない
R03	6.0	5.9	3.9	4.9	4.9	4.7	5.4	6.1	4.5	5.2	4.8	5.2	

Q36 学校生活に充実感や満足感を感じている。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	37.4	30.6	45.4	36.6	44.4	35.7	41.4	31.6	39.5	29.1	42.8	33.9	① 当てはまる
R03	36.9	28.8	44.1	34.0	41.7	33.6	38.3	31.1	36.0	27.3	40.6	31.9	
R04	44.8	44.3	40.0	44.6	39.3	41.7	41.4	44.9	42.3	46.7	40.7	43.9	② どちらかといえば、当てはまる
R03	45.3	45.1	40.8	41.9	40.2	43.0	42.7	45.0	45.6	47.2	41.9	43.9	
R04	12.8	18.1	11.0	13.8	12.1	16.5	12.5	17.3	14.4	17.8	12.3	16.3	③ どちらかといえば、当てはまらない
R03	12.8	17.6	11.4	16.1	13.3	17.5	14.7	17.5	13.1	18.2	13.0	17.3	
R04	5.0	7.0	3.6	5.0	4.2	6.1	4.6	6.1	3.8	6.2	4.1	5.9	④ 当てはまらない
R03	4.9	8.5	3.7	7.7	4.7	5.7	4.2	6.3	5.0	7.2	4.4	6.8	

Q37 友達とよく話をする。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	74.0	66.9	73.7	68.7	73.9	70.3	74.7	69.6	73.6	69.5	74.0	69.4	① 当てはまる
R03	70.6	68.7	72.4	66.7	73.8	67.7	74.5	69.8	72.1	66.5	73.0	67.7	
R04	20.4	25.4	20.2	24.9	19.8	22.5	19.9	24.7	20.9	24.0	20.1	23.9	② どちらかといえば、当てはまる
R03	22.8	24.4	22.1	25.3	20.0	25.1	19.6	24.0	21.4	25.5	20.9	24.9	
R04	4.2	5.8	4.5	5.0	5.0	5.6	3.7	4.5	4.4	4.9	4.5	5.2	③ どちらかといえば、当てはまらない
R03	4.0	5.7	3.9	6.0	4.7	5.9	4.6	4.1	5.0	6.2	4.5	5.6	
R04	1.4	1.9	1.4	1.3	1.2	1.5	1.4	1.2	1.0	1.5	1.3	1.4	④ 当てはまらない
R03	2.4	1.1	1.4	1.9	1.6	1.2	1.3	2.1	1.1	1.6	1.5	1.6	

Q38 周りの人は、自分の良いところをよく認めてくれていると感じる。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	29.0	29.3	36.8	34.4	36.2	35.5	31.8	30.8	35.5	30.8	34.8	33.3	① 当てはまる
R03	24.4	27.4	33.6	32.1	35.0	32.2	28.1	26.5	31.5	26.5	32.1	30.0	
R04	52.1	49.9	46.2	48.7	47.4	48.1	48.6	49.0	47.6	49.4	47.8	48.7	② どちらかといえば、当てはまる
R03	52.2	50.4	49.0	48.0	48.5	50.1	51.6	53.4	49.8	53.7	49.6	50.7	
R04	14.9	15.5	13.2	13.0	12.4	12.3	14.7	15.6	13.8	15.9	13.4	13.8	③ どちらかといえば、当てはまらない
R03	17.7	16.0	13.4	15.5	12.5	14.5	15.5	15.8	14.1	15.4	13.9	15.2	
R04	4.0	5.4	3.6	3.8	3.9	4.0	4.7	4.4	3.0	3.9	3.9	4.1	④ 当てはまらない
R03	5.7	6.1	3.9	4.3	4.0	3.0	4.8	4.2	4.4	4.2	4.3	4.0	

Q39 人が困っている時は、進んで助けるようにしている。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	42.7	37.2	45.4	41.3	46.2	42.8	46.6	40.2	44.9	39.9	45.6	41.1	① 当てはまる
R03	41.7	41.8	42.7	39.6	44.5	42.5	42.0	40.7	43.2	36.8	43.2	40.6	
R04	46.7	51.7	44.1	48.4	44.1	47.0	44.4	48.5	45.0	49.3	44.5	48.3	② どちらかといえば、当てはまる
R03	47.3	47.6	47.1	49.2	45.4	48.2	47.1	47.4	46.1	49.4	46.4	48.4	
R04	8.3	9.4	9.2	9.1	8.4	8.6	7.4	10.1	8.7	9.1	8.5	9.1	③ どちらかといえば、当てはまらない
R03	8.9	9.1	8.6	9.2	8.7	8.2	9.6	10.1	9.0	11.5	8.9	9.3	
R04	2.1	1.7	1.1	1.2	1.2	1.6	1.4	1.1	1.4	1.5	1.3	1.4	④ 当てはまらない
R03	2.2	1.4	1.4	1.9	1.4	1.0	1.3	1.6	1.5	2.2	1.5	1.5	

Q40 新聞やテレビのニュースなどに関心がある。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	16.0	18.0	23.1	24.8	22.6	22.2	16.9	19.7	18.9	17.9	20.7	21.5	① 当てはまる
R03	18.6	18.6	23.5	22.6	22.0	23.3	17.1	19.4	17.2	18.5	20.7	21.4	
R04	37.1	38.1	40.4	39.8	41.2	40.6	41.6	39.9	42.0	41.3	40.8	40.1	② どちらかといえば、当てはまる
R03	40.1	41.5	42.1	42.6	41.3	41.3	42.7	42.9	38.1	40.4	41.2	41.8	
R04	33.6	31.7	26.2	26.3	25.8	27.0	29.3	28.1	28.3	28.7	27.5	27.6	③ どちらかといえば、当てはまらない
R03	30.8	28.0	26.4	26.0	27.4	26.4	29.1	27.6	33.0	29.3	28.5	27.1	
R04	13.4	12.2	10.1	9.1	10.4	10.1	12.0	12.1	10.9	12.0	10.9	10.6	④ 当てはまらない
R03	10.5	11.7	7.9	8.7	9.2	8.8	11.1	10.0	11.5	11.6	9.6	9.6	

Q41 心配なことがあり、学校生活に集中できない。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	5.0	5.3	4.9	5.2	4.5	4.9	4.0	5.1	4.5	5.7	4.5	5.1	① 当てはまる
R03	4.0	5.9	4.1	5.4	4.1	4.7	4.1	4.2	4.2	4.4	4.1	4.9	
R04	11.9	13.9	12.6	13.9	12.8	13.4	11.4	13.6	13.7	15.5	12.5	13.9	② どちらかといえば、当てはまる
R03	12.3	15.4	12.6	13.8	12.7	12.9	12.8	15.4	14.5	16.8	12.9	14.3	
R04	35.0	32.9	34.3	36.8	34.9	36.7	29.3	34.3	36.1	36.7	34.0	36.0	③ どちらかといえば、当てはまらない
R03	33.2	33.9	34.0	36.4	35.9	38.1	32.3	33.8	35.1	36.0	34.5	36.2	
R04	48.0	47.9	48.1	44.1	47.8	45.0	55.0	46.9	45.7	42.0	48.8	44.9	④ 当てはまらない
R03	50.6	44.7	49.2	44.2	47.2	44.3	50.8	46.5	46.0	42.6	48.5	44.4	

Q42 つまらなく過ごすことが多い。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	10.7	11.9	7.5	9.0	7.1	10.0	8.5	9.5	8.2	11.4	7.9	10.0	① 当てはまる
R03	10.2	13.1	7.1	11.2	8.0	10.1	8.5	9.8	8.5	13.5	8.1	11.1	
R04	16.8	22.6	15.6	21.6	18.6	20.5	16.9	22.1	19.3	21.9	17.5	21.4	② どちらかといえば、当てはまる
R03	18.6	22.8	16.9	22.2	18.2	21.8	17.3	21.9	21.1	23.8	18.2	22.3	
R04	39.4	37.6	37.1	37.4	35.5	37.8	31.7	35.5	38.0	39.1	35.9	37.5	③ どちらかといえば、当てはまらない
R03	38.3	37.5	37.7	38.0	37.0	37.6	36.0	36.7	36.6	36.9	37.1	37.4	
R04	32.9	27.9	39.8	32.0	38.8	31.6	42.8	32.7	34.6	27.6	38.6	31.0	④ 当てはまらない
R03	33.0	26.4	38.1	28.3	36.7	30.4	38.2	31.4	33.4	25.4	36.5	29.0	

Q43 感情の起伏を抑えられないことがある。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	6.2	8.2	5.5	6.4	6.0	6.2	5.8	6.5	5.9	7.1	5.8	6.6	① 当てはまる
R03	5.8	5.8	4.9	6.7	6.1	6.2	5.4	5.8	5.3	7.6	5.5	6.4	
R04	14.9	16.3	14.3	16.3	14.2	16.4	12.6	14.8	15.9	18.3	14.2	16.3	② どちらかといえば、当てはまる
R03	17.0	15.2	13.6	16.4	13.4	15.7	14.0	15.6	17.3	17.5	14.4	16.1	
R04	32.9	30.9	31.4	31.8	29.7	30.4	27.6	30.8	30.2	30.0	30.2	30.8	③ どちらかといえば、当てはまらない
R03	31.7	33.5	30.9	31.5	31.1	32.1	28.6	31.6	31.7	33.1	30.8	32.1	
R04	46.0	44.6	48.5	45.4	50.1	47.0	53.6	47.5	48.0	44.4	49.6	46.1	④ 当てはまらない
R03	45.4	45.3	50.4	45.3	49.3	45.9	52.0	46.9	45.4	41.7	49.1	45.3	

Q44 一度始めたことは最後までやり遂げるようにしている。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	30.3	32.0	33.2	30.3	33.4	30.3	35.3	32.7	31.5	29.0	33.1	30.7	① 当てはまる
R03	28.8	32.5	31.8	30.9	32.5	30.6	33.3	32.8	29.2	29.2	31.7	31.0	
R04	54.5	49.8	50.2	51.9	49.3	51.9	49.7	50.6	50.1	52.9	50.2	51.6	② どちらかといえば、当てはまる
R03	52.1	51.2	50.8	51.7	51.0	51.6	52.0	52.3	52.9	53.1	51.5	51.9	
R04	13.1	15.5	14.5	15.4	15.0	14.9	12.3	14.1	15.5	15.3	14.3	15.0	③ どちらかといえば、当てはまらない
R03	15.9	13.7	15.0	14.6	14.4	15.0	12.9	12.2	15.3	14.8	14.5	14.3	
R04	1.8	2.6	1.7	2.1	2.0	2.8	2.2	2.1	2.8	2.4	2.1	2.4	④ 当てはまらない
R03	3.0	2.4	2.3	2.6	1.9	2.5	1.6	2.1	2.1	2.6	2.1	2.4	

Q45 難しいことでも挑戦することが多い。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	17.5	15.3	20.7	18.5	20.8	18.9	19.8	17.9	18.8	14.6	20.0	17.8	① 当てはまる
R03	14.4	18.6	17.8	18.0	18.5	17.5	16.9	15.2	15.1	14.5	17.2	16.9	
R04	42.3	40.2	42.6	41.3	42.2	39.9	42.4	41.7	43.8	41.2	42.6	40.8	② どちらかといえば、当てはまる
R03	39.4	41.1	43.4	40.7	43.4	43.4	43.5	44.4	44.6	40.9	43.2	42.4	
R04	35.7	37.1	31.8	35.0	32.2	35.0	31.8	34.6	31.8	37.8	32.3	35.5	③ どちらかといえば、当てはまらない
R03	38.5	34.6	33.3	35.5	33.5	33.4	33.9	34.1	34.0	37.9	34.0	34.8	
R04	4.3	7.2	4.5	4.9	4.6	6.0	5.6	5.3	5.4	6.1	4.8	5.7	④ 当てはまらない
R03	7.6	5.5	5.3	5.4	4.5	5.3	5.4	5.7	6.0	6.4	5.3	5.6	

Q46 人の役に立つ人間になりたいと思っている。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	57.8	55.0	63.6	57.6	63.6	59.6	61.6	57.7	60.2	56.1	62.3	57.9	① 当てはまる
R03	59.4	61.3	61.1	57.0	62.4	61.1	59.8	56.3	59.1	54.9	60.9	58.4	
R04	34.0	34.6	28.3	33.2	28.4	30.8	30.7	31.9	31.4	34.5	29.7	32.4	② どちらかといえば、当てはまる
R03	32.4	29.7	30.9	32.5	29.8	30.1	33.0	34.5	32.5	35.4	31.2	32.2	
R04	6.2	7.4	5.7	6.6	5.7	6.7	5.1	7.5	5.6	7.1	5.6	6.9	③ どちらかといえば、当てはまらない
R03	5.3	6.9	5.7	7.0	5.4	6.2	5.3	6.3	5.7	6.7	5.5	6.6	
R04	1.9	2.8	1.9	2.4	2.0	2.7	2.2	2.3	2.6	2.0	2.1	2.5	④ 当てはまらない
R03	2.7	2.0	2.0	3.1	2.2	2.3	1.7	2.2	2.0	2.5	2.1	2.5	

Q47 勉強と部活動の両立を目指している。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	48.1	41.5	56.5	48.5	55.6	47.5	51.4	42.7	47.3	37.5	53.3	45.1	① 当てはまる
R03	49.1	42.4	57.5	48.7	56.7	49.4	51.4	41.3	47.9	38.1	54.2	45.6	
R04	31.7	32.6	27.9	29.4	28.1	28.2	31.5	32.7	29.9	31.6	29.2	30.1	② どちらかといえば、当てはまる
R03	28.9	31.8	27.5	28.6	26.7	29.7	31.5	32.6	32.0	30.3	28.6	30.2	
R04	11.3	14.3	9.0	11.1	8.2	10.6	10.3	14.1	12.8	14.5	9.7	12.1	③ どちらかといえば、当てはまらない
R03	12.0	13.4	8.3	11.3	8.3	9.2	10.0	14.8	11.4	14.9	9.3	11.9	
R04	8.7	11.6	6.5	10.9	7.9	13.7	6.4	10.3	9.9	16.0	7.6	12.5	④ 当てはまらない
R03	10.0	12.2	6.7	11.3	7.6	11.7	6.9	10.9	8.3	16.6	7.6	12.2	

Q48 部活動に集中できている。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	51.8	41.9	54.5	45.6	53.3	44.7	53.7	41.6	48.7	37.8	52.9	43.2	① 当てはまる
R03	51.4	44.6	54.0	46.0	53.3	44.6	50.7	43.0	48.3	35.8	52.2	43.4	
R04	30.6	32.9	29.0	30.5	28.5	29.9	31.1	34.2	30.3	30.9	29.5	31.2	② どちらかといえば、当てはまる
R03	30.8	27.6	30.6	30.3	29.0	32.1	32.3	31.9	32.5	30.6	30.6	31.0	
R04	8.2	13.1	9.8	13.2	9.6	10.8	8.7	13.5	10.6	13.7	9.5	12.4	③ どちらかといえば、当てはまらない
R03	8.4	13.2	8.9	11.9	9.3	11.1	10.6	12.9	10.2	13.9	9.4	12.2	
R04	9.3	12.1	6.5	10.6	8.2	14.4	6.1	10.4	10.4	17.1	7.8	13.0	④ 当てはまらない
R03	9.3	14.4	6.3	11.6	7.6	12.1	6.1	11.8	8.7	19.4	7.3	13.2	

Q49 自分の個性や適性が分かっている。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	28.3	25.8	33.1	29.0	32.5	30.2	29.3	27.8	30.2	27.3	31.4	28.7	① 当てはまる
R03	29.1	26.5	32.6	30.3	30.7	28.3	29.1	27.2	29.3	24.1	30.6	27.8	
R04	39.8	41.8	41.8	43.3	40.8	41.1	41.9	42.4	41.5	42.1	41.3	42.1	② どちらかといえば、当てはまる
R03	41.0	43.5	41.9	41.0	41.8	41.5	42.4	44.3	42.1	44.1	41.9	42.4	
R04	24.5	23.8	19.1	21.2	19.9	21.9	21.2	22.1	22.3	23.2	20.6	22.1	③ どちらかといえば、当てはまらない
R03	22.7	22.7	20.5	21.4	21.1	22.8	22.2	21.7	21.7	23.7	21.4	22.4	
R04	7.2	8.5	5.9	6.5	6.6	6.7	7.2	7.5	5.9	7.2	6.5	7.0	④ 当てはまらない
R03	7.2	7.1	4.9	7.0	6.3	7.3	6.3	6.6	6.6	7.9	6.1	7.2	

Q50 自分の個性や適性が、学校や社会でどのように生かせるかをイメージできている。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	11.7	10.0	15.6	13.3	15.1	14.0	12.3	12.9	12.5	10.7	14.1	12.9	① 当てはまる
R03	10.9	10.9	12.6	13.2	13.6	12.5	10.9	12.0	8.8	9.3	12.0	12.0	
R04	26.7	26.4	29.1	30.4	27.6	27.1	28.5	29.1	26.9	27.3	28.0	28.2	② どちらかといえば、当てはまる
R03	28.3	30.6	28.9	29.2	28.6	28.2	28.6	30.0	29.3	27.9	28.7	28.9	
R04	41.7	42.8	38.5	40.4	40.8	41.4	41.4	41.5	43.0	43.7	40.7	41.6	③ どちらかといえば、当てはまらない
R03	42.5	43.1	42.6	41.1	42.1	42.3	43.7	42.2	44.1	44.0	42.8	42.3	
R04	19.7	20.8	16.6	15.9	16.3	17.4	17.4	16.3	17.5	18.1	17.0	17.2	④ 当てはまらない
R03	18.3	15.3	15.8	16.2	15.6	16.8	16.7	15.5	17.5	18.6	16.3	16.6	

Q51 自分の長所を伸ばそうとしている。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	36.2	30.9	39.3	34.2	39.7	34.7	38.5	37.2	41.0	32.4	39.2	34.3	① 当てはまる
R03	34.3	35.3	37.3	35.1	37.6	33.1	36.3	34.2	34.9	31.8	36.6	33.8	
R04	41.2	43.8	39.4	43.4	39.8	41.7	39.7	39.3	39.2	42.9	39.7	42.1	② どちらかといえば、当てはまる
R03	41.5	41.9	41.4	40.0	41.3	42.1	41.2	42.6	42.8	43.6	41.5	41.9	
R04	16.8	18.7	16.0	17.7	15.8	18.2	15.8	18.5	15.8	20.0	15.9	18.4	③ どちらかといえば、当てはまらない
R03	18.1	17.7	17.2	19.2	16.8	19.7	18.1	18.2	17.2	19.5	17.3	19.1	
R04	5.6	6.6	5.1	4.7	4.7	5.3	5.5	4.8	4.0	4.6	4.9	5.1	④ 当てはまらない
R03	6.1	4.9	4.0	5.4	4.3	4.9	4.2	4.8	4.7	4.8	4.4	5.0	

Q52 相手の言葉や意見に耳を傾けるようにしている。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	60.3	52.6	62.2	59.4	64.4	59.9	62.5	58.2	59.9	55.0	62.5	58.2	① 当てはまる
R03	57.9	57.9	64.1	58.4	63.1	59.5	60.0	57.5	60.7	54.6	62.0	58.0	
R04	36.6	43.3	34.7	37.7	32.9	36.8	34.7	38.7	36.9	41.1	34.6	38.5	② どちらかといえば、当てはまる
R03	38.1	38.4	33.3	38.4	33.9	37.4	37.4	38.8	36.1	41.0	35.0	38.5	
R04	2.3	3.3	2.5	2.3	2.1	2.7	1.9	2.2	2.6	3.1	2.3	2.6	③ どちらかといえば、当てはまらない
R03	3.5	2.8	2.0	2.5	2.6	2.7	2.2	2.9	2.5	3.2	2.5	2.8	
R04	0.6	0.8	0.4	0.5	0.4	0.5	0.3	0.7	0.5	0.6	0.4	0.6	④ 当てはまらない
R03	0.5	0.9	0.5	0.5	0.3	0.3	0.4	0.5	0.2	1.0	0.4	0.5	

Q53 自分の考えを相手に的確に伝えている。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	22.5	23.1	27.6	25.6	26.9	25.9	26.5	25.1	23.3	21.6	26.1	24.8	① 当てはまる
R03	21.0	21.9	24.2	24.0	25.8	24.3	23.5	22.7	20.3	19.8	23.9	23.1	
R04	49.6	47.3	49.4	49.2	49.8	48.0	50.4	47.7	50.6	50.0	49.9	48.5	② どちらかといえば、当てはまる
R03	48.0	49.1	50.5	48.4	48.6	48.4	50.2	50.4	50.3	49.5	49.5	49.0	
R04	23.3	23.3	19.8	22.2	20.1	22.3	18.8	23.8	22.3	24.1	20.4	22.9	③ どちらかといえば、当てはまらない
R03	26.3	24.9	21.9	23.2	22.5	23.8	22.9	23.1	25.1	26.4	23.1	24.0	
R04	4.4	6.3	3.0	2.9	3.1	3.7	3.9	3.2	3.8	4.2	3.4	3.7	④ 当てはまらない
R03	4.7	4.0	3.3	4.1	3.1	3.4	3.3	3.6	3.8	4.1	3.4	3.8	

Q54 校則や公共のルール・マナーを守っている。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	60.7	57.0	65.7	63.1	68.5	63.2	67.8	57.4	63.7	57.9	66.3	61.0	① 当てはまる
R03	61.3	59.3	69.3	59.9	66.7	64.1	63.2	57.8	63.5	55.8	65.9	60.3	
R04	35.0	37.0	30.8	33.3	28.9	32.7	29.3	36.8	31.9	36.4	30.4	34.4	② どちらかといえば、当てはまる
R03	35.3	34.5	28.3	35.7	30.4	33.0	33.4	36.6	32.8	36.9	31.1	35.0	
R04	3.8	4.7	2.8	2.8	2.2	3.3	1.9	4.3	3.6	4.6	2.6	3.6	③ どちらかといえば、当てはまらない
R03	3.0	4.7	1.8	3.3	2.3	2.5	2.7	4.5	3.0	5.5	2.4	3.7	
R04	0.4	1.2	0.6	0.7	0.4	0.7	0.5	1.3	0.8	1.0	0.5	0.9	④ 当てはまらない
R03	0.4	1.3	0.5	0.8	0.5	0.3	0.6	0.8	0.3	1.6	0.5	0.8	

Q55 働くことの意義を理解している。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	36.7	39.0	44.9	43.0	44.6	44.3	40.9	40.8	39.9	37.0	42.7	41.9	① 当てはまる
R03	38.0	42.1	43.4	41.7	41.5	42.6	38.4	40.5	37.7	38.1	40.6	41.3	
R04	48.8	45.0	41.8	43.2	41.1	41.0	45.7	45.2	45.8	47.4	43.4	43.5	② どちらかといえば、当てはまる
R03	46.0	44.2	43.0	42.8	43.3	43.2	46.4	46.1	47.6	45.7	44.6	44.1	
R04	11.6	12.5	11.1	11.2	11.8	11.2	11.3	11.7	11.5	13.3	11.5	11.7	③ どちらかといえば、当てはまらない
R03	13.7	10.9	10.8	12.4	12.2	11.6	13.0	11.1	11.8	13.5	12.1	11.9	
R04	2.8	3.4	2.1	2.6	2.4	3.3	1.7	2.1	2.7	2.2	2.3	2.8	④ 当てはまらない
R03	2.2	2.5	2.7	2.8	3.0	2.4	2.2	2.0	2.6	2.4	2.6	2.4	

Q56 インターンシップ（職業体験）をしたいと考えている。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	35.5	31.6	37.6	33.9	37.4	30.1	38.3	36.1	35.6	32.8	37.2	32.6	① 当てはまる
R03	34.0	33.3	37.2	34.5	34.3	34.4	34.5	37.7	34.1	30.8	35.0	34.4	
R04	39.6	39.4	37.4	34.0	37.7	35.1	39.6	37.6	40.9	35.3	38.6	35.7	② どちらかといえば、当てはまる
R03	39.2	40.1	37.2	34.8	36.9	35.8	41.2	37.7	38.6	37.7	38.1	36.6	
R04	19.3	19.5	18.6	22.2	18.7	24.9	16.5	19.3	17.4	23.2	18.2	22.6	③ どちらかといえば、当てはまらない
R03	21.8	19.7	19.8	21.3	21.5	22.3	19.3	18.3	21.1	21.9	20.7	21.1	
R04	5.3	9.4	6.2	9.7	6.1	9.8	5.2	6.7	6.1	8.5	5.9	9.0	④ 当てはまらない
R03	5.0	6.5	5.8	9.1	7.1	7.3	5.0	6.1	6.0	9.3	6.1	7.7	

Q57 自分の役割に責任を持って行動している。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	42.3	39.7	47.1	44.6	47.7	44.3	48.4	42.9	44.4	39.3	46.7	43.1	① 当てはまる
R03	39.9	40.9	44.7	43.2	44.8	42.3	41.3	41.5	42.7	35.9	43.5	41.3	
R04	49.1	49.1	44.4	46.5	43.7	45.6	42.8	47.6	46.6	51.4	44.6	47.3	② どちらかといえば、当てはまる
R03	48.3	50.2	47.8	46.2	45.9	47.7	50.0	49.5	48.2	51.7	47.6	48.4	
R04	7.6	9.1	7.0	7.2	7.4	8.1	7.0	7.9	7.6	7.5	7.3	7.8	③ どちらかといえば、当てはまらない
R03	10.0	7.4	6.4	8.7	7.9	8.6	7.4	7.6	7.4	10.3	7.6	8.6	
R04	0.8	1.9	1.3	1.8	1.1	1.8	1.3	1.3	1.3	1.5	1.2	1.7	④ 当てはまらない
R03	1.8	1.3	1.0	1.6	1.3	1.2	1.2	1.2	1.1	1.9	1.2	1.4	

Q58 クラスや学校の行事等に積極的に取り組んでいる。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	46.8	39.4	46.8	42.9	46.7	41.5	46.6	40.8	47.3	41.3	46.8	41.5	① 当てはまる
R03	37.2	35.7	44.1	38.6	43.1	42.5	44.7	39.3	40.7	35.2	42.8	39.3	
R04	39.1	40.8	38.2	39.4	37.8	40.0	39.7	41.8	39.0	40.5	38.5	40.3	② どちらかといえば、当てはまる
R03	43.8	43.8	40.6	41.3	40.0	39.3	39.8	40.6	42.0	45.0	40.7	41.2	
R04	11.6	15.4	12.3	13.9	12.4	14.0	11.3	13.9	11.2	14.4	11.9	14.1	③ どちらかといえば、当てはまらない
R03	15.1	15.9	12.1	15.4	13.3	14.5	13.0	16.1	14.3	14.2	13.2	15.1	
R04	2.3	4.3	2.6	3.8	3.0	4.4	2.0	3.2	2.3	3.6	2.6	3.9	④ 当てはまらない
R03	4.0	4.3	2.9	4.4	3.4	3.5	2.5	3.7	2.6	5.3	3.1	4.1	

Q59 ボランティア活動に進んで参加している（参加したいと思っている）。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	12.7	15.9	19.5	17.6	18.5	16.9	20.7	23.3	16.9	17.4	18.4	18.1	① 当てはまる
R03	15.5	13.5	19.6	16.3	18.5	19.4	17.8	21.4	17.3	14.3	18.2	17.7	
R04	35.5	28.7	33.8	31.8	35.9	31.2	36.7	33.6	36.7	30.8	35.6	31.5	② どちらかといえば、当てはまる
R03	33.0	35.8	34.4	33.3	35.7	33.8	37.4	32.6	35.4	32.6	35.4	33.5	
R04	35.1	33.9	31.7	32.9	30.3	32.4	29.4	28.0	33.6	31.8	31.4	31.9	③ どちらかといえば、当てはまらない
R03	34.9	31.4	31.5	33.5	31.1	31.0	30.6	29.3	32.4	32.7	31.6	31.6	
R04	16.4	21.4	14.8	17.6	15.1	19.3	12.9	14.8	12.8	19.8	14.5	18.4	④ 当てはまらない
R03	16.6	19.1	14.4	16.5	14.6	15.5	14.1	16.4	14.5	20.1	14.6	16.9	

Q60 地域の行事に進んで参加している（参加したいと思っている）。

	南部		中部南		中部北		北部		東部		全体		選択肢
	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	1年生	2年生	
R04	13.0	12.3	17.5	14.1	16.4	14.4	18.5	17.7	16.3	13.5	16.7	14.6	① 当てはまる
R03	12.9	11.7	15.7	14.0	15.1	15.7	15.5	15.8	14.1	11.3	15.0	14.3	
R04	32.7	28.3	33.9	31.5	34.6	29.8	34.0	33.1	35.9	29.1	34.3	30.6	② どちらかといえば、当てはまる
R03	31.2	32.0	34.0	30.8	34.1	31.0	35.6	32.0	32.7	30.4	33.9	31.2	
R04	34.5	34.1	31.0	33.0	30.9	33.9	30.8	30.2	33.3	34.9	31.5	33.2	③ どちらかといえば、当てはまらない
R03	35.9	32.3	33.3	33.9	32.8	33.2	32.2	32.2	34.2	33.8	33.3	33.2	
R04	19.7	25.1	17.3	21.2	18.0	21.7	16.3	18.7	14.5	22.1	17.2	21.4	④ 当てはまらない
R03	19.9	23.7	16.9	20.9	17.8	19.9	16.7	19.7	18.5	23.9	17.7	21.0	

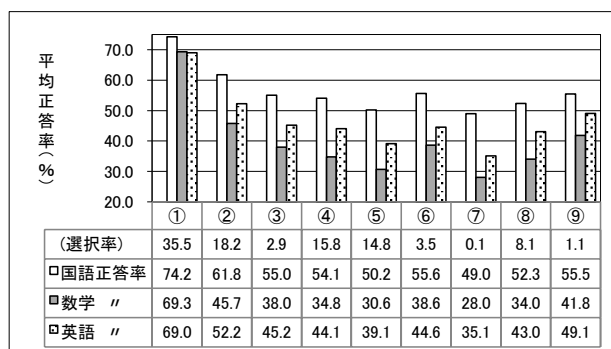
VI 学習状況に関する調査の回答と学力状況に関する調査の共通問題正答率の関係

※ 質問紙調査各設問（Q1～31）について、回答（マークした選択肢）群ごとに学力状況調査（教科に関する調査）共通問題の正答率をみたもの。ただし、無回答・マークミス群については、表示を省略している。

Q1 高校卒業後、進みたいと考えている進路のうち、現在、最も強く希望しているものはどれですか。

<選択肢>

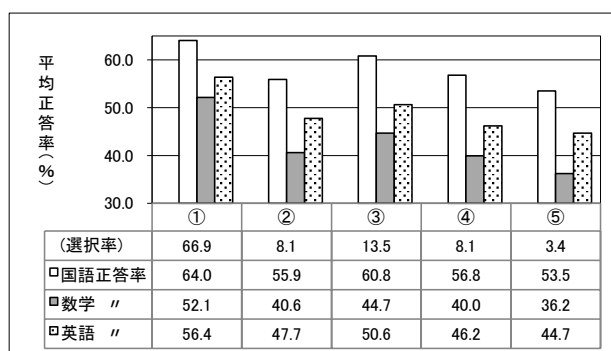
- ① 4年制国立大学
- ② 4年制私立大学
- ③ 短期大学
- ④ 専修学校（専門学校等）・各種学校
- ⑤ 民間就職
- ⑥ 公務員就職
- ⑦ 家業
- ⑧ 未定
- ⑨ その他



Q2 自分の進路希望の達成について、どのように考えていますか。

<選択肢>

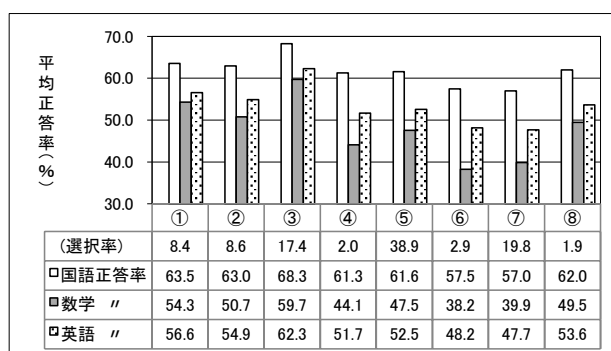
- ① 卒業までに達成しようと思っている
- ② 達成するまで、卒業後1、2年かかってもかまわないと思っている
- ③ 達成が困難な場合、卒業までに他の進路に変えてもいいと思っている
- ④ 何とかなるだろうと思っている
- ⑤ あまり考えないようにしている



Q3 普段どんな気持ちで勉強していますか。

<選択肢>

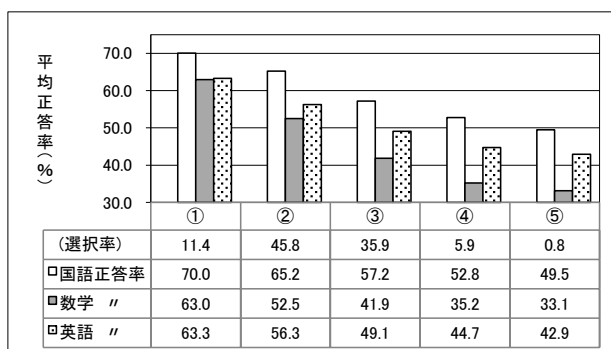
- ① わからないことでも自分の力で答えを見つけれられるようになりたい
- ② 多くのことを知り、社会に出て役立つ力を身につけたい
- ③ 入学試験や就職試験に備えたい
- ④ 親や先生にほめられたい
- ⑤ 成績を上げたい
- ⑥ 先生や家族に言われているから勉強している
- ⑦ 特に考えていない
- ⑧ その他



Q4 授業の内容がどの程度理解できますか。

<選択肢>

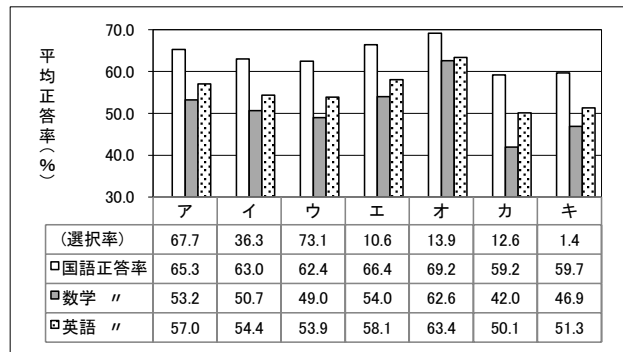
- ① ほとんどの授業がよく理解できる
- ② 理解できる授業の方が多い
- ③ 理解できる授業と理解できない授業が半分以上ずつある
- ④ 理解できない授業の方が多い
- ⑤ ほとんどの授業が理解できない



Q5 授業でわからないことがあったら、どうすることが多いですか。（該当するものをすべて選んでください。）

<選択肢>

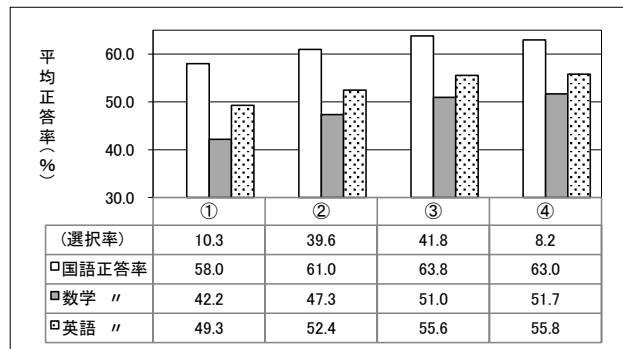
- ア 自分で調べる
- イ 学校の先生に質問する
- ウ 友達に聞く
- エ 家族に聞く
- オ 塾・予備校や家庭教師の先生に質問する
- カ そのままにしておく
- キ その他



Q6 授業のはじめに学習の目標が示されたり、授業の終わりに学習のまとめや振り返りが行われたりしていますか。

<選択肢>

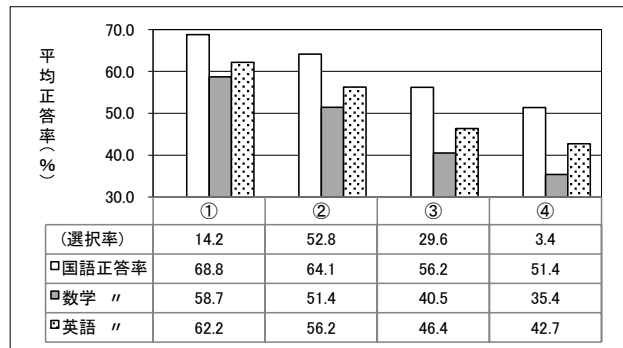
- ① ほとんどの授業で行われている
- ② 多くの授業で行われている
- ③ 行われている授業は少ない
- ④ 行われている授業はほとんどない



Q7 授業の中で、自分の考えを発表したり、考えたことをペアや小グループで話し合ったりする時間がありますか。

<選択肢>

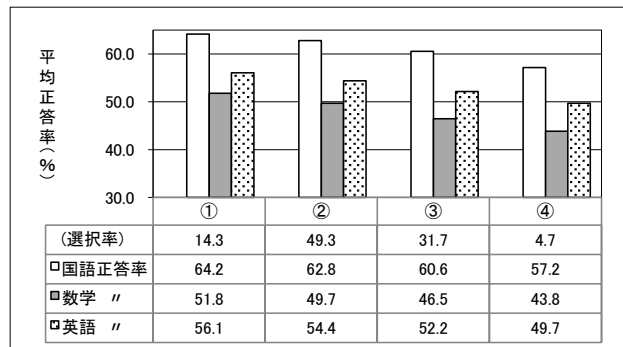
- ① ほとんどの授業でそのような時間がある
- ② 多くの授業でそのような時間がある
- ③ そのような時間がある授業は少ない
- ④ そのような時間がある授業はほとんどない



Q8 授業の中で、あなたが課題を見つけたり、解決したりする時間がありますか。

<選択肢>

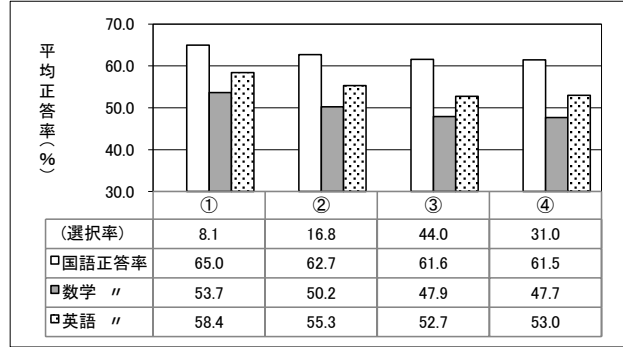
- ① ほとんどの授業でそのような時間がある
- ② 多くの授業でそのような時間がある
- ③ そのような時間がある授業は少ない
- ④ そのような時間がある授業はほとんどない



Q9 授業の中で、生徒がタブレットやパソコンなどのICT機器を使用していますか。

<選択肢>

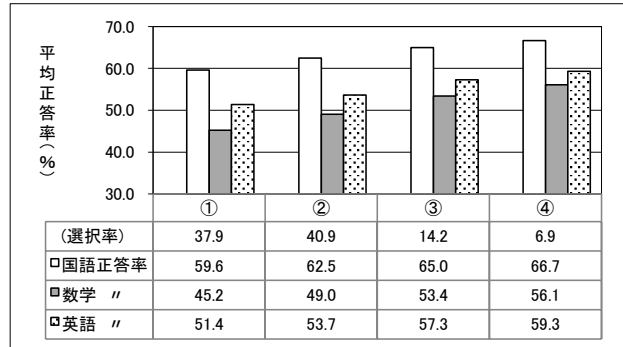
- ① ほとんどの授業で使用している
- ② 多くの授業で使用している
- ③ 使用している授業は少ない
- ④ 使用している授業はほとんどない



Q10 授業でもっとタブレットやパソコンなどのICT機器を活用したいと思いますか。

<選択肢>

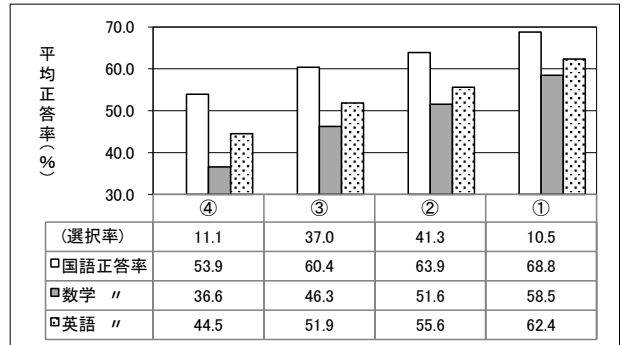
- ① 活用したいと思います
- ② どちらかといえば、活用したいと思います
- ③ どちらかといえば、活用したいと思わない
- ④ 活用したいと思わない



Q11 学校からどのくらいの割合で宿題・課題が出されていますか。

<選択肢>

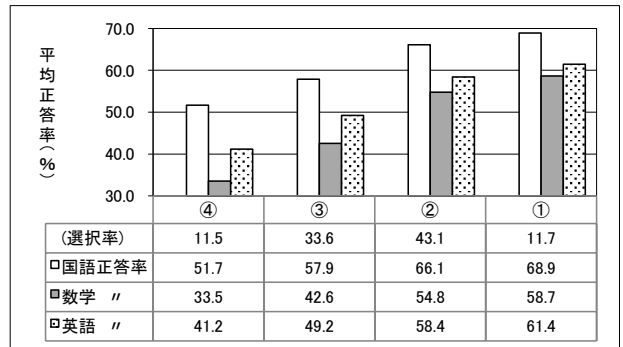
- ① ほとんど毎日出ている
- ② 週に2~3回出ている
- ③ 週に1回くらい出ている
- ④ ほとんど出していない



Q12 学校ではどのくらいの割合でテスト（小テストや確認テストを含む。）がありますか。

<選択肢>

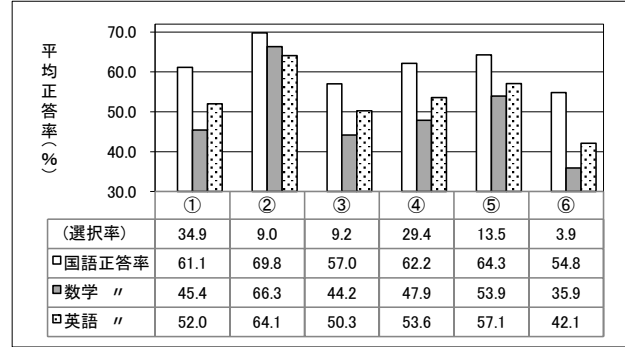
- ① ほとんど毎日ある
- ② 週に2~3回ある
- ③ 週に1回くらいある
- ④ ほとんどない



Q13 あなたが受けた授業はどんな授業ですか。

<選択肢>

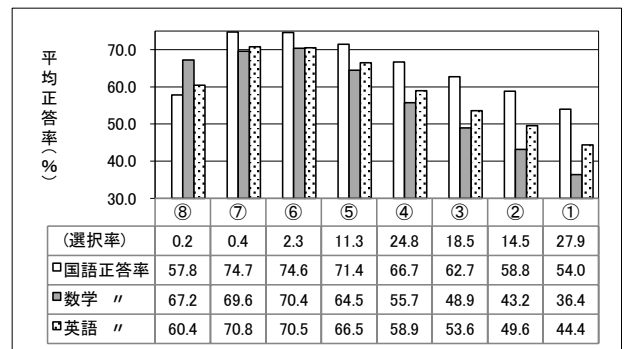
- ① 基礎・基本からじっくりわかるまで教えてくれる授業
- ② 発展的な内容まで教えてくれる授業
- ③ ペアやグループで自分の考えを発表したり、話し合ったりする授業
- ④ 興味や関心がもてるような授業
- ⑤ 進路希望達成につながる授業
- ⑥ 資格取得につながる授業



Q14 平日（テスト期間や長期休業中などを除く、通常の月曜日から金曜日）、学校の授業時間以外に1日当たりどのくらいの時間、勉強していますか（塾・予備校で勉強したり、家庭教師の先生に教わったりしている時間も含む。）。

<選択肢>

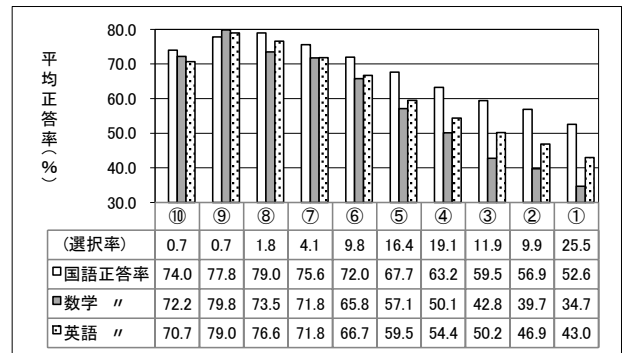
- ① 全く、またはほとんどしない
- ② 30分より少ない
- ③ 30分～
- ④ 1時間～
- ⑤ 2時間～
- ⑥ 3時間～
- ⑦ 4時間～
- ⑧ 5時間以上



Q15 休日に、1日当たりどのくらいの時間、勉強していますか（塾・予備校で勉強したり、家庭教師の先生に教わったりしている時間も含む。）。

<選択肢>

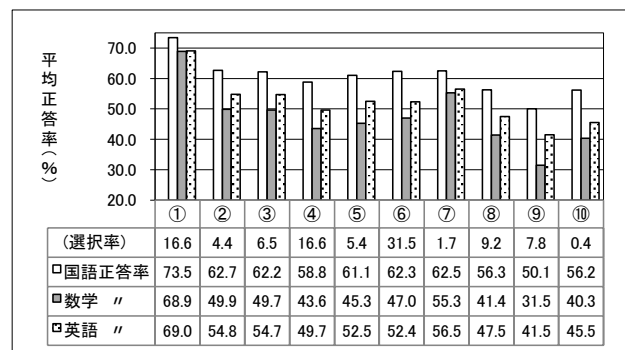
- ① 全く、またはほとんどしない
- ② 30分より少ない
- ③ 30分～
- ④ 1時間～
- ⑤ 2時間～
- ⑥ 3時間～
- ⑦ 4時間～
- ⑧ 5時間～
- ⑨ 6時間～
- ⑩ 7時間以上



Q16 家庭学習の仕方に、最も近いものはどれですか。

<選択肢>

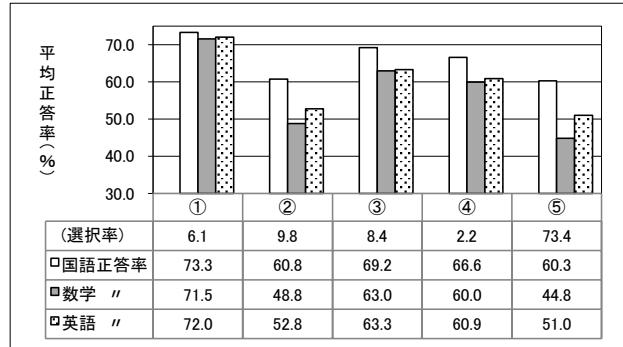
- ① ほぼ毎日している
- ② 主に平日にしている
- ③ 主に休日にしている
- ④ 主に定期考査前にしている
- ⑤ 主に宿題・課題のあるときにしている
- ⑥ 主に宿題・課題があるときと定期考査前にしている
- ⑦ 主に塾・予備校のあるときや家庭教師の先生が来たときにしている
- ⑧ 気が向いたときにしている
- ⑨ 家庭学習はほとんどしない
- ⑩ その他



Q17 学習塾等（家庭教師の先生に教わっている場合も含む。）で、どのように勉強していますか。

<選択肢>

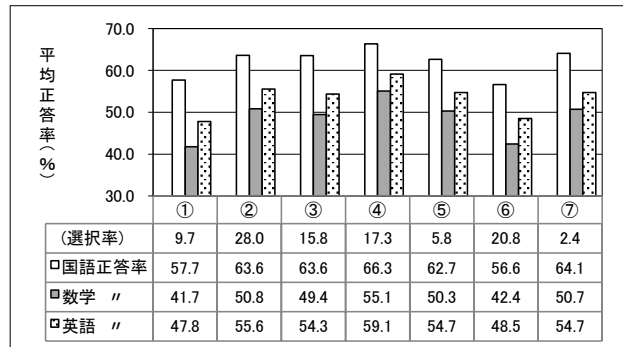
- ① 学校の勉強より進んだ内容や、難しい内容を勉強している
- ② 学校の勉強でよくわからなかった内容を勉強している
- ③ 上記①、②の両方の内容を勉強している
- ④ 上記①、②の内容のどちらともいえない
- ⑤ 学習塾等に通っていない



Q18 家庭学習をする上で悩んでいることはありますか。

<選択肢>

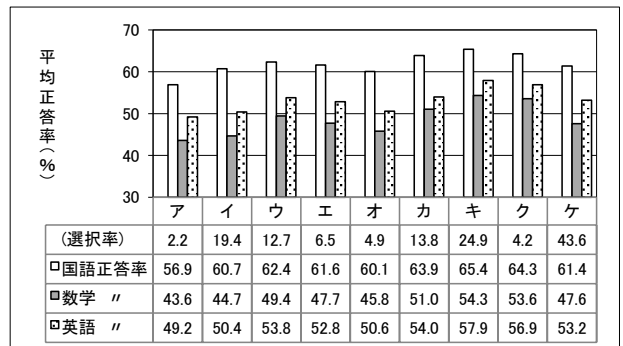
- ① 家庭学習の方法が分からない
- ② 家庭学習に集中できない
- ③ 学習の計画を立てても長続きしない
- ④ 家庭学習と部活動の両立が難しい
- ⑤ 家庭学習を一生懸命やっても成績が伸びない
- ⑥ 特に悩みはない
- ⑦ その他



Q19 自宅でICT機器やオンラインを用いた学習を実施する（した）場合に、自分にとって不都合なこと（不都合だったこと）は何ですか。（該当するものをすべて選んでください。）

<選択肢>

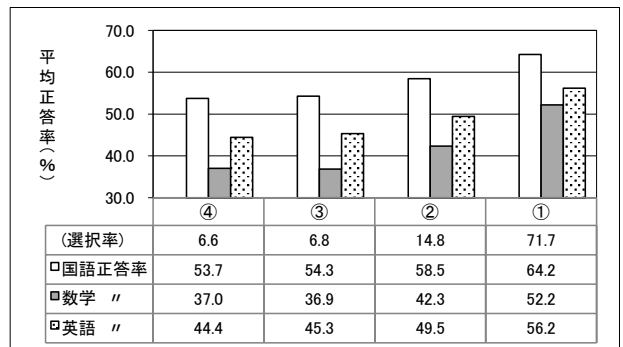
- ア パソコンやタブレット、スマホなどの機器がない（使用できない）
- イ 課題を印刷する機器がない（印刷できない）
- ウ 通信速度が遅い
- エ 通信料金が高額になる
- オ セキュリティが心配
- カ 操作の方法がわからない
- キ 集中できない、やる気が起きない
- ク その他
- ケ 不都合なことはない



Q20 学校に行く前に朝食をとりますか。

<選択肢>

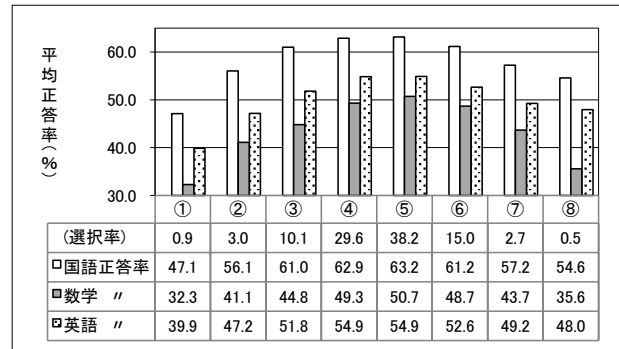
- ① 必ずとる
- ② たいていとる
- ③ とらないことが多い
- ④ 全く、またはほとんどとらない



Q21 平日の睡眠時間は1日当たり、どのくらいですか。

<選択肢>

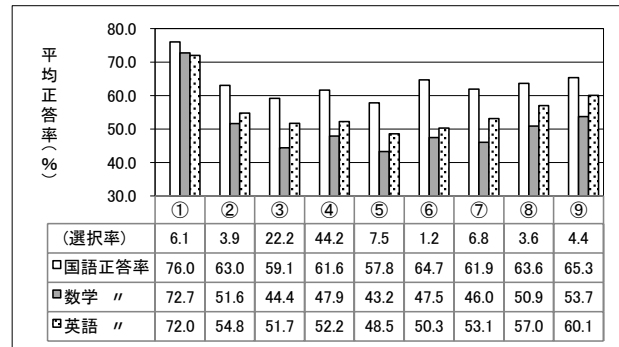
- ① 3時間より少ない
- ② 3時間～4時間未満
- ③ 4時間～5時間未満
- ④ 5時間～6時間未満
- ⑤ 6時間～7時間未満
- ⑥ 7時間～8時間未満
- ⑦ 8時間～9時間未満
- ⑧ 9時間以上



Q22 平日に、家の中で最も時間をかけて行っていることは何ですか。

<選択肢>

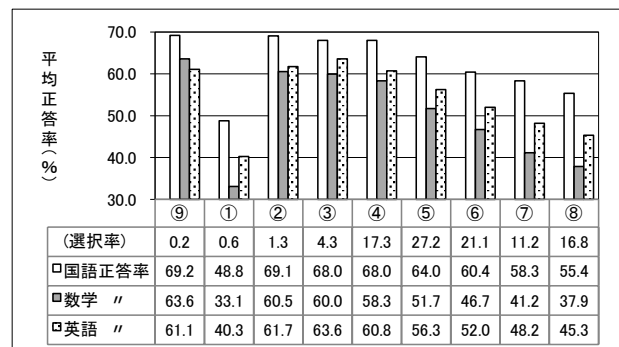
- ① 家庭学習
- ② テレビ(録画を含む)やDVD等
- ③ スマートフォンや携帯電話での通話やメール, SNS等
- ④ スマートフォンや携帯電話でのゲームや動画, 情報収集
- ⑤ スマートフォンや携帯電話以外でのゲームや動画, 情報収集
- ⑥ 読書
- ⑦ 自分の趣味(①～⑥を除く)
- ⑧ 家族との会話や家事等の手伝い
- ⑨ その他



Q23 平日に、スマートフォンや携帯電話を勉強以外で使う時間は1日当たりどのくらいですか。

<選択肢>

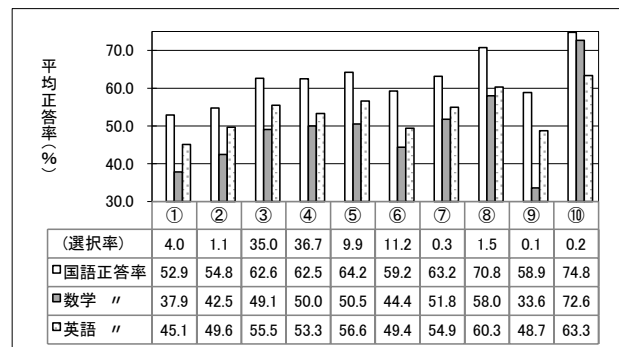
- ① 全く使わない
- ② 30分より少ない
- ③ 30分～1時間未満
- ④ 1時間～2時間未満
- ⑤ 2時間～3時間未満
- ⑥ 3時間～4時間未満
- ⑦ 4時間～5時間未満
- ⑧ 5時間以上
- ⑨ スマートフォンや携帯電話を持っていない



Q24 平日に、勉強以外でスマートフォンや携帯電話を最も多く使用する用途は何ですか。

<選択肢>

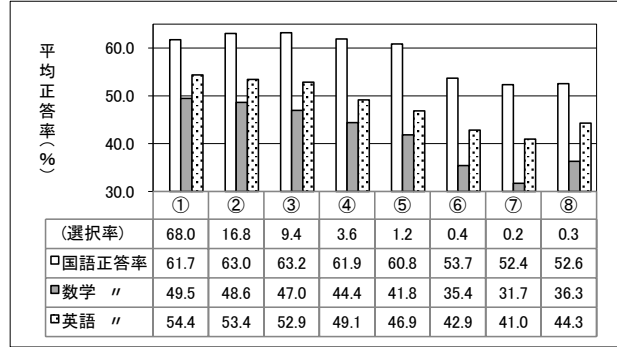
- ① 相手との通話
- ② メール
- ③ SNS(LINE, ツイッター, インスタグラム等)
- ④ 動画サイト
- ⑤ 音楽サイトや音楽プレイヤー
- ⑥ オンラインゲーム
- ⑦ ブログや掲示板
- ⑧ 情報・ニュース等の検索
- ⑨ 静止画や動画の撮影
- ⑩ スマートフォンや携帯電話を持っていない



Q25 平日に、1日当たりどのくらいの時間、読書（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く。）をしますか。

<選択肢>

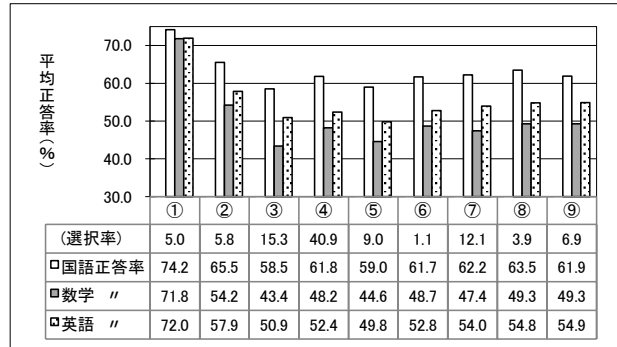
- ① 全く、またはほとんどしない
- ② 30分より少ない
- ③ 30分～1時間未満
- ④ 1時間～2時間未満
- ⑤ 2時間～3時間未満
- ⑥ 3時間～4時間未満
- ⑦ 4時間～5時間未満
- ⑧ 5時間以上



Q26 休日に、家の中で最も時間をかけて行っていることは何ですか。

<選択肢>

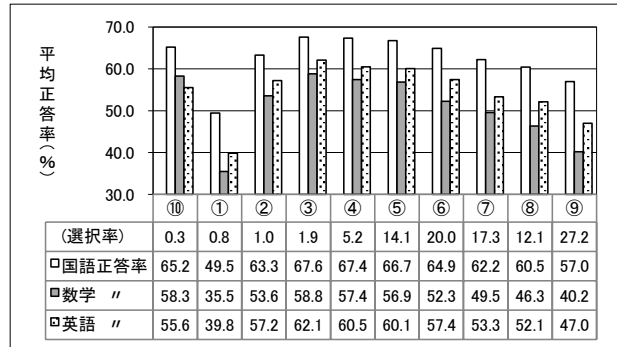
- ① 家庭学習
- ② テレビ（録画を含む）やDVD等
- ③ スマートフォンや携帯電話での通話やメール、SNS等
- ④ スマートフォンや携帯電話でのゲームや動画、情報収集
- ⑤ スマートフォンや携帯電話以外でのゲームや動画、情報収集
- ⑥ 読書
- ⑦ 自分の趣味（①～⑥を除く）
- ⑧ 家族との会話や家事等の手伝い
- ⑨ その他



Q27 休日に、スマートフォンや携帯電話を勉強以外で使う時間は1日当たりどのくらいですか。

<選択肢>

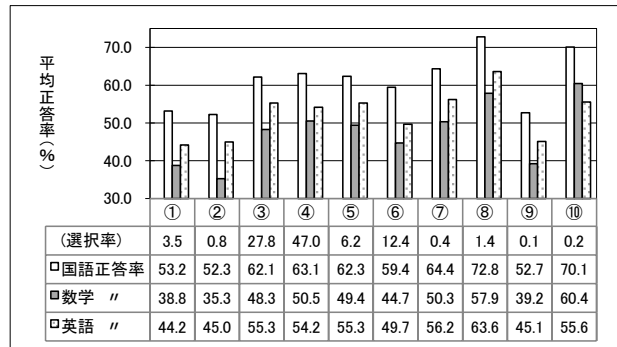
- ① 全く使わない
- ② 30分より少ない
- ③ 30分～1時間未満
- ④ 1時間～2時間未満
- ⑤ 2時間～3時間未満
- ⑥ 3時間～4時間未満
- ⑦ 4時間～5時間未満
- ⑧ 5時間～6時間未満
- ⑨ 6時間以上
- ⑩ スマートフォンや携帯電話を持っていない



Q28 休日に、勉強以外でスマートフォンや携帯電話を最も多く使用する用途は何ですか。

<選択肢>

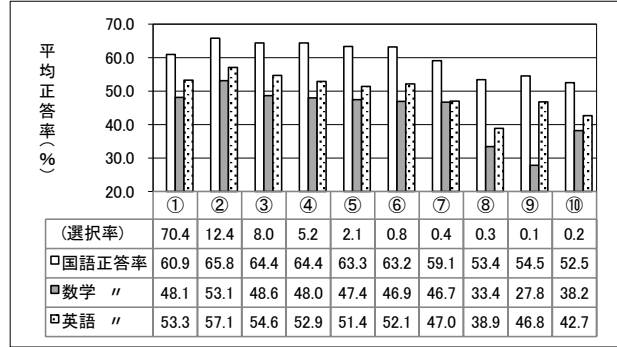
- ① 相手との通話
- ② メール
- ③ SNS（LINE、ツイッター、インスタグラム等）
- ④ 動画サイト
- ⑤ 音楽サイトや音楽プレイヤー
- ⑥ オンラインゲーム
- ⑦ ブログや掲示板
- ⑧ 情報・ニュース等の検索
- ⑨ 静止画や動画の撮影
- ⑩ スマートフォンや携帯電話を持っていない



Q29 休日に、1日あたりどのくらいの時間、読書（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く。）をしますか。

<選択肢>

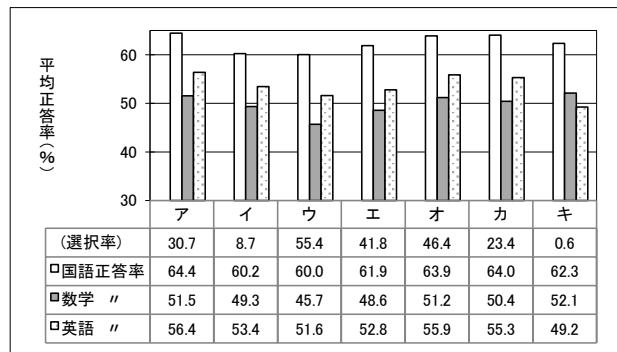
- ① 全く、またはほとんどしない
- ② 30分より少ない
- ③ 30分～1時間未満
- ④ 1時間～2時間未満
- ⑤ 2時間～3時間未満
- ⑥ 3時間～4時間未満
- ⑦ 4時間～5時間未満
- ⑧ 5時間～6時間未満
- ⑨ 6時間～7時間未満
- ⑩ 7時間以上



Q30 普段、次のような時に、スマートフォンや携帯電話でメールやメッセージ（LINE等）のやりとりをすることがありますか。（該当するものをすべて選んでください。）

<選択肢>

- ア 家で勉強しているとき
- イ 家族と一緒に食事をしているとき
- ウ 夜、ふとんやベッドに入ってから
- エ パソコンやゲームをしているとき
- オ テレビを見ているとき
- カ その他
- キ スマートフォンや携帯電話を持っていない



Q31 インターネットの利用に関して、どのような経験をしたことがありますか。（該当するものをすべて選んでください。）

<選択肢>

- ア 気がつくと、思ったより長い時間ネットをしていることがある
- イ やるべき事があっても、まず先にSNSサイトやメールをチェックする
- ウ ネットが原因で、勉強に悪影響が出て成績が下がった
- エ 夜遅くまでネットをすることが原因で、睡眠時間が短くなっている
- オ ネットで新しく知り合いを作ることがある
- カ ネットをする時間や頻度を減らそうとしても、できないことがある
- キ ネットをする時間や回数、内容を家族や先生に隠そうとすることがある
- ク ネットをしていない時はイライラしたり憂鬱な気持ちになったりする
- ケ 家族や友人と外出するよりもネットを利用することを選ぶことがある
- コ 様々な問題から気をそらすためにネットで時間を過ごすことがある

